

# 令和5年度第4回総合教育会議

日 時：令和6年2月29日(木)15時00分～  
場 所：役場2－A B会議室

## 1 開会挨拶

## 2 協議事項

- (1) 第7次幕別町生涯学習中期計画（案）について【資料1】
- (2) 第2期幕別町スポーツ推進計画（案）について【資料2－1、2－2】
- (3) 幕別町教育大綱（案）について【資料3】
- (4) アイヌ文化拠点空間整備事業について【資料5－1、5－2、5－3】

## 3 その他

## 4 閉 会

### 【配布資料】

- 資料1 第7次幕別町生涯学習中期計画（案）
- 資料2－1 第2期幕別町スポーツ推進計画（案）
- 資料2－2 第2期幕別町スポーツ推進計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果
- 資料3 第3期幕別町教育大綱（案）
- 資料4 第7次生涯学習中期計画、第2期幕別町スポーツ推進計画及び教育大綱策定スケジュール
- 資料5－1 幕別町アイヌ文化拠点施設 実施設計（生活館棟等） 概要
- 資料5－2 幕別町アイヌ文化拠点施設の実施に向けて～第2のウポポイを目指して～
- 資料5－3 【参考】蝦夷文化考古館の誕生と収蔵品

# 第7次 幕別町生涯学習 中期計画（案）

（2024年度～2028年度）



幕別町教育委員会



## はじめに

近年、グローバル化や高度情報化、少子高齢化などの社会の急速な変遷に伴い、町民のライフスタイルも大きく変化しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、心身の健康への関心の高まりや、家庭や職場のコミュニケーション方法の見直しなど、新たな生活様式への適応が必要となり、人々の価値観も今後大きく変化していくことが予想されます。

「コロナ禍」を経験したことで、多くの人々に人と人とのつながりの大切さが改めて意識されるとともに、多様な働き方や学び方、楽しみ方が広がっており、これからの時代は、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて、町民一人ひとりが、自分で考え自律的に行動し、新しい価値観の中で自らの幸せを見つけていくことが大切です。

第7次幕別町生涯学習中期計画は、まちづくりの基本である「第6期幕別町総合計画 後期見直し計画（2023年度～2027年度）」に示されている、基本目標の「協働と交流で住まいる」と「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」を基本として策定いたしました。

この新たな中期計画のもと、特に、子どもたちの生きる力の育成、豊かな心を育むための学校教育への支援や家庭教育への支援を行うとともに、子どもの読書活動をはじめとした読書のまちづくり、未来のオリンピックを目指す子どもたちや、障がいのある人からお年寄りまで、幅広い方々がスポーツに親しめるスポーツ・レクリエーション活動などを重点として計画を推進してまいりますので、共に取り組んでくださいますよう、町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

本計画の策定に当たり、度重なる熱心な審議をいただき、答申を賜りました幕別町社会教育委員会委員の皆様をはじめ、生涯学習に関する町民意識調査にご協力をいただいた町民の皆様から感謝とお礼を申し上げます。

2024年3月

幕別町教育委員会 教育長 菅野 勇次

# 目 次

---

## 第1章 計画の策定

1 生涯学習とは	4
2 現状と課題	5
(1) 幕別町の地域特性	6
(2) 実施事業	8
(3) 町民意識調査から見たこと	10
3 計画の目的	13
4 計画の性格	13
5 計画期間	13
6 計画の体系	14

## 第2章 基本構想

1 めざす姿	15
2 幕別町の教育目標	15
(1) 学校教育目標と実践指標	16
(2) 社会教育目標と実践指標	16

## 第3章 基本計画

1 国内交流や国際交流の推進	17
2 豊かな人生を育む生涯学習の推進	18
3 「生きる力」を育む学校教育の推進	21
4 青少年の健全育成の推進	25
5 芸術・文化活動の振興	26
6 歴史的文化の保存・伝承	28

7 健康づくりとスポーツ活動の振興	30
-------------------	----

## 資 料

(1) 町民意識調査の結果	33
(2) 幕別町生涯学習中期計画案の策定について（諮問）	76
(3) 第7次幕別町生涯学習中期計画策定経過	77
(4) 幕別町社会教育委員会委員名簿	78

## 第1章 計画の策定

### 1 生涯学習とは

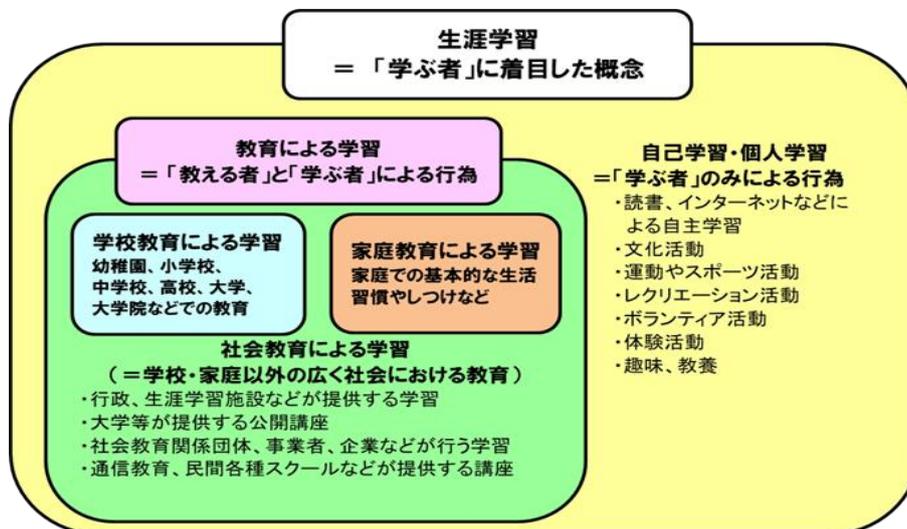
人は生まれてから、家庭において基本的な生活習慣を学び、学校に通うようになると、基礎的な**学習を始めます**。このことから、家庭教育は「生涯学習の原点」、学校教育は「生涯学習の基礎」とも言われています。

また、地域社会で行われる様々な学びや興味・関心のあるものへの学びなど、学びの機会が広がり始め、学校を卒業して社会に出てからも、仕事に関する学び、地域社会での活動に伴う学び、そして豊かに人生を送るための学びなどを続けていきます。

このように、学習は様々なライフステージにおいて行われることから、家庭教育、学校教育、社会教育、文化活動、運動やスポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、リカレント教育、さらに個人としての資格取得や趣味に関して図書・インターネット等を活用した自分で行える学びなど、様々な機会や場での学びすべてを「生涯学習」ととらえています。

これからの生涯学習には、多様で豊かな学びを通じ、様々な背景を持った多様な世代の人々がつながり、共に学び合うことによって地域や社会の課題解決・活性化につながっていくことや、学びの機会が損なわれないようICTなどの新しい技術を活用することで、学びの可能性が広がることが期待されます。

#### 【生涯学習社会の概念】



## 2 現状と課題

私たちを取り巻く社会は、近年、少子化による人口減少、急速な高齢化、グローバル化、情報化など、多くの変革の中にあり、さまざまな課題に直面しています。今後、人口減少の更なる進行や人生 100 年時代と言われる長寿化の中で、新しい社会の姿として超スマート社会（Society5.0）の実現が提唱されるなど、さらに大きな社会の変化が訪れようとしており、地域社会においても、地域経済の変化や地域コミュニティの希薄化等をはじめとする多様な課題が顕在化し始めています。

平成 27（2015）年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、17 の国際目標のひとつに「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことが挙げられています。

令和 2（2020）年初めから、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことで人々の生活は大きく様変わりしましたが、そのような中でも、それぞれの現場においては、学びをやめないことの重要性が改めて共有され、ICTなどの新しい技術を活用した学びなど、新たな可能性も示されました。

こうした多様な時代の変化に対応し、充実した人生を送るためには、新しい知識や技術を学ぶことが必要とされます。

また、学ぶ中で他者と関わり合い、認め合うことは相互のつながりを形成します。生涯学習は「個人の成長の場」だけではなく、「出会いの場」や「仲間づくりの場」でもあり、この広がりや地域のつながりを育みます。

このように、生涯学習は、町民が社会や経済の変化に対応し、仲間づくりや地域の連帯感の再構築による地域の活性化、各世代に応じた心の豊かさや生きがいの創出などで、潤いのある生き生きとした人生を送れる環境づくりに大きな役割を果たすことが期待されるとともに、コロナ禍において既存の概念にとらわれない「新しい生活様式（ニューノーマル）」が取り入れられる中、どのような状況でも学べる環境や分断されない社会、多様性を認め合う社会の実現にも大きな役

割を担うものと考えられます。

### (1) 幕別町の地域特性

幕別町は、北海道・十勝の主要都市である帯広市の東に位置し、東西 20 km、南北 47 km の距離で、総面積 477.64 km<sup>2</sup>、人口約 26,000 人の農業を基幹産業とした「パークゴルフ」と「ナウマン象」の町です。

本町は、大きく幕別、札内、忠類の三つの地区で形成され、人口は、平成 22 年から令和 2 年までの 10 年間で 781 人の微減となり、地区別で見ると、幕別地区で 1,028 人の減少、札内地区で 438 人の増加、忠類地区では 191 人減少しています。

「パークゴルフ」は昭和 58 年に本町で考案され、愛好者は日本国内はもとより世界へ広がり、健康増進、地域や家庭のコミュニケーションを支えるという社会的効果や経済効果など本町のまちづくりに大きな効果をもたらしています。

また、「ナウマン象」の化石骨が昭和 44 年に忠類晩成の農道工事現場で偶然発見され、これまでの研究を書き換えるほどの貴重な発見となり、発掘されたナウマン象の化石骨の復元骨格標本は、日本国内のみならず、海外にも展示されています。

#### ○人口の推移

	H22	H27	R2	H22/R2 比
人口	26,547 人	26,760 人	25,766 人	△781 人
幕別地区	6,322 人	5,796 人	5,294 人	△1,028 人
札内地区	18,607 人	19,433 人	19,045 人	438 人
忠類地区	1,618 人	1,531 人	1,427 人	△191 人
世帯数	10,359 世帯	10,944 世帯	11,029 世帯	670 世帯

※出典：国勢調査

まちの人口 25,727人 (令和5年6月30日現在)

まちの面積 477.64㎥ (平成28年10月1日現在)

町名の由来 アイヌ語で、「マクンベツ」(山ぎわを流れる川という意味)から。

まちの産業 農業(畑作)、畜産が盛ん。テンサイ、小麦、馬鈴薯、豆、ナガイモ、レタス、ニラなどを栽培。黄色で小粒の馬鈴薯「インカのめざめ」、真っ白な「ゆり根」がとくに有名。



◀インカのめざめ

ゆり根▶



まちの歴史 1897年(明治30年)：開町  
1969年(昭和44年)：忠類村でナウマン象の化石が発見  
1983年(昭和58年)：パークゴルフが発案される  
2006年(平成18年)：旧忠類村と合併

町の花  
「シバザクラ」



4～5月にサクラに似た形の花を咲かせます。明野ヶ丘スキー場や白銀台スキー場の斜面に植栽され、グレンデー面をピンクの花で彩る時期もあり、昭和60年から平成7年までの間、「芝桜まつり」を開催していました。

町の木  
「カシワ」



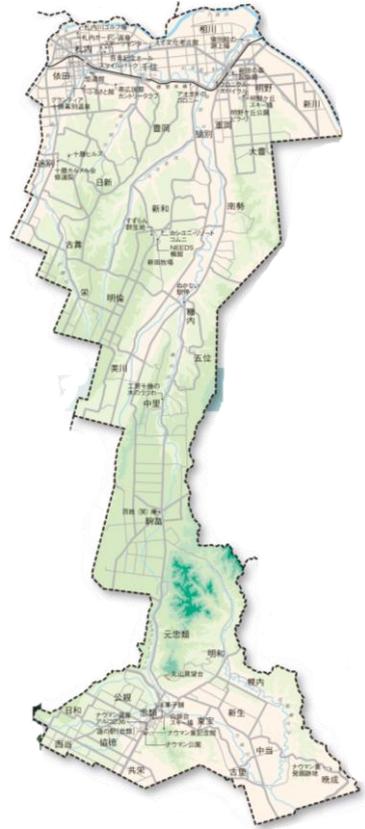
秋に枯れた葉が香まで枝についたまま、新芽が出るまでは落葉しないため、冬の強風を防ぐ効果を果たしており、その特性から「代が途切れない」縁起物とされています。

町の鳥  
「オオハクチョウ」



「オオハクチョウ」は、家族や群れで行動し、冬にシベリアから飛来する渡り鳥です。その姿は、旧途別川周辺をはじめ、町内の多くの場所で見ることができます。

まちの地図



(2) 実施事業

年度 (西暦)	平7 1995	平8 1996	平9 1997	平10 1998	平11 1999	平12 2000	平13 2001	平14 2002	平15 2003	平16 2004	平17 2005	平18 2006	平19 2007	平20 2008	平21 2009	平22 2010	平23 2011	平24 2012	平25 2013	平26 2014	平27 2015	平28 2016	平29 2017	平30 2018	平31(令和) 2019	令2 2020	令3 2021	令4 2022	令5 2023	令6 2024	令7 2025	令8 2026	令9 2027	令10 2028						
幕別町総合計画	第3期幕別町総合計画					第4期幕別町総合計画					第5期幕別町総合計画					第6期幕別町総合計画(※令和5年度から5年間は「後期見直し計画」)																								
幕別町生涯学習中期計画	幕別町生涯学習中期計画		第2次幕別町生涯学習中期計画			第3次幕別町生涯学習中期計画			第4次幕別町生涯学習中期計画					第5次幕別町生涯学習中期計画			第6次幕別町生涯学習中期計画			第7次幕別町生涯学習推進計画																				
忠類村社会教育中期計画	第3期忠類村社会教育中期計画			第4期忠類村社会教育中期計画			第5期忠類村社会教育中期計画																																	
北海道総合計画	北海道新長期総合計画		第3次北海道長期総合計画					新・北海道総合計画(ほっかむら未来創造プラン)										北海道総合計画																						
北海道教育長期総合計画	北海道新教育長期総合計画		第3次北海道教育長期総合計画					第4次北海道教育長期総合計画					北海道教育推進計画			北海道教育推進計画																								
	・幕別町開基100年 ・学校週5日制(第2・第4土曜日)		・新学習指導要領告示 ・「第2次生涯学習中期計画」策定			・新学習指導要領 ・完全学校週5日制 ・池田小児童設備事件 ・「第3次生涯学習中期計画」策定 ・「読書のまち構想」策定			・幕別町、忠類村合併 ・教育基本法改正(平20公布) ・学校教育法改正 ・小中学校学習指導要領改訂 ・社会教育法、図書館法、博物館法改正 ・「第4次生涯学習中期計画」策定					・幼稚園教育要領改正 ・新学習指導要領全面実施(小学校) ・新学習指導要領全面実施(中学校) ・滋賀県大津市中学男子生徒自殺事件 ・「第5次生涯学習中期計画」策定			・幕別町開基120年、合併10周年 ・役場新庁舎落成 ・幼稚園教育要領改正 ・新学習指導要領全面実施(小学校) ・新学習指導要領全面実施(中学校)			・「第6次生涯学習中期計画」策定 ・「第7次生涯学習推進計画」策定																				
幼稚園教育											・混合蒙籠り保育 ・預り保育 ・幼稚園協議委員制度(試行) ・満3歳児入園																													
学校教育	・就学援助制度 ・奨学金制度 ・英語指導助手 ・スクールカウンセラー ・協働相談ダイヤル										・小規模校特別転入学制度 ・特色ある教育活動支援事業 ・教育ネットワーク会議 ・心の教室相談員 ・中里小学校閉校 ・学校給食センター完成 ・白小人小開校100周年 ・幕別中、糠内中開校50周年 ・相川小開校										・開かれた学校づくり推進モデル事業 ・ジュニア教育委員会 ・地域教育連携支援事業 ・まっく心の教室 ・まっく心の教室 ・学校協議員制度 ・特別支援教育コーディネーター ・古舞小開校100周年 ・学校教育推進アドバイザー ・礼内北小通学区域弾力化事業 ・礼内中開校30周年 ・ゆとりいきいきパートナー事業 ・全小中学校でインターネット接続 ・日本体育・学校保健センター負担金(全額公費)										・礼内北栄町等通学区域弾力化 ・特別支援教育支援員 ・忠類小開校100周年 ・こどもサポーターの配置 ・礼内東中開校30周年 ・礼内南小開校30周年 ・青少年相談員廃止 ・礼内小開校120周年 ・糠内中、忠類中開校70周年 ・北海道幕別清陵高校の開校 ・北海道幕別高校の開校 ・江陵高校の開校 ・古舞小開校									
社会教育	・海外研修事業(成人) ・中学生海外研修事業 ・中学生国内研修事業 ・児童生徒健全育成推進委員会 ・青少年相談員 ・子ども会育成連絡協議会 ・まなびや相川 ・小学生国内研修事業(東郷町) ・いじめ問題等対策委員会 ・スワディ講座 ・学校芸術鑑賞 ・生涯学習講座 ・ふるさと館展示(学徒授業) ・しらかば大学 ・紙芝居講座 ・ふれあい子育て学習会 ・ふれあい子育て読書講座 ・ふるさと館ジュニアスクール(昭61)										・生涯学習リーダーバンク ・生涯学習講師派遣事業 ・青少年健全育成センター設置 ・北の文化シンポジウム ・図書館開館10周年 ・地域文庫(糠内コミセン) ・図書館礼内分館の夜間延長 ・あつちこち紙芝居事業 ・ふるさと館開館20周年 ・ミニ歴史館 ・礼内福祉センター改修 ・ジュニアサタデースクール ・北の本館事業 ・図書館の祝日開館 ・北海道舞台塾事業 ・北の文化事業 ・北の文化大使(町友)事業 ・日新F遺跡発掘 ・吉田宗太郎資料目録Ⅱ										・高校生涯海外研修事業 ・安東ウメ子DVD「けうとうむ」制作 ・高校生涯海外留学補助制度 ・国際交流ホストファミリー事業 ・ふるさと館「アイヌの人々」展示開始 ・地域ぐるみの学校安全推進モデル事業 ・学童保育所保育時間延長 ・地域教育力・体験活動推進協議会(体験活動ボランティア活動支援センター) ・ふれあい子育て読書推進運動(ブックスタート事業) ・親子ふれあい事業(道民家庭の日:財)北海道青少年育成協会 ・礼内K遺跡発掘 ・礼内K遺跡発掘 ・忠類村青年会休止 ・幕別青年団体連絡協議会解散 ・ふるさと館30周年記念「丸木舟」制作 ・百年記念ホール指定管理開始 ・幕別町自由文庫開設 ・幕別町図書館忠類分館 ・幕別町文化協会設立40周年 ・第2期幕別町子どもの読書活動推進計画策定 ・十勝管内広域個人貸出事業開始 ・中学生国内研修休止 ・図書館新システム導入 ・ふるさと館合併年表作成 ・学童保育所がこども課へ移管 ・集団研修施設こまはたオープン ・糠内公民館改修 ・礼内福祉センター廃止 ・青少年問題協議会解散 ・しらかば大学創立40周年 ・児童生徒健全育成推進委員会へ統合 ・町民会館耐震改修 ・中学生、高校生涯海外研修先メルローズハイスクールへ ・礼内K遺跡発掘 ・忠類村青年会休止 ・幕別青年団体連絡協議会解散 ・ふるさと館30周年記念「丸木舟」制作 ・百年記念ホール指定管理開始 ・幕別町文化協会設立40周年 ・第2期幕別町子どもの読書活動推進計画策定 ・中学生国内研修休止 ・学校地域支援本部事業 ・ナウマン象化石骨発見40周年										・ナウマン象記念館開館30周年 ・ナウマンゾウ足跡化石発見 ・アイヌ民族推進地域計画認定 ・アイヌ文化拠点空間整備事業に伴い蝦夷文化考古館閉館 ・礼内福祉センター廃止 ・しらかば大学創立40周年 ・町民会館耐震改修 ・百年記念ホール指定管理第2期開始 ・図書館蔵書管理新システム導入 ・幕別町文化協会設立50周年 ・第3期幕別町子どもの読書活動推進計画策定 ・第4期幕別町子どもの読書活動推進計画策定 ・日向市小学生国内研修解消(昭5まで) ・埼玉県上尾市子ども会交流40周年 ・中土佐町、開成町小学生国内研修開始 ・ナウマン象化石骨発見50周年									
社会体育	・体育指導員設置 ・陸上競技場完成 ・体育道立設立40周年 ・温水プール(依田)解体										・トレーニング室機器更新・増設 ・明野が丘スキー場ベアリフト新設 ・トレニング指導員配置 ・PGジュニアスクール ・幕別町民プール温水化 ・スポーツセンター通年開館 ・国際パークゴルフ協会NPO法人格取得 ※体育道立(事務局業務を教委から移行)										・体育道立設立50周年 ・総合型地域スポーツクラブ ・幕別丸内スポーツクラブ設立 ・日本ハムファイターズイースタンリーグ戦開催 ・福島千里、山本幸平北京オリンピック出場 ・高木美帆バンクーバーオリンピック出場 ・幕別町、忠類村両スポーツ少年団合併 ・十勝総合スポーツクラブフーン設立 ・町出身現役オリンピック選手5名との交流イベント開催 ・山本幸平東京オリンピック出場 ・日本ハムファイターズ幕別町応援大使(大谷翔平選手・市川友也選手) ・古谷穂人福岡ソフトバンクホークスと契約(町初のプロ野球選手) ・高木菜那、高木美帆平昌オリンピック出場(金メダル獲得) ・高木菜那(銀メダル獲得)、高木美帆(金メダル獲得)北京オリンピック出場 ・高木菜那、高木美帆平昌オリンピック金メダル銀メダル獲得 ・高木菜那、高木美帆北京オリンピックオンライン町民報告会 ・体育道立設立50周年 ・オリピアンが小学生とスポーツ交流(桑井亜乃、高木菜那) ・県立総合体育会野球部合併 ・礼内スポーツセンター ・農業者トレーニングセンター指定管理開始																			



### (3) 町民意識調査から見たこと（5年前と比べて）

9歳から17歳まで、18歳以上の2階層に分けて、アンケートを実施しました。

#### ア. 9歳から17歳まで

子どもたちが1日の時間をどのように使っているのかは、テレビやDVDを見る時間、本を読む時間が減少し、テレビゲームやインターネット、SNSをする時間が大きく増えてきています。

自由な時間の過ごし方としては、平日は、新聞や雑誌、本などを読む、家で勉強をする時間が減り、テレビを見たりゲームをする、友達と遊ぶ、自分の趣味や好きなことをする時間が増えました。一方、休日は、テレビを見たりゲームをする、友達と遊ぶ時間が減少し、家族と一緒に過ごす、自分の趣味や好きなことをする時間が増加しています。

子どもたちがどんな学習に興味を持っているかについては、仕事や職業についての学習、スポーツ・体力づくりが大きな割合を占めていますが、国際学習も増加傾向が見られました。

また、現在、スポーツをしている子どもの割合は、前回調査では6割を超えていましたが、今回の調査では減少しており6割を切りました。行っている競技は、サッカー、陸上、野球のほか、多種目にわたって取り組んでいることがわかります。

反対に、スポーツをしていない理由としては、スポーツに興味が無い、時間がない、お金がかかる、仲間がいない、などの理由が大きな割合を占めています。また、家族の協力が得られないことでスポーツをやれていない子どもに対して、どのような協力があればスポーツをやるかの質問には、行き帰りの送迎、家事手伝い、スポーツをやることへの理解などの回答がありました。

#### ○やってみたいと思うボランティア活動は

- ・ゴミ拾い、清掃活動や被災地でのボランティア活動
- ・お年寄りや小さい子どもとの交流、支援活動
- ・保護犬のボランティアや猫の里親ボランティアなどの動物保護活動

といった回答が多かったのですが、その他にも町内イベントスタッフ、町おこしの活動といった回答や、国際協力、英語を使った活動（外国人の方の案内など）といった回答

もありました。

○参加したいスポーツイベント・教室は

- ・幕別町出身の高木美帆選手、高木菜那さんのスケート教室や福島千里さんの陸上教室
  - ・プロスポーツ選手の指導（野球、サッカー、バスケットボールほか）
- など、地元やテレビなどのメディアで有名な選手の意見が大半でした。

## イ. 18歳以上

自由時間には、のんびり休養したいと考えている方が多いのですが、前回と比較して旅行をする、近郊の散歩など自然を楽しむ活動の割合が増加となっています。

自由な時間に生涯学習に**取り組むことが難しい**理由としては、周囲の理解や活動への不安は少ないものの、活動に踏みきるきっかけがないという割合が増加しています。

小・中学校における教育活動や地域の力を学校運営に生かすコミュニティ・スクール制度については、学校の状況がよくわからない、制度を知らないという回答が多く、子育て世代以外の方への情報発信が課題となっています。

また、およそ7割の人が「スポーツをしていない」と回答しましたが、その理由として、時間がない、興味がない、仲間がいないが多くなっています。

本町出身のスポーツ選手やアスリートと連携し、今後、どのようなイベントを開催してほしいかについては、子ども向けのスポーツ教室、健康増進を目的とした体づくりの講演会、子どもと大人が参加するスポーツイベントを望む割合が前回の調査に引き続き高くなっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、各種活動が制限されていましたが、徐々に活動が再開している状況が見られ、以前同様に活動している、以前ほどではないが活動している割合としてそれぞれ2割程度、合計すると4割程度はコロナ以前の日常を取り戻しつつある状況が見られますが、コロナウイルスへの不安を感じている意見も多くありました。

○参加してみたいと思う生涯学習講座は

- ・健康、体力づくりに関する講座
- ・英会話や英語以外の外国語・手話講座
- ・体験型の講座や子供向けの講座

○やってみたいと思うボランティア活動は

- ・子育て世代への支援や子どもへの見守り、学習支援などの活動
- ・お年寄りや障がいのある方への支援
- ・ゴミ拾い、清掃活動

### 3 計画の目的

この計画は、第6期幕別町総合計画（後期見直し計画）のメインテーマである『みんながつながる 住まいる まくべつ』の実現を目指し、町民が主体的に生涯に渡って学習活動を行い、それぞれのライフステージに応じ、生き生きとした人生を送るための町民の学習活動を総合的に支援する施策の体系として策定するもので、本町の生涯学習に関する施策の総合的な推進を図ることを目的としています。

### 4 計画の性格

この計画は「幕別町総合計画」を上位計画とし、その基本計画の「協働と交流で住まいる」と「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」を推進するための行政施策を生涯学習の視点から体系づけた部門計画です。

### 5 計画期間

この計画の期間は、2024年度から2028年度までの5年間とします。

なお、社会情勢等により計画の改定を行う必要が生じた場合には、適宜その見直しを行うものとします。

## 6 計画の体系

この計画は「幕別町総合計画」に掲げた教育に関する領域の将来像と施策の大綱を実現するために必要な基本的施策を総合的かつ体系的に明らかにするものです。



## 第2章 基本構想

---

### 1 めざす姿

本町の生涯学習を一層推進するためには、町民一人ひとりの学習活動を促進することを基本に、幕別・十勝・北海道の良さや可能性を最大限に生かすこと、人口減少や少子高齢化、子どもたちを巡る様々な課題に向き合うこと、さらに、地域住民相互のつながりを深め、地域づくりを進めていくことなどについて、町民をはじめ、様々な機関・団体等が同じ方向を向いて取り組んでいくことが必要です。

その実現のためには、まずは、町、教育機関、関係団体などが、多様な学習機会の提供や環境づくりなどを通して、町民一人ひとりの学習意欲を高め、自発的な学習活動を促進することが重要です。

これまでに広く浸透している「いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる」という生涯学習から一歩踏み出し、「学びを行動へつなげる」、「子どもたちの学びを広げ、支える」、「地域の良さや課題を学ぶ」という見方に立って、一人ひとりが主体的に学び、その成果を生かすことにより、さらに学びが深まるという循環を生み出すことが大切です。

そのため、町民一人ひとりには、自らの住む地域の将来に思いを巡らせながら、生涯を通じて積極的に楽しく学習に取り組み、自分の住む地域の様々な課題を自らのこととして捉え、学習で得た知識や経験を地域の活性化や子どもたちの成長に生かしていくことが求められます。

このような状況の下、幕別町の教育目標である「郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人」の育成を基本として、文化やスポーツ・健康などに関する学習機会の提供をはじめ、地域とともにある開かれた学校づくりや幼児から高齢者までのライフステージに応じた生涯学習の推進など、これまで推進してきた取組は、本町の生涯学習推進の根幹となるものとして、引き続き、推進・充実を目指していきます。

### 2 幕別町の教育目標

『郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人』

#### 【具体目標】

- ・豊かな心とたくましい体の育成
- ・豊かな生活と自ら学ぶ力の高揚

- ・豊かな人間愛と国際性の涵養
- ・豊かな郷土と文化の創造

### (1) 学校教育目標と実践指標

目 標	強い意志を育み、じょうぶな体をつくる人	自ら学び、すすんで行動する人	広い心を持ち、思いやりのある人	文化に親しみ、郷土を愛する人
要 素	健康、安全、練磨、衛生、忍耐力	探究心、実践力、創造力、自主性、向上心	誠実、寛容、人間愛、協調性、公正	郷土愛、自然愛、文化の創造、勤労、奉仕
幼 児 期	○すききらいをせずによくたべる子 ○元気に遊ぶ子	○いろいろな遊びができる子 ○自分のことは自分でする子	○がまんすることや、ゆずりあうことのできる子 ○絵や歌が好きな子	○よろこんで、てつだいができる子 ○生きものをかわいがる子
小 学 校	○いろいろな運動に親しみ楽しさを広げる子 ○健康や安全に心がける子	○楽しく学び、学年の基礎がわかる子 ○生活の目標をきめ、ねばり強くやりぬく子	○思いやりのある心の優しい子 ○美しいもの、清らかなものに感動できる子	○自然に親しむ子 ○地域活動に親しみ、進んで奉仕活動のできる子
中 学 校	○自ら体力づくりにはげむ生徒 ○余暇を健全にすごす生徒	○学びかたを身につけ意欲的に学習する生徒 ○適確な判断ができる生徒	○互いの立場を尊重し協力しあう生徒 ○美しいもの、清らかなものを大切にできる生徒	○自然を大切にする生徒 ○郷土に対するたしかな理解と愛情をもつ生徒
高等学校	○スポーツを愛好し、心身をきたえる生徒 ○趣味を生かし、余暇を有効にすごす生徒	○創造的に物事を考えることのできる生徒 ○目的をもって意欲的に学ぶ生徒	○互いの立場を尊重し協力しあう生徒 ○美しいもの、清らかなものを大切にできる生徒	○自然を擁護する生徒 ○郷土を愛し地域の発展に参加する生徒

### (2) 社会教育目標と実践指標

目 標	豊かな心とたくましい体を育む人	豊かな生活と自ら学ぶ力を求める人	豊かな人間愛と国際性の涵養に努める人	豊かな郷土と文化の創造を目ざす人
要 素	健康、安全、衛生、継続、奉仕	実践力、創造力、積極性、主体性	誠実、寛容、人間愛、連帯、信頼	郷土愛、自然愛、文化の創造、勤労
青 年 (熱、力)	○コミュニティ・スポーツの積極的な推進と展開 ○奉仕活動の積極的な推進と展開	○学ぶ機会を求め、企画推進する ○余暇を生み出す工夫と積極的参加	○仲間意識、仲間づくりの発展 ○国際交流の企画・推進	○文化活動の中心的な企画・推進 ○自然を生かし、活用する運動の企画・推進
父 母 (温かさ、和)	○コミュニティ・スポーツへの参加 ○奉仕活動への参加	○積極的に教養の場を志向する ○余暇の活用を図り生活を充実する	○家族愛、隣人愛の高揚 ○世界の国々の正しい認識	○文化活動への積極的参加 ○自然を生かし共存する運動への参加
高齢者 (知恵、伝承)	○コミュニティ・スポーツに親しむ ○奉仕活動への援助	○知恵・技能の還元 ○趣味・特技を生かした活動	○世代間の交流 ○国際交流の理解と展望	○文化の伝承と発展 ○自然保護と緑化運動

## 第3章 基本計画

### 1 国内交流や国際交流の推進

#### 【現状と課題】

国内交流では、埼玉県上尾市、神奈川県開成町や高知県中土佐町との小学生による交流が行われています。

国際交流の分野では、中学生・高校生による海外派遣事業を実施しているほか、パークゴルフを通じた海外や十勝管内在住の外国人との交流、国際交流協会による各種事業の実施など様々な交流が行われています。

今後も、交流を通じた次世代の人材を育成するため、行政、経済、教育、文化などあらゆる分野での交流をさらに促進するための取組が必要です。

#### 【基本方針】

国内交流を推進し、幅広い交流を行います。

また、学校教育や社会教育など、様々な場を通じて、国際理解の機会づくりと国際性豊かな人材の育成を図ります。

#### 【方 策】

##### (1) 国内交流の推進

	推進項目	推進事業・事項など
①	埼玉県上尾市、神奈川県開成町や高知県中土佐町をはじめ、様々な地域との交流による連携を強化します。	・小学生国内研修事業

##### (2) 国際交流の推進

	推進項目	推進事業・事項など
①	国際性豊かな人材を育成するため、中高生の海外派遣や受入など交流機会の確保や体制づくりに努めます。	・中学生・高校生海外研修事業
②	ホームステイの受入先の確保など、国際交流活動についての支援を行います。	・相互交流事業（中学生・高校生海外研修事業）によるホームステイ受入先の拡大
③	国際交流員を継続配置し、生きた英語学習を進めるとともに、外国の文化等について国際理解を図ります。	・幼稚園、小・中学校での英語授業サポート

## 2 豊かな人生を育む生涯学習の推進

### 【現状と課題】

生涯学習は、町民が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育のほか、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など様々な場や機会において行われる広義の学習であり、生涯いつでも、自由に学習する機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価される「生涯学習社会」の実現が求められています。

学校教育、社会教育はもとより、福祉や保健などあらゆる分野との連携が必要であり、「いつでも、どこでも、だれでも」が学ぶことができる生涯学習施策を展開し、学習成果を生かすことができる「生涯学習社会」の充実を目指す必要があります。

### 【基本方針】

多種多様な学習機会を自己に適した手段、方法により自ら選択し、生涯にわたる学習活動を通じ、その学習効果が還元される総合的な環境づくりを進めます。

百年記念ホールや図書館をはじめとする生涯学習の拠点施設を有効活用するとともに、社内コミュニティプラザや町民会館、忠類コミュニティセンターなどの施設も活用し、各種事業や生涯学習講座の充実に取り組みます。

### 【方 策】

#### (1) 学習プログラムの充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	多様化・高度化する学習ニーズに応え、町民それぞれが自らに適した生涯学習の機会を得られるよう、ソフト・ハード両面の体制づくりに取り組みます。	・百年記念ホール等で開催する生涯学習講座の充実 ・講座等の企画、運営における社会教育士の活用

#### (2) 情報提供の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	一人ひとりの多様な個性・能力を生かし、生涯にわたって自己の能力と可能性を最大限に高められるよう、学習情報の効果的な発信に努めます。	・広報紙・ホームページ等各種広報活動による情報提供 ・学校を通じての情報提供 ・文化活動の拠点である百年記念ホールにおける情報提供 ・専門的な知識を有する職員の配置（生涯学習推進員の継続的配置）

### (3) 指導者・団体の育成

	推進項目	推進事業・事項など
①	生涯学習において知識や技能を有する人材の発掘や指導者の育成・確保を図り、指導体制の維持、拡充に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技能を有する人材のデータベース化</li> <li>・社会教育士及び生涯学習関連団体との連携による新たな事業展開</li> </ul>

### (4) 学習・活動機会の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	地域の特性や年齢階層などを考慮した多様な講座の開設や実習、展示会の開催など様々な学習機会の提供を図るとともに、誰もが参加しやすい体制を設けることで生涯学習への関心を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ニーズに対応した生涯学習講座の開催</li> <li>・青年のまちづくり活動への支援</li> <li>・生涯学習を通じた世代間交流の促進</li> <li>・しらかば大学の運営（生きがいのある人生を支援）</li> <li>・大学等との連携による講座の開設（生涯学習講座「幕別町コミュニティカレッジ」等の開催）</li> </ul>
②	多様な学習サービスの質の保証・向上、学習成果の活用、学習活動を通じた地域活動の推進など活動機会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育士との連携による百年記念ホール等における生涯学習講座・活動の充実</li> </ul>

### (5) 施設の機能充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	百年記念ホールや町民会館など生涯学習施設等の機能充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習施設の計画的な改修</li> </ul>

### (6) 図書館機能の拡充

	推進項目	推進事業・事項など
①	住民参画による図書館事業を行うための人材育成を図るとともに、町民を主体とする「図書館協議会会議」などにより、図書館の機能強化に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館事業の参加及び参画を図るための多種多様な事業の実施</li> <li>・ホームページやAR（拡張現実）を活用した地域情報の編集と発信</li> </ul>
②	住民ニーズをとらえた特色のある蔵書や図書企画展示の充実を努め、個性や魅力のある図書館づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の入口拡大、利用者サービスの向上</li> <li>・図書特別展示、新刊情報等における書籍情報の提供</li> </ul>

③	<p>子育てや保健、福祉など様々な分野と連携した事業を展開し、図書館を核とした知の拠点づくりに取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書活動の促進（学校図書館整備のサポート、マイファーストブックサポート事業、他課との連携事業、ボランティアサークルによる読み聞かせ等）</li> <li>・障がいの有無に関わらず、誰もが読書に親しむことができる環境の整備</li> </ul>
---	--	--

### 3 「生きる力」を育む学校教育の推進

#### 【現状と課題】

近年、子どもたちを取り巻く環境は複雑多様化しており、今後の社会変化に対し適切に順応ができる児童生徒の育成と、心の悩みを持つ児童生徒個々に対する適切な支援、また、それらに対応していくため、教職員の資質の向上が求められています。

本町には幼稚園1園、小学校8校、中学校5校、高等学校1校、特別支援学校1校がありますが、子どもたちのいじめ、不登校、ネットトラブル等の対応及び未然防止を図るためには、学校だけではなく、家庭、地域社会と連携・協力を深め、全体で早期発見・早期対応を行っていくことが大切です。

また、子どもたち一人ひとりが、個性豊かで伸びやかに育ち、豊かな感性を身に付け、より快適な学校生活を過ごすためには、本町の美しい自然環境や歴史・文化などを生かした教育の推進や、町が設置している学校等の状況に応じた計画的な学校施設の整備が求められています。

さらには、GIGAスクール構想により、全ての小中学校において高速大容量の校内通信ネットワーク環境及び児童生徒一人一台端末の整備を行ったことから、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、独創性を育む教育ICT環境の実現が求められています。

今後は、校務支援システムをはじめとしたICTの導入・運用により、授業準備や成績処理等の負担軽減による学校における働き方改革が求められています。

#### 【基本方針】

本町の教育目標である「郷土を愛し 自ら学び 心豊かに生きる人」の具現化を目指し、全ての児童生徒が、主体的に判断し、行動できる「生きる力」を育むため、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を自覚し、お互いの理解、協力を深めることができるよう学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用しながら連携を図ります。

また、一貫教育の推進により、子どもの発達等に応じた柔軟で多様な教育の充実を図るとともに、地域の教育資源を活用し、郷土に誇りを持つ子どもを育みます。

## 【方 策】

### (1) 幼児教育の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	異年齢保育や預かり保育、満3歳児保育の充実を図り、多様化するニーズに対応した幼児教育を実践し、幼児一人ひとりの健やかな成長を育む教育を推進します。	・幕別町認定こども園の開設に伴い担当課との連携を図る。
②	認定こども園、幼稚園、保育所、小学校との交流連携を拡充し、共通理解を進め、連続性のある円滑な教育を推進します。	・認定こども園、幼稚園、保育所、小学校の連携（交流会の開催などによる幼児期から小学校への教育活動の円滑な移行、実態に応じた子どもの発達や学び、生活の連続性のある教育の充実）
③	教育環境を整えるとともに、教職員の研修を促進し、指導力の向上及び資質の向上に努めます。	・各種研修会への参加促進

### (2) 小中学校教育の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	学習指導要領に基づき、子どもたちが社会の一員として自立し、時代に対応した力を養うため、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスが取れた生きる力を育む教育を推進します。	・教育課程の充実・学習指導の充実（創意ある教育課程の編成・実施、個に応じたきめ細かな学習指導の充実、少人数指導・ティームティーチング）
②	幕別町の産業や文化などをまとめた社会科副読本の授業での活用や、地域の自然体験学習を通して、郷土に対する愛着と理解を深める教育を推進します。	・道徳教育の充実 ・人権教育の充実 ・社会科副読本の作成（小学校3、4年生向け） ・体験学習の充実
③	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活用で、地域の力を学校運営に取り入れ、地域と共にある学校経営を推進するとともに、地域協働学校本部を設置し、地域学校協働活動を推進することにより、地域とともにある学校づくりを進めます。	・地域と共にある学校経営の推進（学校運営協議会による学校運営の承認、評価を行い、地域との連携を促進することにより、地域と共にある学校経営を推進） ・地域学校協働本部の設置
④	学校ICT環境の整備・活用を図り、高度情報化に対応した教育を推進します。	・GIGAスクール構想の下で整備された一人一台端末の積極的な利活用 ・情報モラル教育の充実
⑤	「まくべつ教育の日」を中心に、社会に開かれた学校づくりを行うため、子どもを真ん中に地域住民等との連携・協力関係を深めた教育を推進します。	・毎月19日を「まくべつ教育の日」と定め、家庭・地域・学校の三者で教育に対する意識の向上を図る。

⑥	支援を必要としている児童生徒が、適切な教育を受けられるよう関係機関と連携し、それぞれに応じた適切な学びを保障する特別支援教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員の配置</li> <li>・教育支援委員会の開催</li> <li>・特別支援教育就学奨励費扶助</li> </ul>
⑦	地域の特性を生かした特色ある学校づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある学校づくりの推進</li> </ul>
⑧	教職員の研修を促進し、指導力の向上及び資質の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の充実（小中の連携による合同研修の充実、小中学校教員の資質の向上や指導力の向上を図るための各種研修会への参加）</li> </ul>
⑨	いじめ、不登校、虐待などに適切に対応するため、教育相談体制を充実するとともに、学校・家庭・地域の連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー活用事業</li> <li>・スクールソーシャルワーカー活用事業</li> <li>・いじめ防止対策推進事業</li> <li>・子どもカウンセラー配置事業</li> <li>・スクールガードを配置するなど、学校安全・保健計画に基づく組織的な安全管理の推進</li> </ul>
⑩	体験活動などを通じて、「食」に関する知識と正しい食習慣を身に付け、健全な成長を育む食育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験塾事業（農作業体験や農作物の加工体験等）等を通じて食育を推進</li> </ul>
⑪	安全な給食を提供するため、食器や機材などの更新整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食用食器等更新事業</li> </ul>
⑫	健やかな成長に資する給食の提供に努めるとともに、地域の食材を生かした給食の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産食材活用事業</li> <li>・アレルギー対応食品活用事業</li> </ul>
⑬	小中学校が目指す子ども像を共有する義務教育9年間を通した小中一貫教育を推進し、中1ギャップと呼ばれる課題の解決に努めるとともに、ふるさとに誇りを持つ子どもを育みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校（学園）の設置</li> <li>・小中一貫教育の充実（教科担任制や部活動体験、小学生の中学校登校等）</li> </ul>
⑭	義務教育期間における保護者負担の軽減に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校修学旅行費支援事業</li> </ul>

### (3) 教育施設の整備

	推進項目	推進事業・事項など
①	幼児・児童・生徒の推移など長期展望に立って、施設規模の適正化及び適正配置を検討し、学校施設の計画的な整備・改修を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校規模の適正化及び適正配置</li> <li>・長寿命化計画に基づく学校施設の整備</li> </ul>
②	教職員の居住動向を勘案し、教職員住宅の改修整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員住宅改修事業（教職員住宅の適切な戸数の確保、実態に応じた改修）</li> </ul>

#### (4) 高等学校教育・特別支援学校の支援

	推進項目	推進事業・事項など
①	各学校の特色を生かした魅力ある学校づくりについて、支援を行うとともに、義務教育課程との連携を図ります。	・郷土に根ざした特色ある学校づくりの支援
②	社会に開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール） <b>などを通じて</b> 、学校設置者と協議します。	・幼稚園、小学校、中学校との連携 ・高校、地域間をコーディネート
③	特別支援学校の教育活動について、地域や関係団体等が一体となり、支援を行います。	・地域協力会への参加 ・行事や授業におけるスクールバスの運行支援
④	経済的理由により就学が困難な生徒を支援します。	・修学支援資金制度による経済的負担の軽減

## 4 青少年の健全育成の推進

### 【現状と課題】

次代を担う青少年が豊かな人間性を育み、自他ともにかげがえのない存在であることを認識するとともに、社会の一員として自覚し、自ら進んで社会参加ができる健全な社会人として成長するよう、家庭・学校・地域などが連携して青少年の健全育成を推進していくことが必要です。

### 【基本方針】

未来を担う青少年が心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めます。

### 【方 策】

#### (1) 青少年の健全育成

	推進項目	推進事業・事項など
①	家庭教育に関する学習機会を充実し、家庭内の教育力の向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭教育を考える集い（町P連研究大会）</li><li>・「学び隊」の開設</li></ul>
②	自然体験やボランティア活動など多様な経験を通し、豊かな人間性を育てます。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ふるさと館ジュニアスクールの開講</li><li>・社会貢献活動の推進</li></ul>
③	家庭、地域、学校、関係機関の連携を図り、「幕別町PTA連合会」や「幕別町児童生徒健全育成推進委員会」のほか、子ども会などの活動に対して支援を行い、青少年の健全育成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"><li>・幕別町PTA連合会活動の支援</li><li>・児童生徒健全育成推進委員会活動の支援</li><li>・4地区（幕別、札内、南幕別、忠類）生活指導連絡協議会活動の支援</li><li>・子ども会活動の支援</li><li>・地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」の推進に向けた取組</li></ul>
④	毎月19日の「ノーテレビデー、ノーゲームデー」や「携帯電話・スマートフォンのルール」の取組を積極的に周知し、家族と過ごす時間や、家庭学習の時間を確保するとともに、SNS等によるトラブルを減らし、青少年の健全育成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ノーテレビデー・ノーゲームデー」の実施</li><li>・「携帯電話・スマートフォンのルール」の取組推進</li></ul>

## 5 芸術・文化活動の振興

### 【現状と課題】

音楽、美術、演劇、映画などの芸術文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化する上で大きな力となるものであり、その果たす役割は極めて重要です。

芸術・文化活動の発表・交流の場の提供などへの支援や多様な芸術・文化の振興を図っていくことが必要となっています。

### 【基本方針】

国内外の優れた芸術文化に接し、体感できる鑑賞機会などの提供や自主的な活動による芸術文化の振興と豊かな情操の育成を図ります。

### 【方 策】

#### (1) 芸術・文化活動の支援と人材育成

	推進項目	推進事業・事項など
①	文化・芸術に関する学習の成果を発表・鑑賞する機会を提供する文化協会や町民芸術劇場などの団体を支援し、リーダーの育成とともに自主的な活動を促進します。	・幕別町文化協会、まくべつ町民芸術劇場への支援
②	芸術・文化活動が積極的に展開されるよう、本町の芸術・文化の拠点的施設である「百年記念ホール」をはじめ、公共施設の活用を図ります。	・公共施設を地域住民の芸術作品の展示や文化活動の場として提供

#### (2) 芸術・文化事業の推進

	推進項目	推進事業・事項など
①	町出身の芸術家や芸術・文化を愛する町民の作品等を発表する機会を設けるなど、芸術・文化のさらなる振興発展を促進します。	・図書館等の空きスペースを地元の芸術家や文化人の作品展示スペースとして開放 ・百年記念ホールギャラリー等を活用した展示スペースの拡大 ・幕別町応援大使と連携した事業の推進

### (3) 芸術・文化鑑賞機会の拡充

	推進項目	推進事業・事項など
①	子どもや初心者にも配慮した文化講座、教室を開催するとともに、町民が生涯を心豊かに過ごすため、優れた芸術・文化を体感できる鑑賞機会の提供に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"><li>・芸術・文化公演事業</li><li>・文化講演会及び生涯学習講演会の開催</li><li>・学校芸術鑑賞事業</li></ul>

## 6 歴史的文化の保存・伝承

### 【現状と課題】

本町の歴史的・文化的資源である郷土文化資料と、その情報を町民共有の財産として次世代に引き継ぐため、収集・保存する事業とともに、郷土文化資料を通じて、身近に先人の苦労や豊かな知識に触れ、町民、特に次代を担う子どもたちがふるさとへの新たな思いを養い、幕別町への愛着と誇りを育む事業の展開が重要です。

現在、ふるさと館及び蝦夷文化考古館では、本町の歴史資料やアイヌ文化資料を収集、保存、展示しており、また、蝦夷文化考古館及び千住生活館は、本町のアイヌ施策を推進する中で重要な役割を担っている施設であります。老朽化が著しく、収蔵されている資料の保存や、アイヌ文化の伝承活動に支障をきたすことから、アイヌ政策推進交付金を活用し、新たに拠点となる施設の整備等を進めています。

アイヌ文化に関しては、平成 31 年度に「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策を推進する法律」の制定により、総合的な政策が推進されてきており、アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現が望まれています。

また、昭和 44 年に発見されたナウマン象化石骨は、世界的にも貴重な資料であり、その復元骨格標本や発掘資料などをナウマン象記念館に展示し、現在も多くの人に注目されています。

ナウマン象の歴史、埋蔵文化財、アイヌ文化、開拓以来の歴史・文化など保存・伝承すべき有形、無形の貴重なふるさとの資源が豊富にあり、これらを後世に伝えていくことが求められています。

### 【基本方針】

本町の歴史的資料を収集・保存、展示しているふるさと館や、世界的にも貴重な資料を展示しているナウマン象記念館のそれぞれの特徴を生かし、郷土の歴史や文化の保存・継承・発信を図ります。

また、アイヌ文化の伝承・発信の拠点となる多機能型交流施設を整備し、アイヌ文化の保存・伝承を推進するとともに、蝦夷文化考古館で展示・収蔵していた資料の修復など展示機能を充実させ、より広く情報の発信を図ります。

## 【方 策】

### (1) 施設の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	歴史的資料を適切に保存し、公開施設の整備・改修等、充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと館及び蝦夷文化考古館の収蔵品の把握及び未整理品の調査研究</li> <li>・国のアイヌ交付金事業で計画している多機能型交流施設(生活館棟・展示館棟)の整備</li> <li>・ナウマン象記念館の展示の充実とナウマン象化石発掘調査の継続</li> </ul>

### (2) 歴史的文化の保存・継承と活用

	推進項目	推進事業・事項など
①	地域文化の保存と伝承を担う人材の育成を支援するとともに、本町の歴史を伝承する活動の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糠内獅子舞保存会などへの支援</li> </ul>
②	各種の資料をテーマに沿って展示・公開し、児童生徒や町民に郷土の歴史に触れる機会を設けるとともに、専門的知識を有する人材の活用・育成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財の保存</li> <li>・開拓の歴史の展示</li> <li>・歴史の散歩道の活用</li> <li>・郷土文化研究員の配置</li> <li>・郷土文化特別相談員の配置</li> <li>・各分野の学芸員の配置</li> </ul>

### (3) アイヌ文化の保存振興と理解の促進

	推進項目	推進事業・事項など
①	アイヌ民族の歴史・文化などの調査研究を進めるとともに、本町から全道のアイヌ文化をつなぐ情報の発信を行うほか、多機能型交流施設を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土文化研究員の配置</li> <li>・郷土文化特別相談員の配置</li> <li>・アイヌ専門学芸員の配置</li> <li>・アイヌ文化の伝承</li> <li>・多機能型交流施設(生活館棟・展示館棟)の整備</li> </ul>
②	町民がアイヌの人々や文化について理解を深めるため、学習機会の提供に努めるとともに、より多くの本町内外のアイヌの方々が誇りをもって生活し、アイヌ文化を保存・伝承するための活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ文化の展示</li> <li>・アイヌの歴史の社会科副読本への掲載</li> <li>・アイヌの伝統的な技術の伝承や、記録化及び保存の実施</li> <li>・アイヌ語講座をはじめとしたアイヌ文化に関する各種講座の実施</li> </ul>

## 7 健康づくりとスポーツ活動の振興

### 【現状と課題】

多くの人が、心身ともに健康で活力ある生活を望んでおり、スポーツ・レクリエーションへの関心がますます高まっています。

スポーツは、健康づくり、体力づくりに寄与するだけでなく、スポーツを通じて培われた仲間との連帯感や協調性は、より良い地域社会形成の基礎となるほか、青少年が思いやりの心やフェアプレーの精神を育む重要な役割も果たしています。

本町には、陸上競技場や野球場、スポーツセンターなどがあるほか、町発祥のコミュニティスポーツであるパークゴルフ場など町民が気軽にスポーツなどを楽しむことができる環境が整備されており、こうした環境で育った本町出身のオリンピック選手やプロスポーツ選手など多くのアスリートがいろいろな分野で活躍しています。

これらのスポーツ・レクリエーション施設の有効利用を図るとともに、障がいを持つ方も含め、子どもから高齢者までスポーツに取り組める環境の整備やパークゴルフなどのスポーツを振興していくことが必要です。

本町では、「幕別町スポーツ推進計画」を策定し、町民一人ひとりがスポーツに関わることで、スポーツが地域に根ざした文化として醸成するとともに、スポーツ交流人口の拡大や経済活動化につながるよう、スポーツ振興に取り組んでいます。

### 【基本方針】

町民がいつでも気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境づくりを進め、パークゴルフの振興とスポーツ・レクリエーションの指導者、団体の育成を図ります。

また、町出身のアスリートやスポーツ団体と連携し、次世代のアスリートの育成に努めます。

教育目標である「郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人」の育成を基本とし、ライフステージに応じたスポーツの推進・充実に努めます。

## 【方 策】

### (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

	推進項目	推進事業・事項など
①	個々の運動能力に応じた体力づくり講座、各種講習会などの開催を通じて、あらゆる人がスポーツ・レクリエーションに親しめる機会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力づくりの指導及び健康講座の開催</li> <li>・スポーツ・レクリエーション機会の提供</li> </ul>
②	スポーツ教室や施設、大会案内など、スポーツ・レクリエーションに関する情報提供の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ講座開催等の情報提供</li> </ul>
③	町出身のアスリートやスポーツ団体との連携により各種大会やイベント、合宿誘致などを通し、スポーツに対する意識を向上させるとともに、次世代のオリンピックアスリートの育成を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来のオリンピック選手を育てる事業</li> <li>・スポーツ大会の誘致</li> <li>・スポーツ合宿の誘致</li> </ul>

### (2) 指導者・組織の育成と支援

	推進項目	推進事業・事項など
①	幕別町スポーツ協会やスポーツ少年団をはじめ、町民の自主的な運営による「総合型地域スポーツクラブ」の支援を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブへの支援</li> <li>・スポーツ関係団体への支援</li> </ul>
②	スポーツ・レクリエーション指導者や団体に対して情報提供の充実に努め、指導者の養成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導者の養成のための研修会や講習会に関する情報提供</li> <li>・スポーツ推進委員との連携</li> <li>・運動部活動の地域への移行に向けた情報の収集及び研究</li> </ul>

### (3) 社会体育施設の整備拡充と有効活用

	推進項目	推進事業・事項など
①	社会体育施設の計画的な環境整備を進めるとともに、効率的かつ効果的な管理運営と機能充実を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育施設の計画的な改修</li> </ul>
②	学校体育施設の開放による有効活用を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育施設の活用</li> </ul>

(4) 「見る」「応援する」「する」「支える」スポーツを楽しみ、親しめる環境づくり

	推進項目	推進事業・事項など
①	スポーツを「見る」「応援する」雰囲気を醸成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種メディアによる情報発信の強化</li> <li>・町内出身アスリートの応援における町全体での機運醸成</li> <li>・スポーツ合宿や大会の誘致とスポーツ交流人口の拡大</li> </ul>
②	スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ体験の充実</li> <li>・学校での体づくり活動の充実</li> <li>・様々な世代のスポーツ機会の充実と健康増進</li> <li>・コミュニティスポーツの普及</li> </ul>
③	社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体の活性化</li> <li>・スポーツ指導者やボランティアなどの人材育成</li> <li>・スポーツ人材の働く環境づくり</li> <li>・スポーツ大会の用具、送迎などの保護者負担軽減</li> </ul>
④	子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツをしやすい環境づくり</li> <li>・気軽にスポーツ施設を訪れる機会の創出</li> <li>・スポーツに親しめる多様な環境整備</li> </ul>
⑤	「オリンピックの町・幕別町」を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応援大使を活用したスポーツ振興</li> <li>・スポーツを活用した地方創生</li> <li>・大学及び道内プロスポーツ団体との連携</li> </ul>

(5) パークゴルフの振興

	推進項目	推進事業・事項など
①	パークゴルフの発祥の地として、国内外への情報発信に努めるとともに、日本パークゴルフ協会や様々な分野と連携しながら、一層の振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークゴルフ関係団体との連携</li> <li>・クマゲラハウスの環境整備</li> <li>・パークゴルフを通じた3世代交流の促進や若者を中心とした交流人口の増加</li> </ul>

## 資 料

### (1) 町民意識調査の結果

#### 1. 調査の概要

##### ア. 調査の目的

第7次幕別町生涯学習中期計画を策定するに当たり、町民の生涯学習に関する参画状況や意識を把握し、計画策定及び今後の事業に反映させるため。

##### イ. 調査方法と回収結果

①対 象 9歳以上の全町民

②抽出方法 住民基本台帳により、幕別、札内、南幕別、忠類の4地域別に無作為に抽出。

9歳から17歳まで、18歳以上の2階層別に対象者を確定。

③発送方法 郵送により行い、返信は「料金受取人払郵便」とする。

10月11日発送 ※回収期限：10月24日

##### ④発送数と回収数

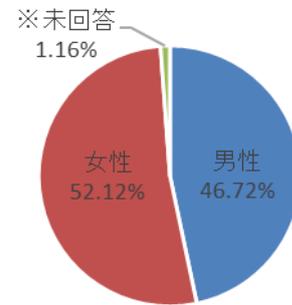
年齢区分	発送数	回収数	回収率
9～17歳	702	259	36.9
18歳以上	766	263	34.3
計	1,468	521	35.5

## 2. 調査の結果

【9歳から17歳】

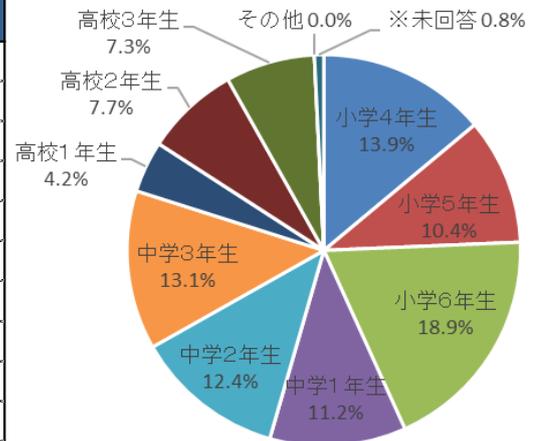
### 問1 あなたの性別についてお答えください。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
男性	166	52.04%	121	46.72%
女性	152	47.65%	135	52.12%
※未回答	1	0.31%	3	1.16%
計	319	100.0%	259	100.0%



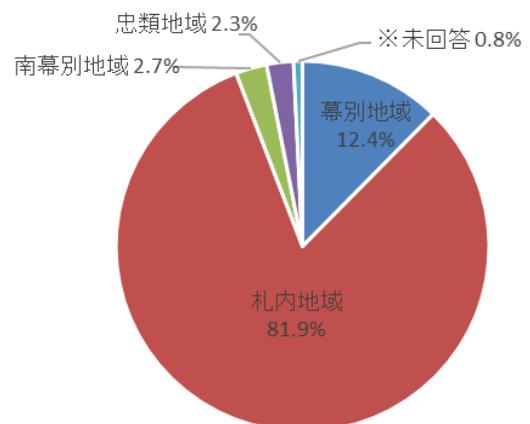
### 問2 あなたの学年についてお答えください。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学4年生	34	10.7%	36	13.9%
小学5年生	44	13.8%	27	10.4%
小学6年生	42	13.2%	49	18.9%
中学1年生	31	9.7%	29	11.2%
中学2年生	36	11.3%	32	12.4%
中学3年生	35	11.0%	34	13.1%
高校1年生	35	11.0%	11	4.2%
高校2年生	24	7.5%	20	7.7%
高校3年生	18	5.6%	19	7.3%
その他	18	5.6%	0	0.0%
※未回答	2	0.6%	2	0.8%
計	319	100.0%	259	100.0%



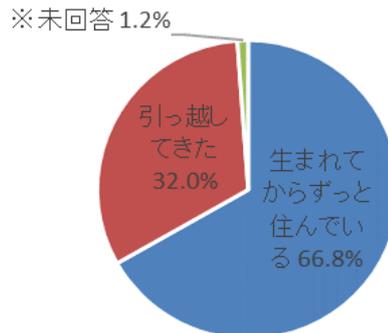
### 問3 あなたの住んでいる地域はどこですか。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
幕別地域	38	11.9%	32	12.4%
札内地域	255	79.9%	212	81.9%
南幕別地域	8	2.5%	7	2.7%
忠類地域	15	4.7%	6	2.3%
※未回答	3	0.9%	2	0.8%
計	319	100.0%	259	100.0%



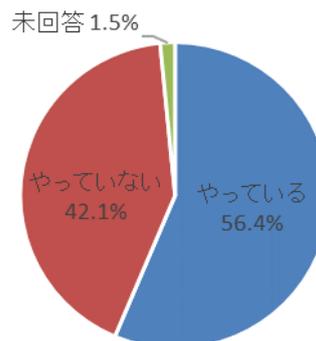
#### 問4 あなたは幕別町に何年住んでいますか

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
生まれてからずっと住んでいる	199	62.4%	173	66.8%
	※平均居住年数	12.8年	※平均居住年数	12.2
引っ越してきた	113	35.4%	83	32.0%
	※平均居住年数	8.3年	※平均居住年数	8.5
※未回答	7	2.2%	3	1.2%
計	319	100.0%	259	100.0%



#### 問5 あなたは現在、何か習い事をしていますか。

区分	第7次	
	人数	割合(%)
やっている	146	56.4%
やっていない	109	42.1%
未回答	4	1.5%
計	259	100.0%



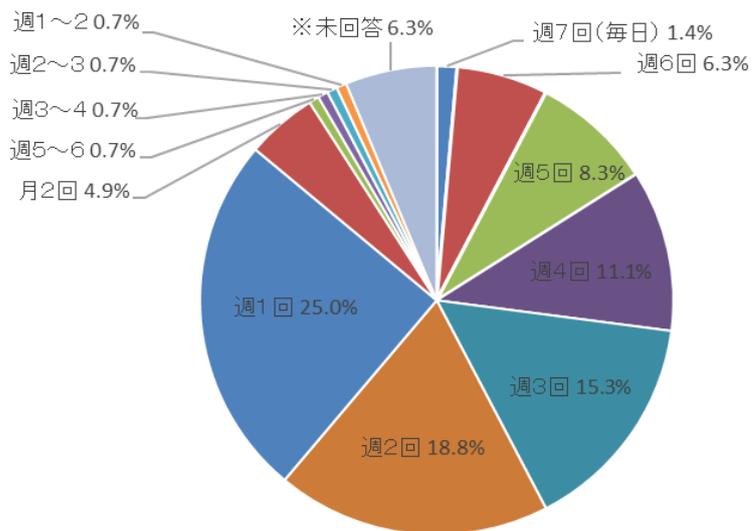
#### やっている習い事の種類（2つまで）

習い事の種類	人数	割合(%)
ピアノ	21	10.7%
英語	16	8.2%
水泳	13	6.6%
習字	13	6.6%
書道	3	1.5%
サッカー	19	9.7%
公文	12	6.1%
練成会	4	2.0%
塾	13	6.6%
野球	9	4.6%
テニス	4	2.0%
バスケットボール	6	3.1%
陸上	6	3.1%
スケート	5	2.6%
バドミントン	5	2.6%
バレーボール	3	1.5%
太鼓	2	1.0%
スキー	2	1.0%
ダンス	2	1.0%
トランポリン	1	0.5%
そろばん	3	1.5%
コスモ	1	0.5%
合気道	1	0.5%
ラグビー	1	0.5%
吹奏楽	1	0.5%
空手	3	1.5%
チアリーディング	1	0.5%

習い事の種類	人数	割合(%)
バレエ	3	1.5%
剣道	2	1.0%
Jr.JAZZ	1	0.5%
エレクトーン	1	0.5%
JOY FIT	1	0.5%
フラダンス	1	0.5%
ソフトテニス	1	0.5%
ドラム	1	0.5%
ボルダリング	2	1.0%
バトン	1	0.5%
茶道	1	0.5%
フィギュアスケート	1	0.5%
スケート	5	2.6%
スピードスケート	1	0.5%
学習スクエア	1	0.5%
プログラミング	1	0.5%
ストリートダンス	1	0.5%
クライマックス	1	0.5%
計	196	100.0%

## やっている習い事の頻度

習い事を行っている頻度	第7次	
	人数	割合(%)
週7回(毎日)	2	1.4%
週6回	9	6.3%
週5回	12	8.3%
週4回	16	11.1%
週3回	22	15.3%
週2回	27	18.8%
週1回	36	25.0%
月2回	7	4.9%
週5～6	1	0.7%
週3～4	1	0.7%
週2～3	1	0.7%
週1～2	1	0.7%
※未回答	9	6.3%
計	144	100.0%

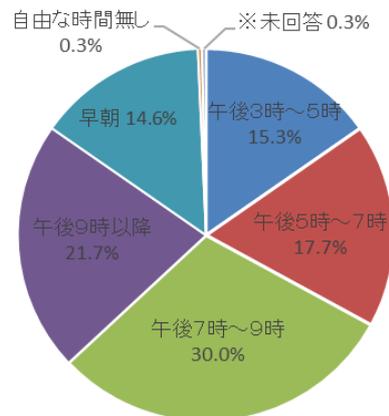


## 問6 あなたが自由に使える時間は次のどれですか

(あてはまるものすべてに○)

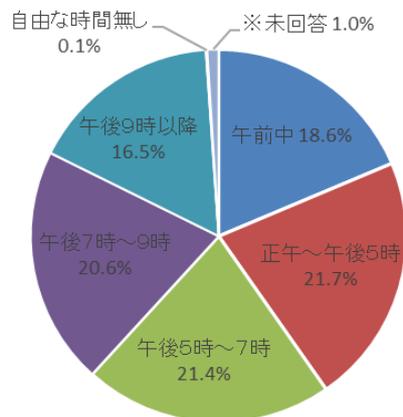
【平日(月～金)】

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
午後3時～5時	89	13.9%	88	15.3%
午後5時～7時	106	16.6%	102	17.7%
午後7時～9時	196	30.6%	173	30.0%
午後9時以降	147	23.0%	125	21.7%
早朝	90	14.1%	84	14.6%
自由な時間無し	9	1.4%	2	0.3%
※未回答	3	0.5%	2	0.3%
計	640	100.0%	576	100.0%



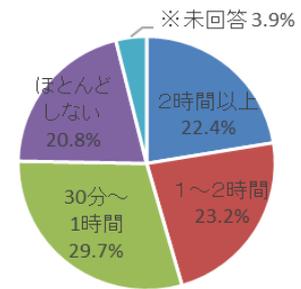
【休日】

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
午前中	167	18.5%	152	18.6%
正午～午後5時	204	22.5%	177	21.7%
午後5時～7時	192	21.2%	175	21.4%
午後7時～9時	194	21.4%	168	20.6%
午後9時以降	141	15.6%	135	16.5%
自由な時間無し	4	0.4%	1	0.1%
※未回答	3	0.3%	8	1.0%
計	905	100.0%	816	100.0%

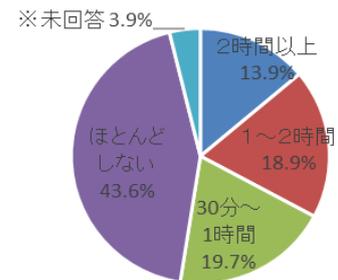


問7 あなたは、普段の生活で、次のようなことを1日の間に平均してどのくらいの時間、行っていますか。（すべての項目で、あてはまるもの1つに○）

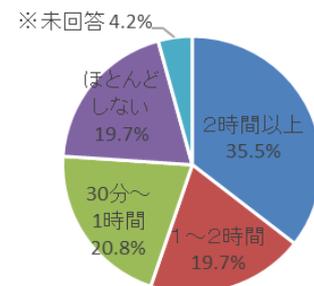
区分		第6次		第7次	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
テレビ・DVDを見る	2時間以上	82	25.7%	58	22.4%
	1～2時間	94	29.5%	60	23.2%
	30分～1時間	98	30.7%	77	29.7%
	ほとんどしない	40	12.5%	54	20.8%
	※未回答	5	1.6%	10	3.9%
	計	319	100.0%	259	100.0%



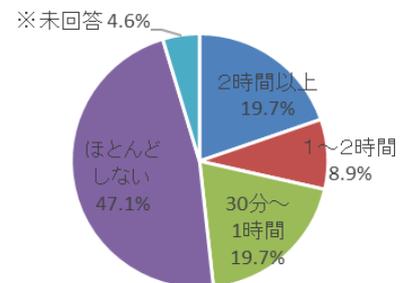
テレビゲームをする	2時間以上	32	10.0%	36	13.9%
	1～2時間	35	11.0%	49	18.9%
	30分～1時間	60	18.8%	51	19.7%
	ほとんどしない	186	58.3%	113	43.6%
	※未回答	6	1.9%	10	3.9%
	計	319	100.0%	259	100.0%



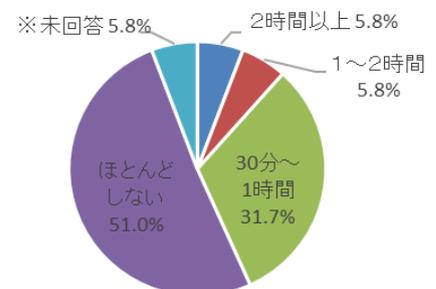
インターネットをする	2時間以上	79	24.8%	92	35.5%
	1～2時間	60	18.8%	51	19.7%
	30分～1時間	79	24.8%	54	20.8%
	ほとんどしない	98	30.7%	51	19.7%
	※未回答	3	0.9%	11	4.2%
	計	319	100.0%	259	100.0%



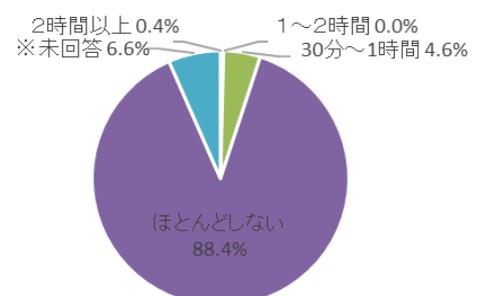
SNSをする	2時間以上	31	9.7%	51	19.7%
	1～2時間	25	7.8%	23	8.9%
	30分～1時間	50	15.7%	51	19.7%
	ほとんどしない	204	63.9%	122	47.1%
	※未回答	9	2.8%	12	4.6%
	計	319	100.0%	259	100.0%



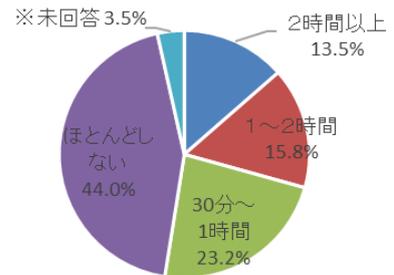
本を読む	2時間以上	17	5.3%	15	5.8%
	1～2時間	28	8.8%	15	5.8%
	30分～1時間	121	37.9%	82	31.7%
	ほとんどしない	145	45.5%	132	51.0%
	※未回答	8	2.5%	15	5.8%
	計	319	100.0%	259	100.0%



新聞を読む	2時間以上	0	0.0%	1	0.4%
	1～2時間	2	0.6%	0	0.0%
	30分～1時間	33	10.3%	12	4.6%
	ほとんどしない	275	86.2%	229	88.4%
	※未回答	9	2.8%	17	6.6%
	計	319	100.0%	259	100.0%

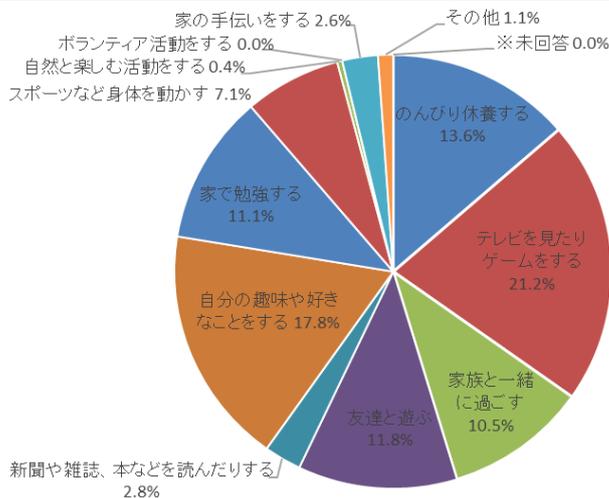


区分	第6次		第7次		
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
外で遊ぶ	2時間以上	44	13.8%	35	13.5%
	1～2時間	49	15.4%	41	15.8%
	30分～1時間	75	23.5%	60	23.2%
	ほとんどしない	145	45.5%	114	44.0%
	※未回答	6	1.9%	9	3.5%
	計	319	100.0%	259	100.0%



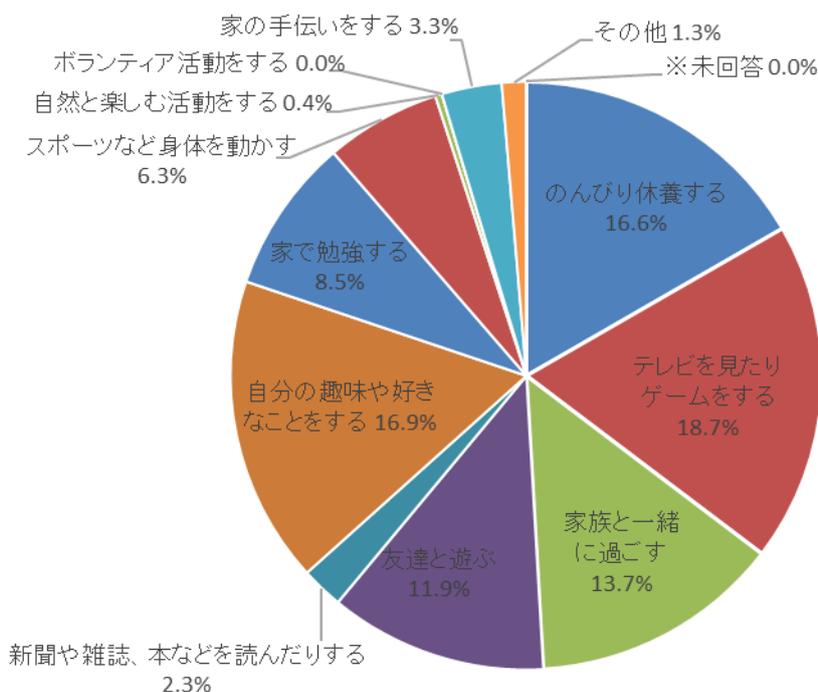
問8 あなたは、平日の自由な時間を、どのように過ごすことが多いですか。  
(あてはまるもの3つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
のんびり休養する	127	13.7%	109	13.6%
テレビを見たりゲームをする	194	21.0%	169	21.2%
家族と一緒に過ごす	95	10.3%	84	10.5%
友達と遊ぶ	99	10.7%	94	11.8%
新聞や雑誌、本などを读んだりする	38	4.1%	22	2.8%
自分の趣味や好きなことをする	131	14.2%	142	17.8%
家で勉強する	127	13.7%	89	11.1%
スポーツなど身体を動かす	76	8.2%	57	7.1%
自然と楽しむ活動をする	8	0.9%	3	0.4%
ボランティア活動をする	1	0.1%	0	0.0%
家の手伝いをする	25	2.7%	21	2.6%
その他	3	0.3%	9	1.1%
※未回答	0	0.0%	0	0.0%
計	924	100.0%	799	100.0%
※その他の内容	スマホを使う			
	家で遊ぶ(おにんぎょうごっこ)			
	SNSをする			
	PC、スマホでネットサーフィン			
	手伝いではなくご飯づくり			
	学校で勉強する			
	youtubeを見る			
	自宅でオンラインゲームで友達と遊ぶ			



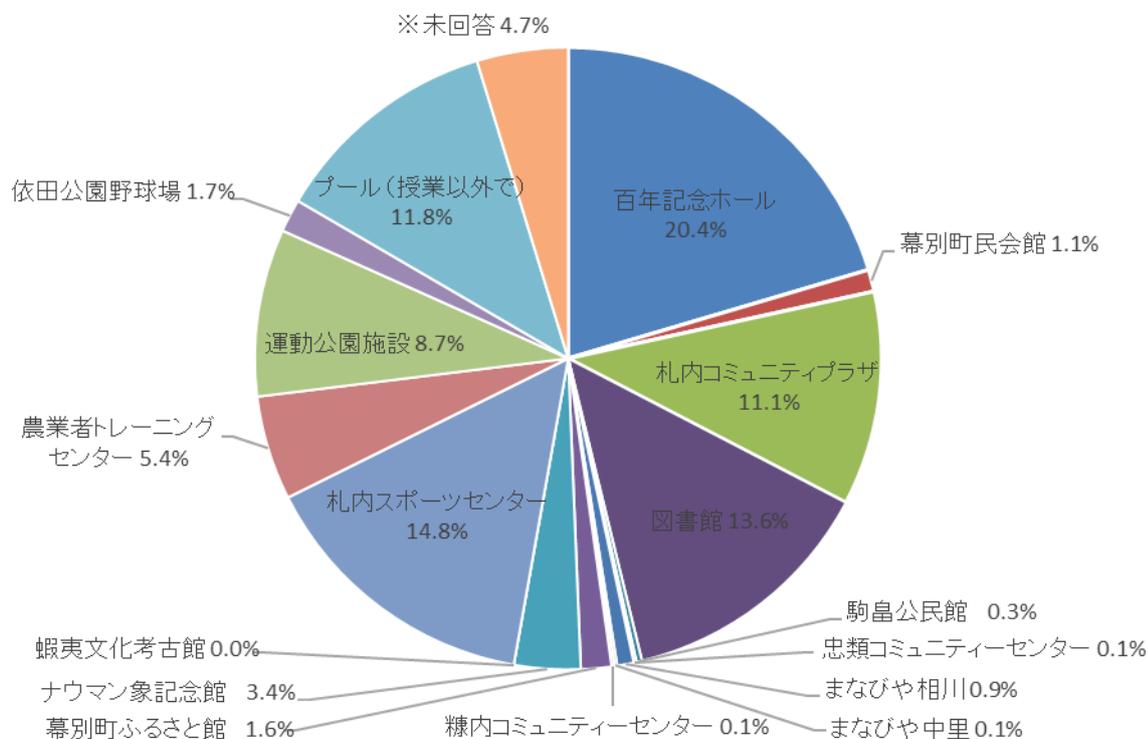
問9 あなたは、休日の自由な時間はどのように過ごすことが多いですか。  
(あてはまるもの3つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
のんびり休養する	167	17.7%	137	16.6%
テレビを見たりゲームをする	197	20.9%	154	18.7%
家族と一緒に過ごす	110	11.7%	113	13.7%
友達と遊ぶ	137	14.6%	98	11.9%
新聞や雑誌、本などを読んだりする	31	3.3%	19	2.3%
自分の趣味や好きなことをする	129	13.7%	139	16.9%
家で勉強する	77	8.2%	70	8.5%
スポーツなど身体を動かす	62	6.6%	52	6.3%
自然と楽しむ活動をする	7	0.7%	3	0.4%
ボランティア活動をする	0	0.0%	0	0.0%
家の手伝いをする	20	2.1%	27	3.3%
その他	4	0.4%	11	1.3%
※未回答	0	0.0%	0	0.0%
計	941	100.0%	823	100.0%
※その他の内容	スマホを使う(2人)			
	家で遊ぶ(おにんぎょうごっこ)			
	SNSをする			
	PC、スマホでネットサーフィン			
	youtubeを見る(2人)			
	買い物			
	兄ちゃんたちと遊ぶ			
	ゲームセンター			



問 10 あなたは最近1年で、町内の次の施設を利用したことがありますか。  
 (あてはまるもの全てに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
百年記念ホール	178	18.8%	143	20.4%
幕別町民会館	14	1.5%	8	1.1%
札内コミュニティプラザ	78	8.2%	78	11.1%
図書館	185	19.5%	95	13.6%
駒島公民館	8	0.8%	2	0.3%
忠類コミュニティーセンター	17	1.8%	1	0.1%
まなびや相川	20	2.1%	6	0.9%
まなびや中里	2	0.2%	1	0.1%
糠内コミュニティーセンター	4	0.4%	1	0.1%
幕別町ふるさと館	19	2.0%	11	1.6%
ナウマン象記念館	28	3.0%	24	3.4%
蝦夷文化考古館	0	0.0%	0	0.0%
札内スポーツセンター	123	13.0%	104	14.8%
農業者トレーニングセンター	45	4.7%	38	5.4%
運動公園施設	72	7.6%	61	8.7%
依田公園野球場	12	1.3%	12	1.7%
プール(授業以外で)	122	12.9%	83	11.8%
※未回答	21	2.2%	33	4.7%
計	948	100.0%	701	100.0%



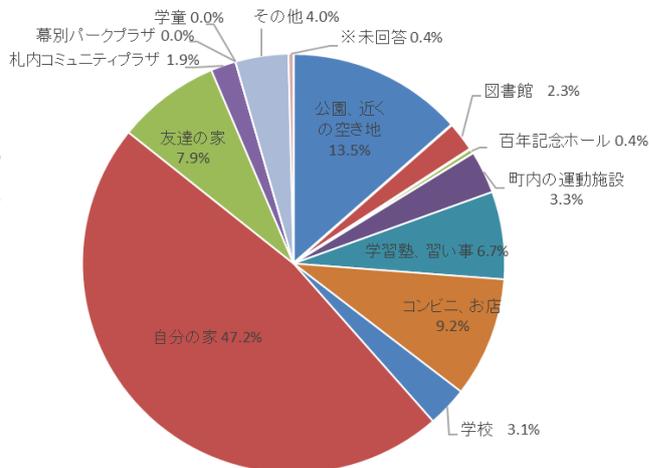
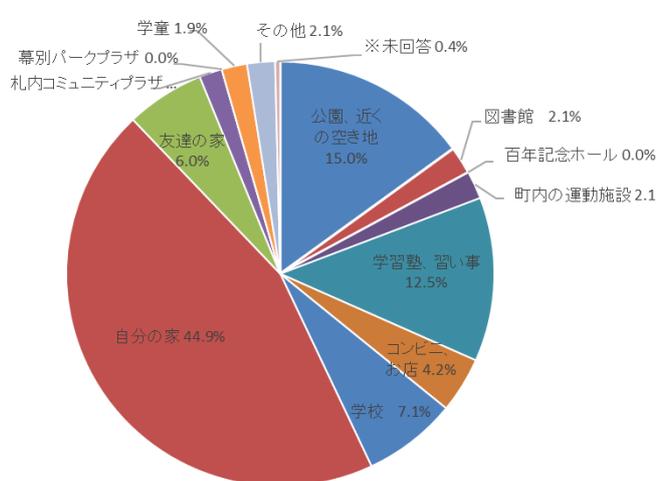
問 11 あなたは、放課後（または学校から帰って）、あるいは休みの日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。（あてはまるもの3つまで○）

【放課後】

【休日】

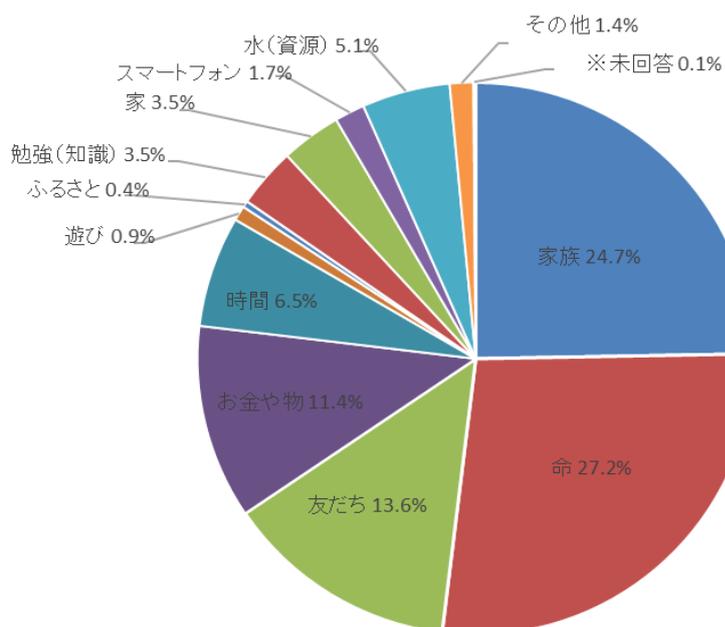
区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
公園、近くの空き地	75	11.1%	78	15.0%
図書館	12	1.8%	11	2.1%
百年記念ホール	5	0.7%	0	0.0%
町内の運動施設	21	3.1%	11	2.1%
学習塾、習い事	102	15.1%	65	12.5%
コンビニ、お店	16	2.4%	22	4.2%
学校	85	12.6%	37	7.1%
自分の家	282	41.8%	234	44.9%
友達の家	40	5.9%	31	6.0%
札内コミュニティプラザ	18	2.7%	9	1.7%
幕別パークプラザ	1	0.1%	0	0.0%
学童	7	1.0%	10	1.9%
その他	11	1.6%	11	2.1%
※未回答	0	0.0%	2	0.4%
計	675	100.0%	521	100.0%
※その他の内容	放課後デイサービス(4人)			
	祖父母の家(2人)			
	学校の寮(2人)			
	札内スポーツセンター			
	スケートのリンク(オーバル)			
	町内外サイクリング(ロード)トレーニング			
	十勝きずな			

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
公園、近くの空き地	78	11.7%	70	13.5%
図書館	23	3.5%	12	2.3%
百年記念ホール	10	1.5%	2	0.4%
町内の運動施設	19	2.9%	17	3.3%
学習塾、習い事	59	8.9%	35	6.7%
コンビニ、お店	40	6.0%	48	9.2%
学校	43	6.5%	16	3.1%
自分の家	288	43.2%	245	47.2%
友達の家	62	9.3%	41	7.9%
札内コミュニティプラザ	15	2.3%	10	1.9%
幕別パークプラザ	3	0.5%	0	0.0%
学童	4	0.6%	0	0.0%
その他	17	2.6%	21	4.0%
※未回答	5	0.8%	2	0.4%
計	666	100.0%	519	100.0%
※その他の内容	祖父母の家(3人)			
	買い物(2人)			
	お出かけ(2人)			
	十勝きずな			
	部活			
	ドライブ			
	帯広の森			
	帯広の商業施設			
	帯広に行く			
	岡書、TSUTAYA			
	ショッピングモール			
	スケートのリンク(オーバル)			
	町内外サイクリング(ロード)トレーニング			
	寮			
放課後デイサービス(2人)				
パークゴルフ				



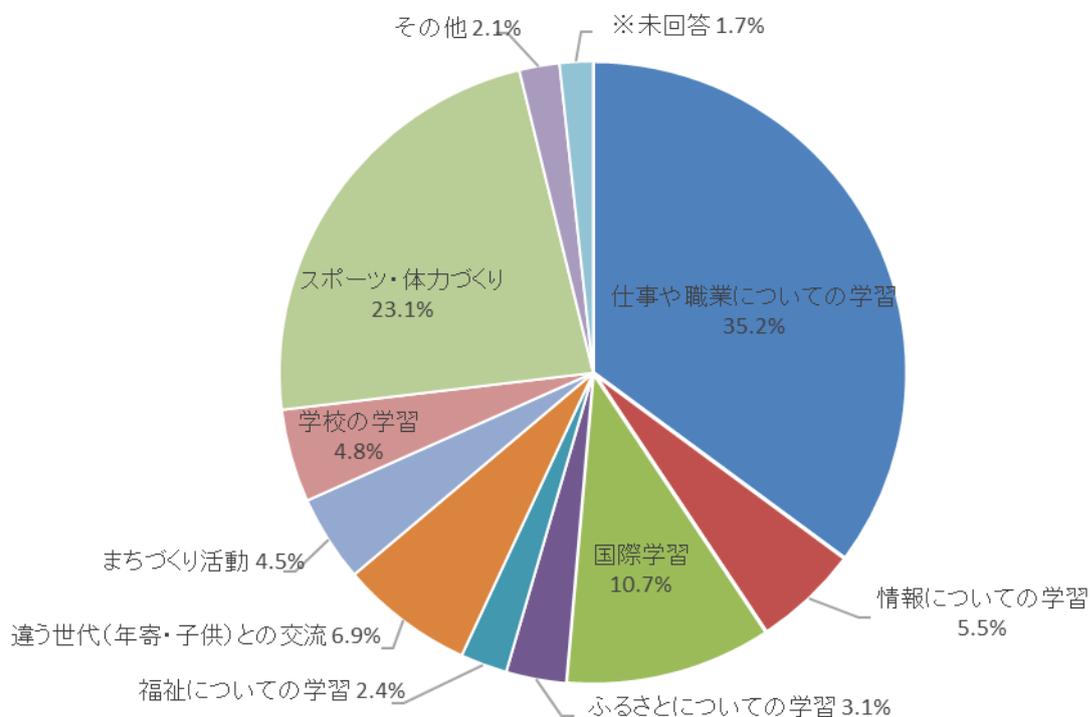
問 12 あなたが生きる中で大切なものはなんですか。（あてはまるもの3つまで〇）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
家族	241	25.7%	198	24.7%
命	253	27.0%	218	27.2%
友だち	105	11.2%	109	13.6%
お金や物	106	11.3%	91	11.4%
時間	71	7.6%	52	6.5%
遊び	11	1.2%	7	0.9%
ふるさと	3	0.3%	3	0.4%
勉強(知識)	34	3.6%	28	3.5%
家	26	2.8%	28	3.5%
スマートフォン	9	1.0%	14	1.7%
水(資源)	72	7.7%	41	5.1%
その他	6	0.6%	11	1.4%
※未回答	0	0.0%	1	0.1%
計	937	100.0%	801	100.0%
※その他の内容	人脈、人			
	思い出			
	自分の能力(体を動かす能力、頭を動かす能力)			
	推し			
	自分のしたいこと			
	スポーツ			
	楽しいと感じる趣味			
	全てが大切			
	植物			



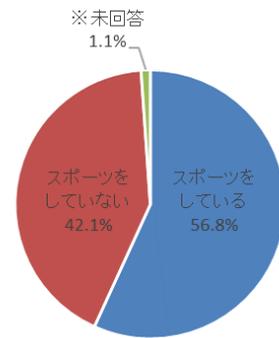
問 13 あなたは、次の学習内容の中で特にやってみたいものはなんですか。  
 (あてはまるもの1つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
仕事や職業についての学習	98	30.7%	102	35.2%
情報についての学習	15	4.7%	16	5.5%
国際学習	23	7.2%	31	10.7%
ふるさとについての学習	8	2.5%	9	3.1%
福祉についての学習	6	1.9%	7	2.4%
違う世代(年寄・子供)との交流	21	6.6%	20	6.9%
まちづくり活動	7	2.2%	13	4.5%
学校の学習	28	8.8%	14	4.8%
スポーツ・体力づくり	100	31.3%	67	23.1%
その他	5	1.6%	6	2.1%
※未回答	8	2.5%	5	1.7%
計	319	100.0%	290	100.0%
※その他の内容	経済について			
	歴史、全国の歴史の学習			
	環境を守るための学習			
	SDGs			
	パソコンの詳しい使い方			



問 14 あなたは、現在何かスポーツをしていますか。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
スポーツをしている	204	63.9%	147	56.8%
スポーツをしていない	106	33.2%	109	42.1%
※未回答	9	2.8%	3	1.1%
計	319	100.0%	259	100.0%

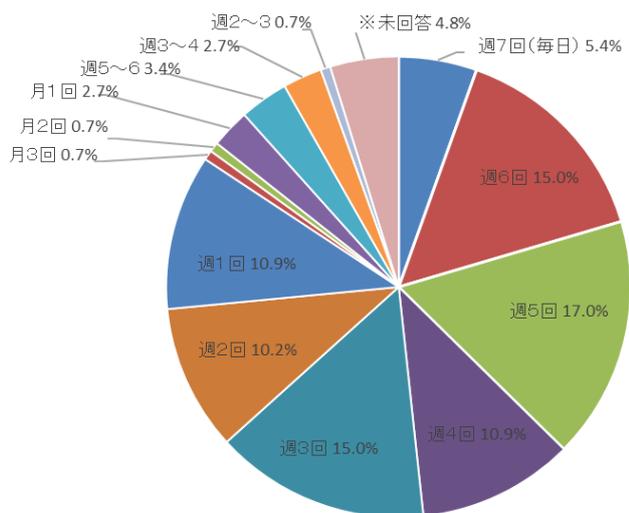


「スポーツをしている」と回答した方が  
行っているスポーツ（2つまで）

スポーツの種類	人数	割合(%)
陸上	14	7.7%
空手	5	2.7%
バレーボール	8	4.4%
ソフトテニス	7	3.8%
野球	23	12.6%
バスケットボール	11	6.0%
スピードスケート	3	1.6%
スケート	6	3.3%
縄跳び	1	0.5%
スキー	5	2.7%
ダンス	4	2.2%
バドミントン	6	3.3%
水泳	18	9.9%
テニス	8	4.4%
新体操	1	0.5%
卓球	6	3.3%
サッカー	23	12.6%
バトン	2	1.1%
トランポリン	1	0.5%
ランニング	2	1.1%
体操	1	0.5%
ドッジボール	1	0.5%
剣道	2	1.1%
ボルダリング	2	1.1%
スノーボード	1	0.5%
弓道	1	0.5%
テニス	8	4.4%
カヌー	1	0.5%
チアリーディング	1	0.5%
ソフトボール	4	2.2%
フィギュアスケート	1	0.5%
ラグビー	1	0.5%
エアトランポリン	1	0.5%
そろばん	1	0.5%
バレエ	2	1.1%
計	182	100.0%

「スポーツをしている」と回答した方が  
スポーツを行っている頻度

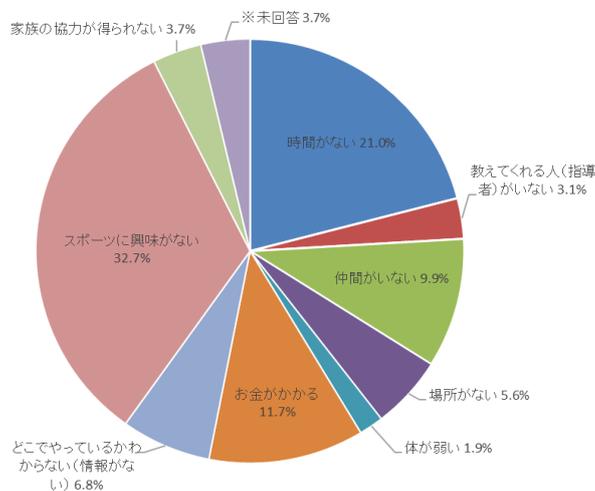
スポーツを行っている頻度	人数	割合(%)
週7回(毎日)	8	5.4%
週6回	22	15.0%
週5回	25	17.0%
週4回	16	10.9%
週3回	22	15.0%
週2回	15	10.2%
週1回	16	10.9%
月3回	1	0.7%
月2回	1	0.7%
月1回	4	2.7%
週5~6	5	3.4%
週3~4	4	2.7%
週2~3	1	0.7%
※未回答	7	4.8%
計	147	100.0%



問 15 問 14 で「スポーツをしていない」と答えた方の、スポーツをしていない理由とスポーツへの興味・関心について

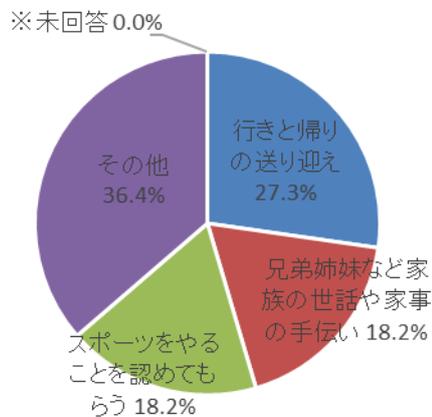
スポーツをしていない理由（あてはまるもの3つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
時間がない	51	25.6%	34	21.0%
教えてくれる人(指導者)がいない	8	4.0%	5	3.1%
仲間がいない	18	9.0%	16	9.9%
場所がない	10	5.0%	9	5.6%
体が弱い	9	4.5%	3	1.9%
お金がかかる	33	16.6%	19	11.7%
どこでやっているかわからない(情報が無い)	10	5.0%	11	6.8%
スポーツに興味がない	41	20.6%	53	32.7%
家族の協力が得られない	11	5.5%	6	3.7%
※未回答	8	4.0%	6	3.7%
計	199	100.0%	162	100.0%



「家族の協力が得られない」と答えた方はどのように協力してもらえればスポーツをやることができますか。

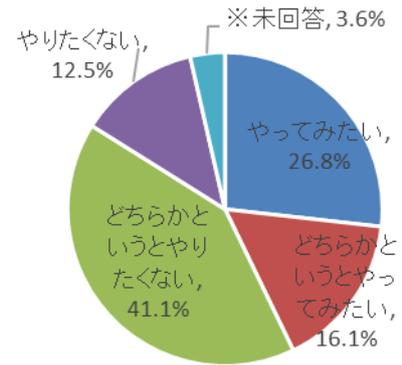
区分	第7次	
	人数	割合(%)
行きと帰りの送り迎え	3	27.3%
兄弟姉妹など家族の世話や家事の手伝い	2	18.2%
スポーツをやることを認めてもらう	2	18.2%
その他	4	36.4%
※未回答	0	0.0%
計	11	100.0%



※その他の内容	元々陸上をやっていたが、家庭の事情でできなくなった
	難しい
	受験のため
	部活で卓球をしていたが3年生なので引退したから

スポーツへの興味・関心（あてはまるもの1つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
やってみたい	38	35.8%	30	26.8%
どちらかというとやってみたい	23	21.7%	18	16.1%
どちらかというとやりたくない	27	25.5%	46	41.1%
やりたくない	18	17.0%	14	12.5%
※未回答	-	-	4	3.6%
計	106	100.0%	112	100.0%

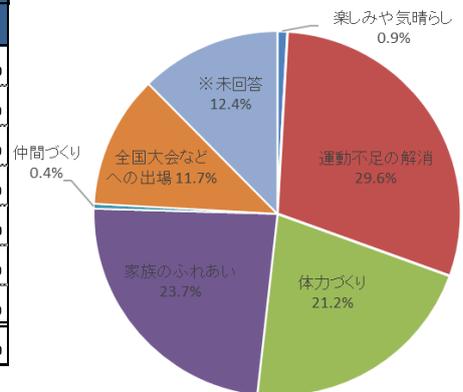


「やってみたい」「どちらかというとやってみたい」と回答した人がやりたいスポーツ

スポーツの種類	人数	割合(%)	スポーツの種類	人数	割合(%)
サッカー	7	13.5%	トランポリン	1	1.9%
バドミントン	7	13.5%	ポッチャ	1	1.9%
バスケットボール	6	11.5%	モルック	1	1.9%
ダンス	5	9.6%	バレーボール	1	1.9%
卓球	4	7.7%	ソフト	1	1.9%
陸上	4	7.7%	テニボン	1	1.9%
野球	3	5.8%	カーリング	1	1.9%
ソフトテニス	2	3.8%	スケート	1	1.9%
テニス	2	3.8%	チアダンス	1	1.9%
弓道	2	3.8%	全て	1	1.9%
計				52	100.0%

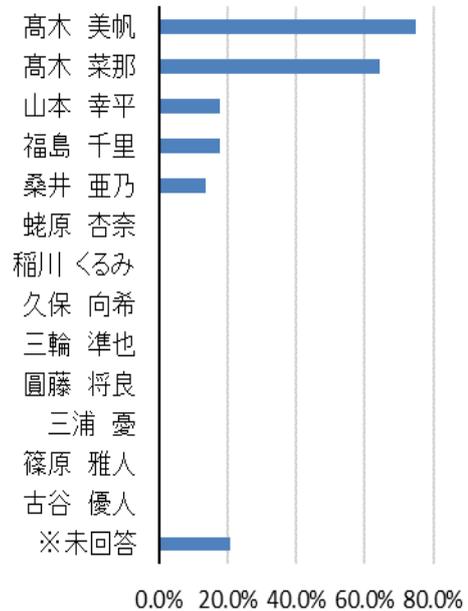
問16 何のためにスポーツをしている（やってみたい）と思いますか。（あてはまるもの2つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
楽しみや気晴らし	134	24.2%	4	0.9%
運動不足の解消	98	17.7%	134	29.6%
体力づくり	144	26.0%	96	21.2%
家族のふれあい	7	1.3%	107	23.7%
仲間づくり	74	13.4%	2	0.4%
全国大会などへの出場	72	13.0%	53	11.7%
※未回答	25	4.5%	56	12.4%
計	554	100.0%	452	100.0%



問 17 あなたが知っている、世界で活躍している幕別町出身のスポーツ選手（自由記述）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
高木 美帆	271	85.0%	194	74.9%
高木 菜那	280	87.8%	167	64.5%
福島 千里	113	35.4%	46	17.8%
山本 幸平	65	20.4%	46	17.8%
桑井 亜乃	62	19.4%	35	13.5%
蛭原 杏奈	-	-	1	0.4%
稲川 くるみ	-	-	1	0.4%
久保 向希	-	-	1	0.4%
三輪 準也	-	-	1	0.4%
圓藤 将良	-	-	1	0.4%
三浦 憂	-	-	1	0.4%
篠原 雅人	-	-	1	0.4%
古谷 優人	20	6.3%	0	0.0%
※未回答	19	6.0%	54	20.8%
計	791		549	



問 18 参加したいスポーツイベントや指導を受けたいスポーツ選手（自由記述）

【選手】
男子バレーの高橋藍選手(4人)、山本智大選手(2人)、石川祐希選手(5人)、小野寺選手
古賀紗理那選手(2人)、石川選手、関選手、井上選手、福留選手、山田選手、林選手
高木菜那選手(23人)、高木美帆選手(27人)、長島圭一郎選手、小平奈緒選手
村上右磨選手、郷亜里砂選手
大谷翔平選手(28人)、佐々木朗希選手(2人)、イチローさん(4人)、ダルビッシュ有選手(3人)
落合博満氏、中村紀洋氏、古谷優人選手、中田翔選手、栗山監督、村上宗隆選手(3人)
山本由伸選手、ヌートバー選手(3人)、清宮幸太郎選手、坂本勇人選手、岡本和真選手
柳田悠岐選手、古川裕大選手、野村祐希選手、松本剛選手、BIGBOSS、今川優馬選手
吉田正尚選手(2人)、杉谷拳士選手、伊藤大海選手、杉浦稔大選手、万波中正選手(2人)
飯田哲也さん、山口航輝さん
福島千里選手(5人)…早く走るコツや自分の今の走り方の良い所を教えてください
ウサインボルトさん(3人)、室伏広治さん、山縣亮太さん、多田修平さん
田中碧選手(2人)、伊東純也選手、三苫薫選手(3人)、堂安律選手、久保建英選手(3人)
槇野智章選手(2人)、大久保嘉人選手(2人)、小野伸二選手、前田大然選手
川島永嗣さん、三浦憂選手、浅野拓磨選手、上田綺世選手、松木玖生選手
遠藤航選手、南野拓実選手(2人)、小野伸二選手
クリスティアーノロナウド選手(3人)、ハーランド選手(2人)、フィルフォード選手、ジェイドンサンチョ選手
ベドリ選手、ネイマール選手(4人)、エーリング選手、リオネルメッシ選手(5人)、クリロナ選手(2人)
エムバペ選手(2人)、ムバッペ選手(2人)、ファンダイク選手、大迫勇也選手、長友佑都選手(2人)
ブッフオン選手、ペリンガム選手
熊谷紗希さん、清水梨紗さん、長谷川唯さん、岩渕真奈さん
河村勇輝選手(6人)、八村塁選手(3人)、富樫勇樹選手(4人)、ジョシュ・ホーキンソン選手
リーチマイケルさん(3人)、門馬圭次郎選手、ステフィン・カリー選手、渡辺雄太選手
林咲希さん、馬瓜エブリンさん
池江璃花子さん
上野由岐子さん(2人)
ペーターサガンさん
大坂なおみ選手(3人)、松岡修造さん(2人)、錦織圭さん、西岡良伝さん

バドミントンの選手、テニス選手、新体操選手、トランポリン選手、バレーボール選手(4人)
スカイアースの選手、サッカー選手、野球選手(2人)、スケート選手、バスケットボール選手(2人)
ドッジボール選手、陸上選手(2人)、レバンガ北海道の選手
水谷隼さん(2人)、有名な卓球選手、早田ひな選手、丹羽孝希さん
奥原希望選手、東野有紗選手(2人)、百田賢斗選手、山口茜選手、渡辺勇大選手
羽生結弦選手(2人)、浅田真央さん
陸上で高跳びをやっているから高跳びに詳しい選手
アイスホッケー斉藤毅さん
男の人でスポーツの良さを教えてくれる選手
堀米雄斗選手…スケボーを教えてください
ドッジボール日本代表の中村選手
野球…女子野球選手、ソフトボール…オリンピックに出た選手
スカイアース、エスポラーダ
北海道コンサドーレ札幌の選手、北海道日本ハムファイターズの選手(2人)
私はスケートが苦手なので高木菜那選手、高木美帆選手に札幌南小学校の授業で教えてほしいです。中学校はスケートの授業がないのもっと練習してみんなと楽しく滑ったり競走したいです。
格闘家…朝倉未来さん
DIVISIONのかず猫選手、alfled選手、どりす選手、REJECTの赤の魔術師選手、仏像ピーター選手
植竹勇太選手、渋谷日向子選手
高梨沙羅さん
NTT日本広島ソフトテニス部、クロスティ・ホールディングスソフトテニス部…ソフトテニスの楽しさを知ってほしい
大迫傑さん

<b>【競技】</b>
サッカー(5人)、バレーボール(4人)、バスケットボール(6人)、スピードスケート(7人)、卓球(2人)
陸上(3人)、テニス(2人)、ソフトテニス(3人)、アーチェリー、トランポリン(2人)
野球(8人)、バトン、モルック(2人)、エスポーツ、スケートボード、水泳(3人)
フィギュアスケート(2人)、マラソン、ラグビー、ダンス、ソフトボール

<b>【イベント】</b>
スピードスケーターによるトークイベント、野球教室
スポーツも良いけどダンスやミュージカル俳優にも来てほしいです
陸上選手に走り方を教えてほしい

問 19 あなたがボランティア活動をするとしたら、どのようなことをしてみたいですか。  
(自由記述)

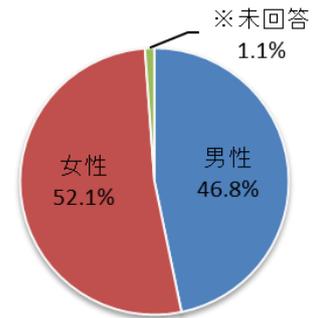
ゴミ拾い(93人)、山のゴミ拾い、川の掃除、草抜き(6人)、公園のトイレ掃除
資源回収、花を植える(3人)、除雪(2人)、清掃活動(3人)、落ち葉ひろい、SDGs
自然に関するボランティア活動、SDGsのボランティア活動(2人)、自然を守る活動、
札幌オリンピックのボランティア
小さい子どものお手伝い、子供と触れ合う(4人)、お祭りのボランティア、中学生と交流
小さい子と一緒に遊ぶこと(2人)
災害のあったところでの活動(2人)、災害復興活動、
貧しい国の子供達への募金(2人)、貧しい国を助けたい、募金活動
農家さんの手伝い、食堂の手伝い、炊き出し、子供食堂、畑仕事の手伝い、収穫
フリーマーケット
本の整理、図書館でのボランティア、図書館で働く
動物を助ける、保護猫、動物保護活動(3人)、保護犬に対するボランティア、セラピードッグ
猫の里親ボランティア、動物が生活しやすくなるような何か、犬の世話
勉強を教える(2人)、学習ボランティア(中学生まで)

献血
交通指導員さんをやってみたい
お年寄りのお世話・交流(3人) 老人ホームなどでのふれあい(2人)、体が不自由な人の家の手伝い
介護施設のお手伝い(2人)、老人ホームで高齢の方との交流
高齢者や障害者を対象とした活動、福祉施設のお手伝いなどをしてみたいです
お年寄りの荷物などを運びたい
町内イベントスタッフ、町でできるお手伝い、町おこしの活動のお手伝い
町に役に立つこと、町を綺麗にする活動をしてみたい(2人)
地域の人たちとのふれあい
国際協力、交流
酪農家さんのお手伝い(牛のお世話など)
英語とか話せたら幕別町に来る外国人を案内してみたい、英語を使った活動
幕別町をめぐる人力車(僕がひきます)
幕別のコミプラにランニングマシンや自転車を置きみんなで気軽に発電
家の手伝い、家でできること
花植え(札内をもっと明るくしたい)、地域の人々と清掃活動だけでなく色々な方法で関わったら良いなと思います
そのスポーツを学んでそのスポーツをやっている選手をみんなで応援したい
高齢者にも子供にも役に立てる活動を行いたい。実際に触れ合える、肌で感じる体験を行いたい
点字に直す
信号案内

【18歳以上】

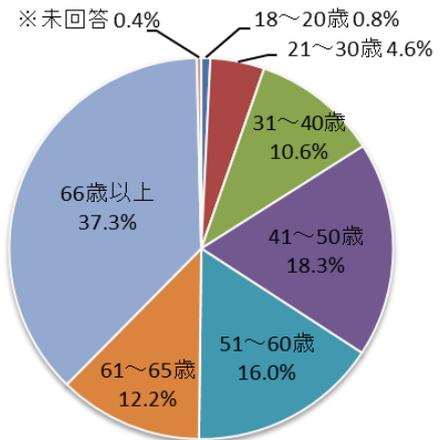
問1 あなたの性別についてお答えください。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
男性	118	38.6%	123	46.8%
女性	185	60.5%	137	52.1%
※未回答	3	1.0%	3	1.1%
計	306	100.0%	263	100.0%



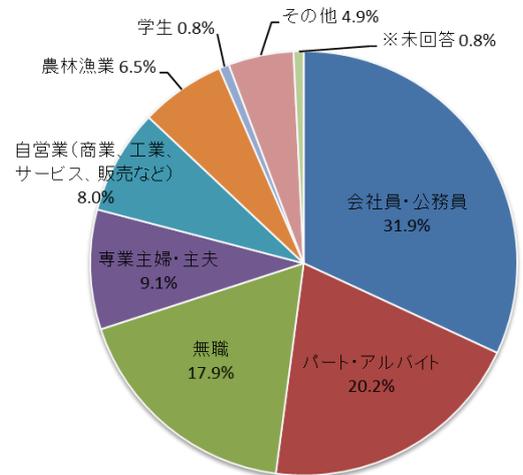
問2 あなたの年齢についてお答えください。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
18～20歳	1	0.3%	2	0.8%
21～30歳	20	6.5%	12	4.6%
31～40歳	38	12.4%	28	10.6%
41～50歳	69	22.5%	48	18.3%
51～60歳	57	18.6%	42	16.0%
61～65歳	40	13.1%	32	12.2%
66歳以上	79	25.8%	98	37.3%
※未回答	2	0.7%	1	0.4%
計	306	100.0%	263	100.0%



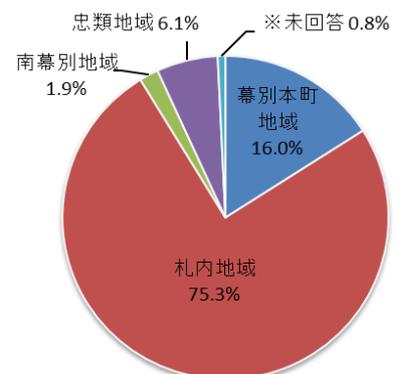
問3 あなたの主な職業についてお答えください。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
会社員・公務員	89	29.1%	84	31.9%
パート・アルバイト	55	18.0%	53	20.2%
無職	45	14.7%	47	17.9%
専業主婦・主夫	60	19.6%	24	9.1%
自営業(商業、工業、サービス、販売など)	20	6.5%	21	8.0%
農林漁業	22	7.2%	17	6.5%
学生	3	1.0%	2	0.8%
その他	11	3.6%	13	4.9%
※未回答	1	0.3%	2	0.8%
計	306	100.0%	263	100.0%



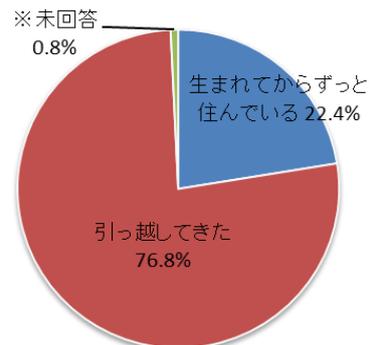
問4 あなたのお住まいの地域はどこですか。(あてはまるもの1つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
幕別本町地域	52	17.0%	42	16.0%
札内地域	231	75.5%	198	75.3%
南幕別地域	5	1.6%	5	1.9%
忠類地域	14	4.6%	16	6.1%
※未回答	4	1.3%	2	0.8%
計	306	100.0%	263	100.0%



問5 あなたの在住年数は何年ですか。

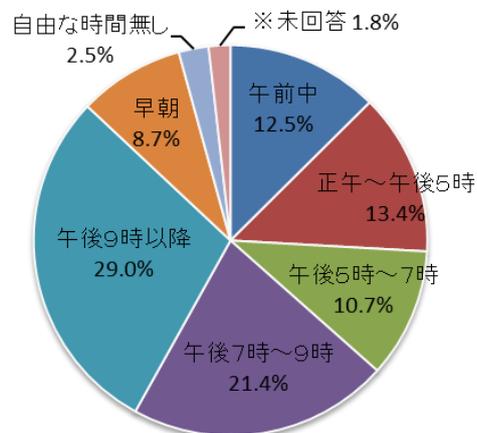
区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
生まれてからずっと住んでいる	56	18.3%	59	22.4%
	※平均居住年数	37.3年	※平均居住年数	49.3年
引っ越してきた	246	80.4%	202	76.8%
	※平均居住年数	21.6年	※平均居住年数	23.1年
※未回答	4	1.3%	2	0.8%
計	306	100.0%	263	100.0%



問6 あなたが自由に使える時間は次のどれですか。  
(あてはまるものすべてに○)

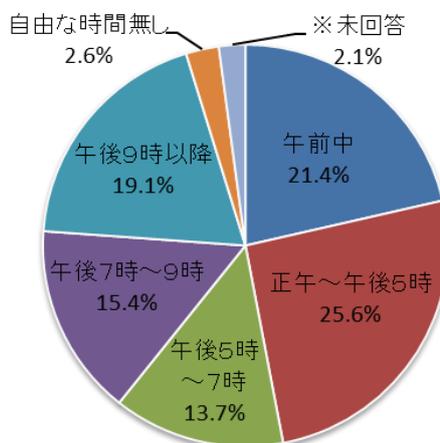
【平日（月～金）】

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
午前中	67	15.2%	56	12.5%
正午～午後5時	68	15.4%	60	13.4%
午後5時～7時	34	7.7%	48	10.7%
午後7時～9時	89	20.1%	96	21.4%
午後9時以降	110	24.9%	130	29.0%
早朝	36	8.1%	39	8.7%
自由な時間無し	29	6.6%	11	2.5%
※未回答	9	2.0%	8	1.8%
計	442	100.0%	448	100.0%



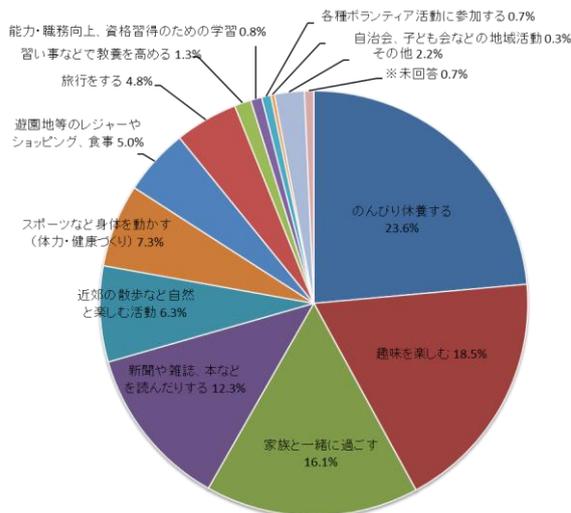
【休日】

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
午前中	113	21.4%	122	21.4%
正午～午後5時	137	26.0%	146	25.6%
午後5時～7時	60	11.4%	78	13.7%
午後7時～9時	78	14.8%	88	15.4%
午後9時以降	91	17.3%	109	19.1%
自由な時間無し	36	6.8%	15	2.6%
※未回答	12	2.3%	12	2.1%
計	527	100.0%	570	100.0%



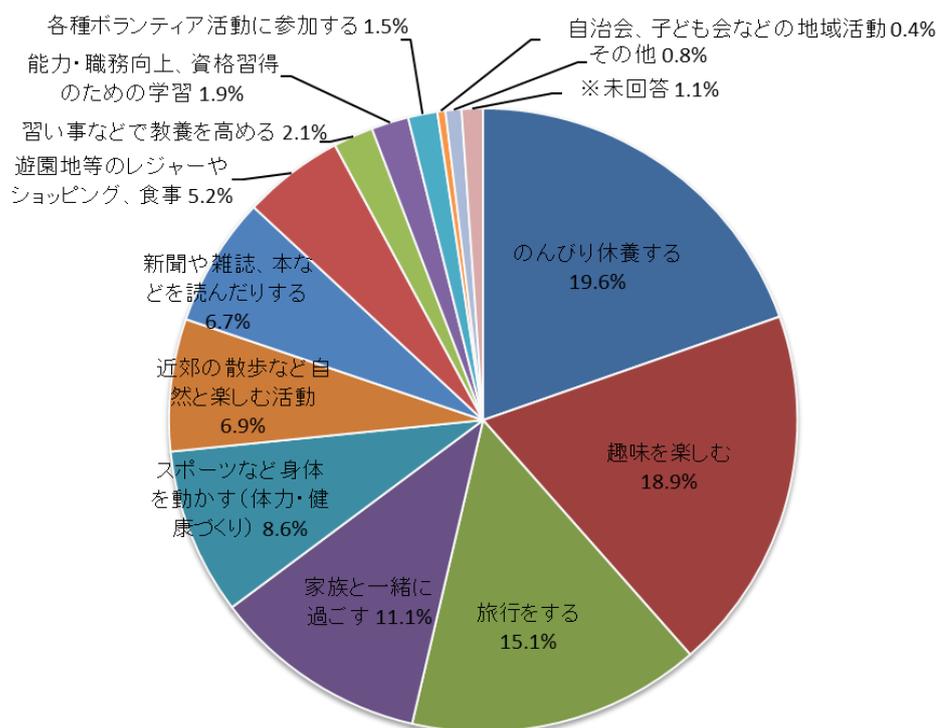
問7 あなたは自由な時間をどのように過ごしていますか（あてはまるもの3つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
のんびり休養する	194	23.4%	168	23.6%
趣味を楽しむ	157	19.0%	132	18.5%
家族と一緒に過ごす	139	16.8%	115	16.1%
新聞や雑誌、本などを读んだりする	113	13.6%	88	12.3%
スポーツなど身体を動かす(体力・健康づくり)	44	5.3%	52	7.3%
近郊の散歩など自然と楽しむ活動	36	4.3%	45	6.3%
遊園地等のレジャーやショッピング、食事	64	7.7%	36	5.0%
旅行をする	24	2.9%	34	4.8%
習い事などで教養を高める	13	1.6%	9	1.3%
能力・職務向上、資格習得のための学習	11	1.3%	6	0.8%
各種ボランティア活動に参加する	6	0.7%	5	0.7%
自治会、子ども会などの地域活動	2	0.2%	2	0.3%
その他	17	2.1%	16	2.2%
※未回答	8	1.0%	5	0.7%
計	828	100.0%	713	100.0%
※その他の内容	仕事に使う買い物、仕事の視察 パークゴルフ 畑で野菜作り、庭の草取り、整理 畑 全てが自由時間なので自由 ペットの世話、掃除 ゴミ捨て、洗濯 お父さんはアルツハイマーで私は腰とか膝が痛くてもう運動はできません。 スマホで興味のある動画を見る 家族以外の人と会話する その都度違うので自由かどうかわかりません、家事含む ビデオ鑑賞 片付け色々、折り、作業のための準備等 スマホ等での調べることが大好き インターネットをする			



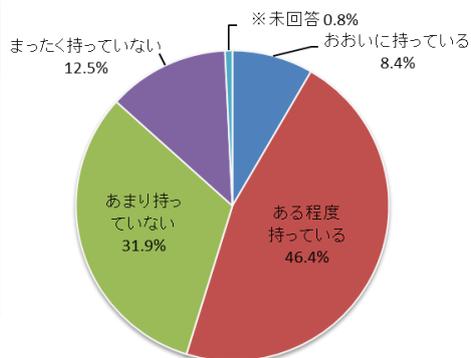
問8 あなたは、自由な時間をどのように過ごしたいと思いますか。  
(あてはまるもの3つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
のんびり休養する	162	19.2%	143	19.6%
趣味を楽しむ	154	18.2%	138	18.9%
旅行をする	125	14.8%	110	15.1%
家族と一緒に過ごす	102	12.1%	81	11.1%
スポーツなど身体を動かす(体力・健康づくり)	74	8.8%	63	8.6%
近郊の散歩など自然と楽しむ活動	42	5.0%	50	6.9%
新聞や雑誌、本などを读んだりする	52	6.2%	49	6.7%
遊園地等のレジャーやショッピング、食事	59	7.0%	38	5.2%
習い事などで教養を高める	32	3.8%	15	2.1%
能力・職務向上、資格習得のための学習	12	1.4%	14	1.9%
各種ボランティア活動に参加する	15	1.8%	11	1.5%
※未回答	8	0.9%	8	1.1%
その他	5	0.6%	6	0.8%
自治会、子ども会などの地域活動	3	0.4%	3	0.4%
計	845	100.0%	729	100.0%
※その他の内容	郷土史について習得			
	家族以外の人と会話する			
	好きなことをする			
	家事含む、断捨離しがたい			
	黙想、必要作業の準備等			
	この年で知る事が楽しい			



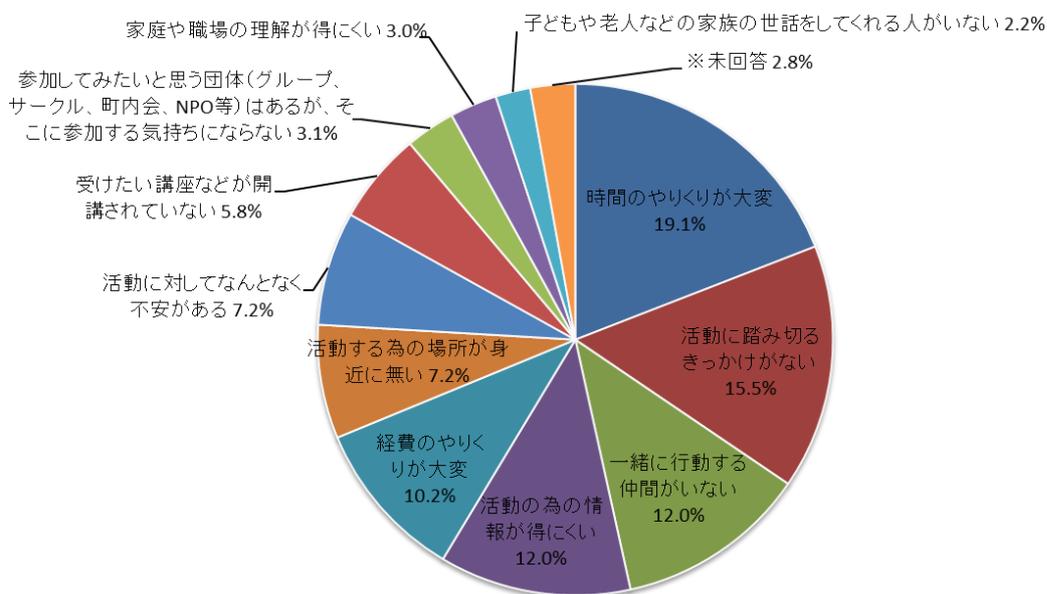
問9 生涯学習は、学校の学習活動だけではなく、文化やスポーツ活動、趣味やレクリエーション、ボランティア活動なども含めた幅広いものですが、あなたはこうした生涯学習活動に関心をお持ちですか。（あてはまるもの1つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに持っている	29	9.5%	22	8.4%
ある程度持っている	144	47.1%	122	46.4%
あまり持っていない	103	33.7%	84	31.9%
まったく持っていない	29	9.5%	33	12.5%
※未回答	1	0.3%	2	0.8%
計	306	100.0%	263	100.0%



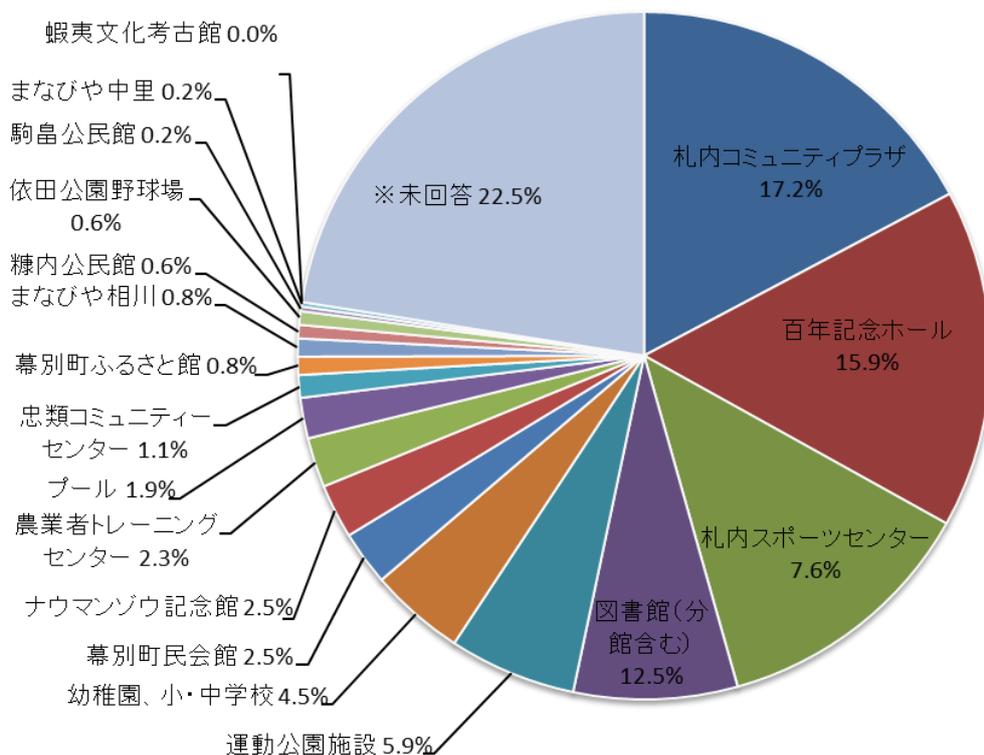
問10 あなたが、学習活動しようとするときに、どのようなことが障害になりますか。（あてはまるもの3つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
家庭や職場の理解が得にくい	32	4.1%	19	3.0%
経費のやりくりが大変	92	11.9%	65	10.2%
一緒に行動する仲間がいない	75	9.7%	77	12.0%
時間のやりくりが大変	170	21.9%	122	19.1%
活動の為の情報が得にくい	81	10.5%	77	12.0%
活動する為の場所が身近に無い	40	5.2%	46	7.2%
活動に踏み切るきっかけがない	96	12.4%	99	15.5%
活動に対してなんとなく不安がある	63	8.1%	46	7.2%
子どもや老人などの家族の世話をしてくれる人がいない	38	4.9%	14	2.2%
受けたい講座などが開講されていない	39	5.0%	37	5.8%
参加してみたいと思う団体(グループ、サークル、町内会、NPO等)はあるが、そこに参加する気持ちにならない	42	5.4%	20	3.1%
※未回答	7	0.9%	18	2.8%
計	775	100.0%	640	100.0%



問 11 あなたは最近1年で、町内の次の施設を利用したことがありますか。  
 (あてはまるもの全てに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
札内コミュニティプラザ	96	14.9%	81	17.2%
百年記念ホール	125	19.4%	75	15.9%
図書館(分館含む)	89	13.8%	59	12.5%
札内スポーツセンター	46	7.1%	36	7.6%
運動公園施設	41	6.4%	28	5.9%
幼稚園、小・中学校	47	7.3%	21	4.5%
幕別町民会館	23	3.6%	12	2.5%
ナウマンゾウ記念館	24	3.7%	12	2.5%
農業者トレーニングセンター	17	2.6%	11	2.3%
プール	12	1.9%	9	1.9%
忠類コミュニティーセンター	11	1.7%	5	1.1%
幕別町ふるさと館	8	1.2%	4	0.8%
まなびや相川	3	0.5%	4	0.8%
糠内公民館	6	0.9%	3	0.6%
依田公園野球場	8	1.2%	3	0.6%
駒島公民館	2	0.3%	1	0.2%
まなびや中里	0	0.0%	1	0.2%
蝦夷文化考古館	2	0.3%	0	0.0%
※未回答	85	13.2%	106	22.5%
計	645	100.0%	471	100.0%

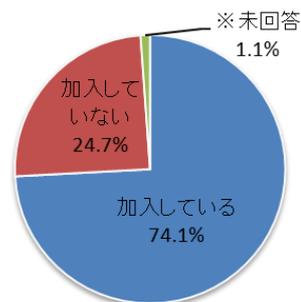


問 12 あなたは公区（町内会）に加入していますか。

（あてはまるもの1つに○）

また、どのような活動をしていますか。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
加入している	253	82.7%	195	74.1%
加入していない	49	16.0%	65	24.7%
※未回答	4	1.3%	3	1.1%
計	306	100.0%	263	100.0%

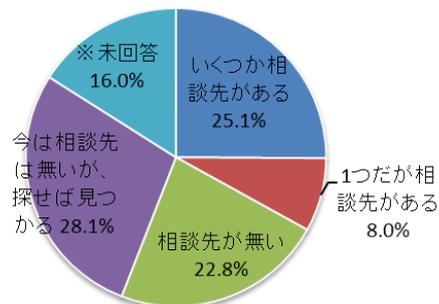


区分	活動内容
	ゴミ拾い(4人)、清掃(3人)、町内会清掃(2人)
	トイレ掃除、公園の掃除(2人)、環境整備等
	草刈り(3人)、公園の草刈り(3人)
	前期高齢までは公園清掃に参加していたが今は膝、腰痛くて無理。班長の順がくればその活動はします
	町内会班長(7人)、町内会の行事(3人)
	町内会役員、町内会三役、集会、会議(2人)
	月2回スポーツ(ディスコン)に参加している
	親睦会に参加する、親が会合に参加
	各種行事(2人)、イベント、運動会、お祭り、ミニレク、花見
	班で回覧とか回してるくらいです。班長が後が回ってくるので。
	広報配布(2人)
	卓球、パークゴルフ(2人)
	婦人部長、厚生副部長など
	募金、資源ごみ回収、区費集め、子供会の廃品回収
	1年くらい前までふれあいサロンのボランティアをしていました
	老人会、サークル参加
	子供会、BBQ
	公区活動支援、祈り

問 13 あなたは、身近なところで育児相談が出来る環境があると感じますか。

現在育児期間中でない方もお答えください。（あてはまるもの1つに○）

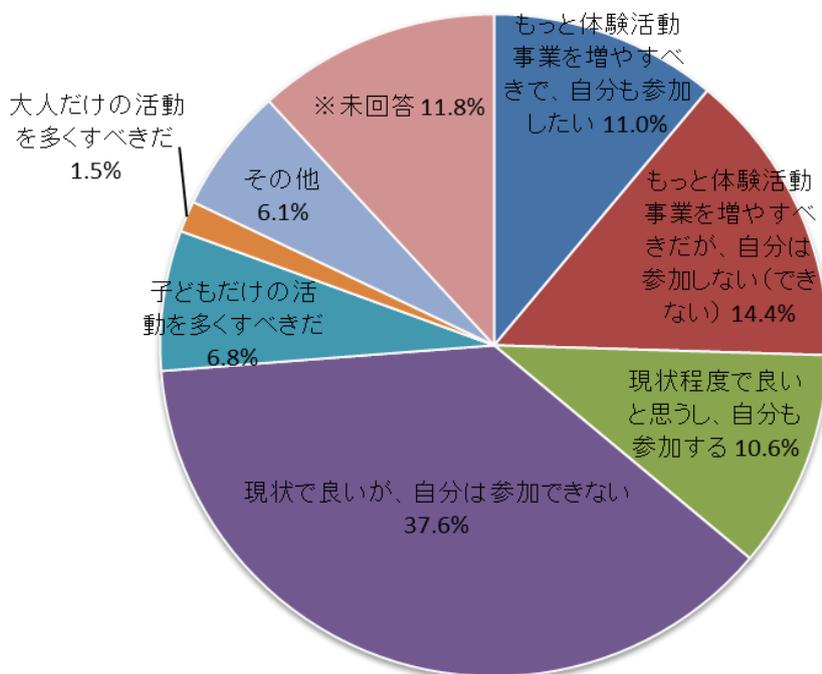
区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
いくつか相談先がある	109	35.6%	66	25.1%
1つだが相談先がある	22	7.2%	21	8.0%
相談先が無い	66	21.6%	60	22.8%
今は相談先は無いが、探せば見つかる	75	24.5%	74	28.1%
※未回答	34	11.1%	42	16.0%
計	306	100.0%	263	100.0%



問 14 あなたは、親子（祖父、祖母も含む）を対象とした体験活動事業についてどのよう  
 にお考えですか。また、あれば参加したいと思いますか。  
 （あてはまるもの1つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
もっと体験活動事業を増やすべきで、自分も参加したい	40	13.1%	29	11.0%
もっと体験活動事業を増やすべきだが、自分は参加しない(できない)	41	13.4%	38	14.4%
現状程度で良いと思うし、自分も参加する	45	14.7%	28	10.6%
現状で良いが、自分は参加できない	125	40.8%	99	37.6%
子どもだけの活動を多くすべきだ	12	3.9%	18	6.8%
大人だけの活動を多くすべきだ	5	1.6%	4	1.5%
その他	8	2.6%	16	6.1%
※未回答	30	9.8%	31	11.8%
計	306	100.0%	263	100.0%

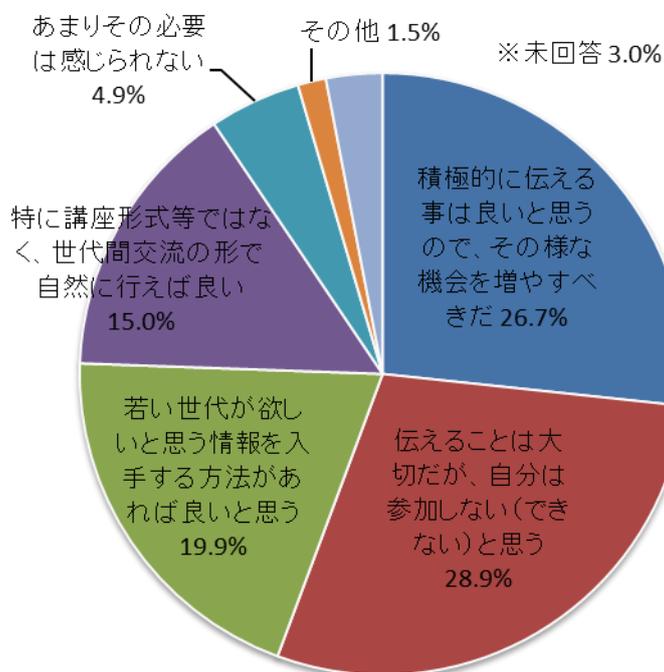
※その他の内容	祖父、祖母が逝去し人もいない
	どのような事業があるのかよくわからないので解答できない(2人)
	今の活動事業内容がわからない(5人)
	子供が近くにいないので考えたことない
	子供、老人、すべての人が体験できる優しい活動であってほしい
	時間がありません
	現状どの程度行われているかわかっていない。自分の子はもう大きいので大人だけで参加したいと思える事業があれば参加したいと思う。
どの程度開催しているかわからないができるだけ参加したい	



問 15 あなたは、世代を超えて蓄積した技術や知識を次の世代に伝えることを、どのよう  
にお考えですか。（あてはまるもの1つに○）

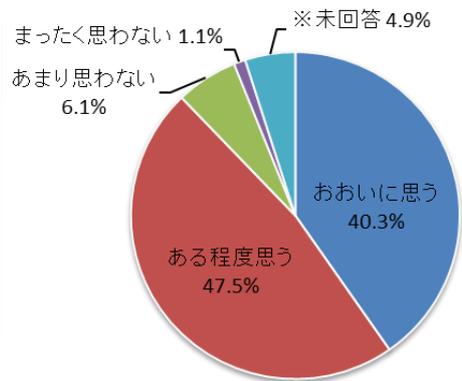
区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
積極的に伝える事は良いと思うので、その様な機会を増やすべきだ	101	33.0%	71	26.7%
伝えることは大切だが、自分は参加しない(できない)と思う	68	22.2%	77	28.9%
若い世代が欲しいと思う情報を入手する方法があれば良いと思う	64	20.9%	53	19.9%
特に講座形式等ではなく、世代間交流の形で自然に行えば良い	51	16.7%	40	15.0%
あまりその必要は感じられない	13	4.2%	13	4.9%
その他	3	1.0%	4	1.5%
※未回答	6	2.0%	8	3.0%
計	306	100.0%	266	100.0%

※その他の内容	今は大変だが、家はあたたかい、電気はある、たべものはある、物に恵まれているのを伝える、昔は生きるのも必死
	積極的に伝えることは良いと思うが学びたいと思っている子供が少ない(大人も機会を増やしても伝えられない)
	親戚、家族内で都度伝える
	考えたことない



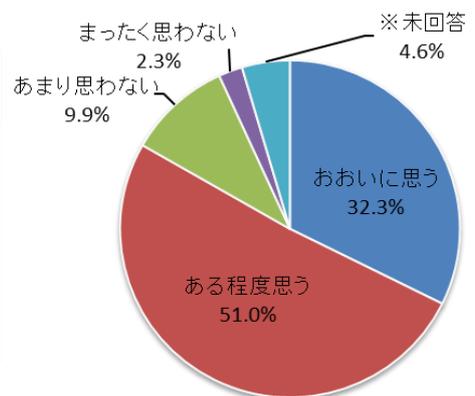
問 16 幼児期は人間形成の基礎を培う大切な時期です。子育てに苦勞されている保護者を支援する「幕別子育て支援システム」があれば良いと思いますか。  
 (あてはまるもの1つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに思う	146	47.7%	106	40.3%
ある程度思う	132	43.1%	125	47.5%
あまり思わない	18	5.9%	16	6.1%
まったく思わない	4	1.3%	3	1.1%
※未回答	6	2.0%	13	4.9%
計	306	100.0%	263	100.0%



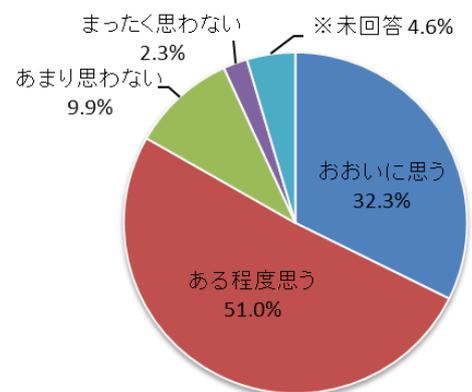
問 17 教育活動の連続性に配慮した、幼・保・小・中・高の連携の取組は必要だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに思う	110	35.9%	85	32.3%
ある程度思う	153	50.0%	134	51.0%
あまり思わない	31	10.1%	26	9.9%
まったく思わない	5	1.6%	6	2.3%
※未回答	7	2.3%	12	4.6%
計	306	100.0%	263	100.0%



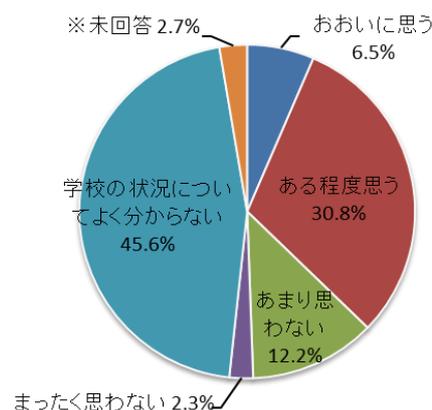
問 18 あなたの近くの小・中学校では、地域や児童生徒の実態に応じて、特色ある教育活動を進めていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに思う	110	35.9%	85	32.3%
ある程度思う	153	50.0%	134	51.0%
あまり思わない	31	10.1%	26	9.9%
まったく思わない	5	1.6%	6	2.3%
※未回答	7	2.3%	12	4.6%
計	306	100.0%	263	100.0%



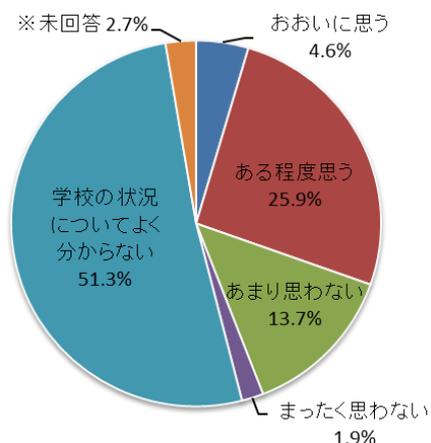
問 18 あなたの近くの小・中学校では、地域や児童生徒の実態に応じて、特色ある教育活動を進めていると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに思う	15	4.9%	17	6.5%
ある程度思う	99	32.4%	81	30.8%
あまり思わない	62	20.3%	32	12.2%
まったく思わない	8	2.6%	6	2.3%
学校の状況についてよく分からない	117	38.2%	120	45.6%
※未回答	5	1.6%	7	2.7%
計	306	100.0%	263	100.0%



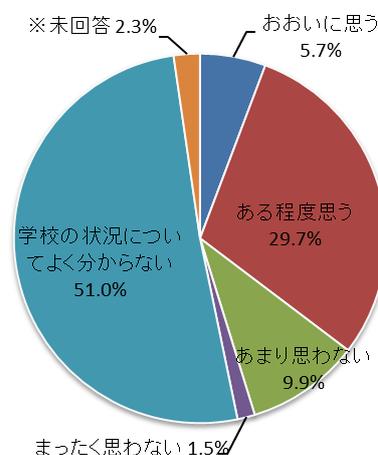
問 19 あなたの近くの小・中学校では、豊かな感性を育む「心の教育」が十分に進められていると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに思う	11	3.6%	12	4.6%
ある程度思う	90	29.4%	68	25.9%
あまり思わない	68	22.2%	36	13.7%
まったく思わない	7	2.3%	5	1.9%
学校の状況についてよく分からない	126	41.2%	135	51.3%
※未回答	4	1.3%	7	2.7%
計	306	100.0%	263	100.0%



問 20 心身に障がいを持つ子どもの教育について、適切な「特別支援教育」が進められていると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

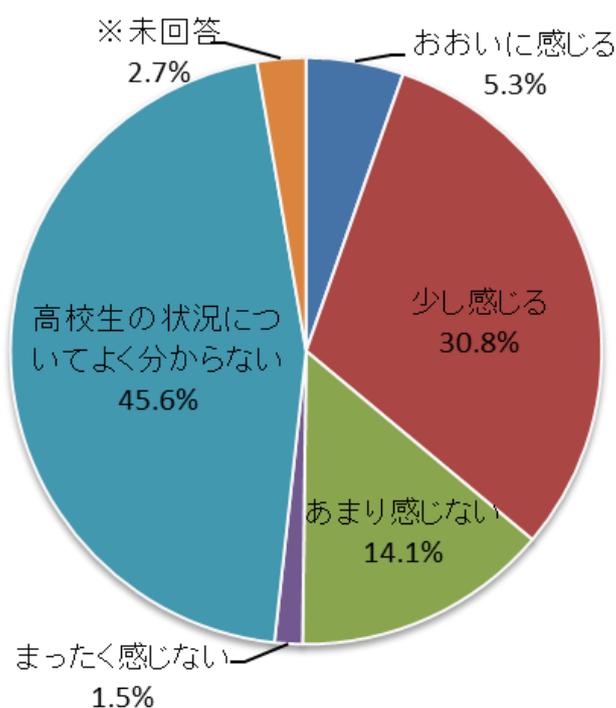
区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに思う	19	6.2%	15	5.7%
ある程度思う	104	34.0%	78	29.7%
あまり思わない	47	15.4%	26	9.9%
まったく思わない	7	2.3%	4	1.5%
学校の状況についてよく分からない	126	41.2%	134	51.0%
※未回答	3	1.0%	6	2.3%
計	306	100.0%	263	100.0%



問 21 高等学校の生徒に規範意識の低下や、コミュニケーション能力の欠如を感じる  
 ことがありますか。（あてはまるもの1つに○、おおいに感じる場合は（ ）内に  
 具体的にお書きください。）

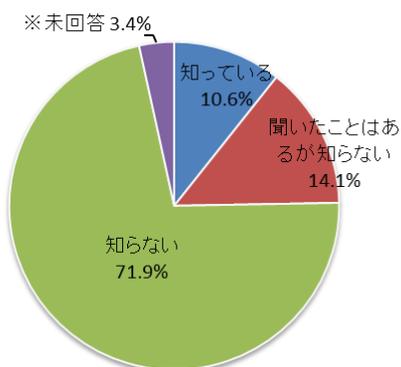
区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに感じる	17	5.6%	14	5.3%
少し感じる	87	28.4%	81	30.8%
あまり感じない	57	18.6%	37	14.1%
まったく感じない	6	2.0%	4	1.5%
高校生の状況についてよく 分からない	134	43.8%	120	45.6%
※未回答	5	1.6%	7	2.7%
計	306	100.0%	263	100.0%

※おおいに感じるの内容	通学路のゴミの投棄
	便利すぎる世の中
	心的成長が出来ないで成人になる子が増えている
	そもそも自分世代的に考えてコミュニケーションが能力自体が根本足り ていないと思う
	挨拶ができていない
	インターシップ、職場体験等人とのコミュニケーションを図る場所をもっと 作った方が良い
	コミュニケーションのせいで学校に行きたがらない
	義務を忘れた個人の権利の過度の主張
	いつの時代もそう感じるのは当たり前だと思います



問 22 あなたは、CS（コミュニティスクール）制度を知っていますか  
（あてはまるもの1つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
知っている	16	5.2%	28	10.6%
聞いたことはあるが知らない	66	21.6%	37	14.1%
知らない	219	71.6%	189	71.9%
※未回答	5	1.6%	9	3.4%
計	306	100.0%	263	100.0%

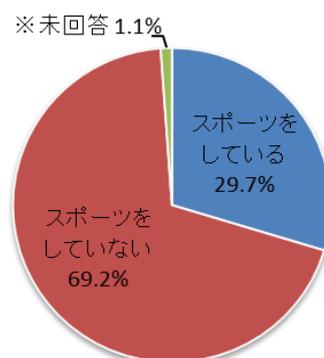


問 23 あなたが普段、学校や家庭で困っていることはありますか（自由記述）。

お金のことを教えてほしい。小学生でも自分に必要（ノートとか）なものは自分で買いに行くようにする
隣接自治体（十勝）での催事、行事、まつりなどについてまくべつ広報に掲載してほしい
1人暮らしのため自然災害発生時の対処や健康面での不安がある
親の介護
未婚、子無しなので特にはない
自分の身体が痛くて何かしようとしてもいう事聞かない体になってしまっていて今までしていたことが出来なくなってきて（掃除とか片付けもの）情けないと思ってるところです。男3人のご飯作りもこの頃は大変と思うようになってきました。お父さんがアルツハイマーになってから調子がくるってきてると思ってるところです。とにかく自分のことでいっぱい입니다。
ワンオペ育児家事。余裕がない。
子供たちが放課後の遊び場所で公園はたくさんあるが、草がのび遊具も高学年の子が遊ぶには物足りない。ボール遊びや自転車の練習ができるアスファルトの広いスペースがあれば助かります。（運動公園のようなもの）
常識やマナーを知らずに社会に出ざるを得ない人がいる。学校で教えてほしい。
所得制限のない教育無償化、ワンコイン医療助成（1回500円、月限度1,000円）
親が高齢になりこれからの生活が不安です。（今は両親ともそろっているがどちらかかけた時が困る）
母が数年前に亡くなってから一人で父と弟の世話をしなければいけないので家事に追われていて休む時間もゲームする時間もなくつらい。仕事の休みも多くないので疲労が取れない。電気も燃料も食品等の物価も値上がりする一方なので生活費のやりくりが大変
自分の時間がないと感じることが多い。育児で行き詰まったとき、子供にあたってしまうこともある。
高齢のため遠くなった耳の持ち主との会話です
耳が突発性難聴になったため人とのコミュニケーションが取れない。耳のそばでの会話以外聞こえない
息子が少年活動に参加しているが指導者がいない。働き方改革をすすめていくのは大切だと思うが、地域の子ども達がスポーツを頑張ろうとしている気持ちは大切にしてほしい。スポーツにおける指導者問題は今後も続いてしまうのではということ。
少年団や部活の不自由さ
街にしっかり支援してもらっています（保育所と発達支援センター）

問 24 あなたは、現在何かスポーツをしていますか。

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
スポーツをしている	84	26.9%	78	29.7%
スポーツをしていない	222	71.2%	182	69.2%
※未回答	6	1.9%	3	1.1%
計	312	100.0%	263	100.0%

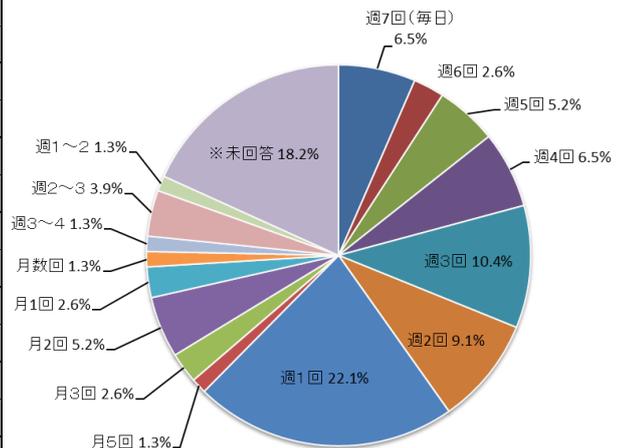


「スポーツをしている」と回答した方が行っているスポーツ（2つまで回答）

スポーツの種類	人数	割合(%)	スポーツの種類	人数	割合(%)
ウォーキング	13	13.3%	ジム	1	1.0%
ゴルフ	11	11.2%	トレッキング	1	1.0%
パークゴルフ	12	12.2%	ホットヨガ	1	1.0%
ジョギング	6	6.1%	テレビ体操	1	1.0%
ストレッチ	3	3.1%	健康体操	1	1.0%
筋トレ	3	3.1%	水泳	1	1.0%
散歩	3	3.1%	競泳	1	1.0%
卓球	2	2.0%	軽スポーツ	1	1.0%
テニス	2	2.0%	バドミントン	1	1.0%
ヨガ	2	2.0%	ピラティス	1	1.0%
ミニバレー	3	3.1%	登山	1	1.0%
ランニング	3	3.1%	体操	1	1.0%
スキー	3	3.1%	呼吸体操	1	1.0%
野球	2	2.0%	ダンス	1	1.0%
ラジオ体操	1	1.0%	フィッシング	1	1.0%
フレイル予防教室	1	1.0%	体カトレーニング	1	1.0%
自転車	1	1.0%	ブラジリアン柔術	1	1.0%
ディスコン	1	1.0%	ウエイトトレーニング	1	1.0%
硬式テニス	1	1.0%	ボウリング	1	1.0%
バスケ	1	1.0%	古式泳法	1	1.0%
水中ウォーキング	1	1.0%	※未回答	4	4.1%
計			99		

「スポーツをしている」と回答した方がスポーツをしている頻度

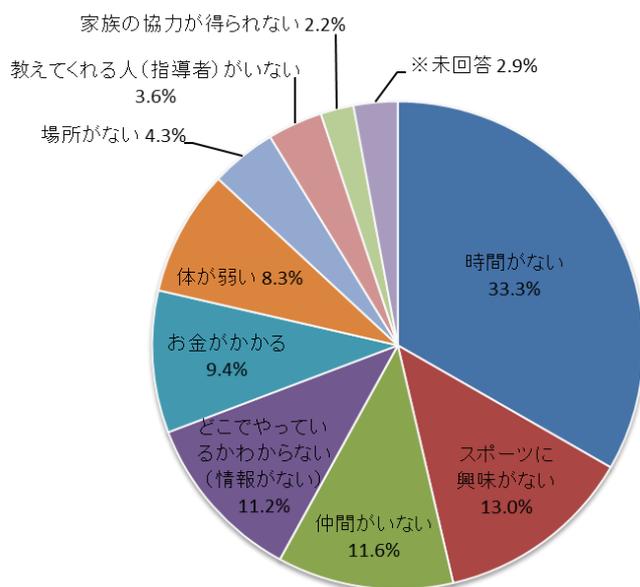
スポーツをしている頻度	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
週7回(毎日)	2	2.4%	5	6.5%
週6回	6	7.2%	2	2.6%
週5回	3	3.6%	4	5.2%
週4回	5	6.0%	5	6.5%
週3回	7	8.4%	8	10.4%
週2回	21	25.3%	7	9.1%
週1回	14	16.9%	17	22.1%
月5回	-	-	1	1.3%
月3回	-	-	2	2.6%
月2回	6	7.2%	4	5.2%
月1回	-	-	2	2.6%
月数回	-	-	1	1.3%
週3~4	-	-	1	1.3%
週2~3	0	0.0%	3	3.9%
週1~2	0	0.0%	1	1.3%
※未回答	19	22.9%	14	18.2%
計	83	100.0%	77	100.0%



問 25 問 24 で「スポーツをしていない」と答えた方の、スポーツをしていない理由とスポーツへの興味について

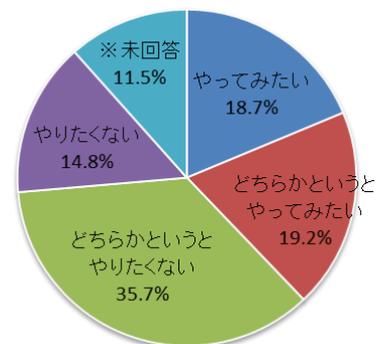
スポーツをしていない理由

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
時間がない	109	35.3%	92	33.3%
スポーツに興味がない	45	14.6%	36	13.0%
仲間がいない	38	12.3%	32	11.6%
どこでやっているかわからない(情報がない)	35	11.3%	31	11.2%
お金がかかる	18	5.8%	26	9.4%
体が弱い	22	7.1%	23	8.3%
場所がない	8	2.6%	12	4.3%
教えてくれる人(指導者)がいない	11	3.6%	10	3.6%
家族の協力が得られない	12	3.9%	6	2.2%
※未回答	11	3.6%	8	2.9%
計	309	100.0%	276	100.0%



スポーツへの興味・感心 (あてはまるもの1つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
やってみたい	41	18.5%	34	18.7%
どちらかというやってみたい	56	25.2%	35	19.2%
どちらかというやりたくない	77	34.7%	65	35.7%
やりたくない	31	14.0%	27	14.8%
※未回答	17	7.7%	21	11.5%
計	222	100.0%	182	100.0%

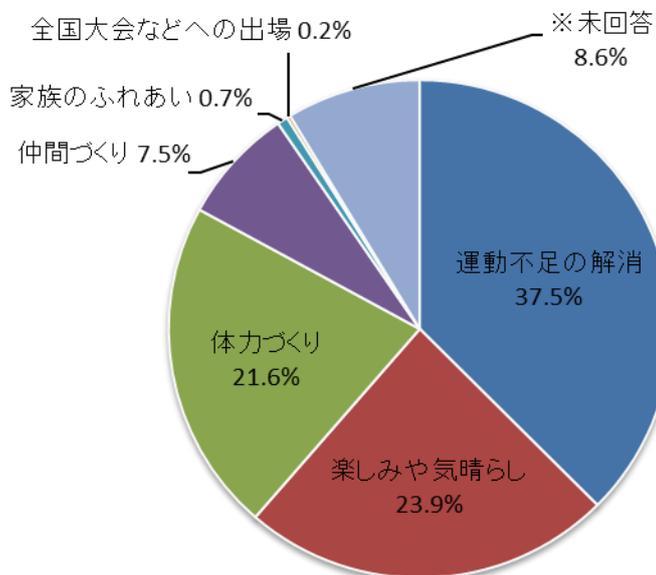


「やってみたい」「どちらかというをやってみたい」と回答した人がやりたいスポーツ

スポーツの種類	人数	割合(%)	スポーツの種類	人数	割合(%)
テニス	5	7.1%	体力づくり	1	1.4%
バドミントン	4	5.7%	筋トレ	1	1.4%
ヨガ	4	5.7%	陸上	1	1.4%
パークゴルフ	3	4.3%	インドアテニス	1	1.4%
ミニバレー	3	4.3%	ホットヨガ	1	1.4%
卓球	2	2.9%	水中ウォーキング	1	1.4%
バスケ	2	2.9%	エアリアルヨガ	1	1.4%
ウォーキング	2	2.9%	カバディ	1	1.4%
ダンス	2	2.9%	スノーボー	1	1.4%
乗馬	2	2.9%	バレーボール	1	1.4%
ゴルフ	2	2.9%	テニボン	1	1.4%
スキー	2	2.9%	マラソン	1	1.4%
水泳	2	2.9%	サイクリング	1	1.4%
太極拳	1	1.4%	転倒防止	1	1.4%
モルック	1	1.4%	未回答	18	25.7%
ピックルボール	1	1.4%			
計				70	100.0%

問 26 何のためにスポーツをしている（やってみたい）と思いますか。  
（あてはまるもの2つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
運動不足の解消	182	37.4%	165	37.5%
楽しみや気晴らし	109	22.4%	105	23.9%
体力づくり	95	19.5%	95	21.6%
仲間づくり	35	7.2%	33	7.5%
家族のふれあい	6	1.2%	3	0.7%
全国大会などへの出場	5	1.0%	1	0.2%
※未回答	55	11.3%	38	8.6%
計	432	88.7%	440	100.0%



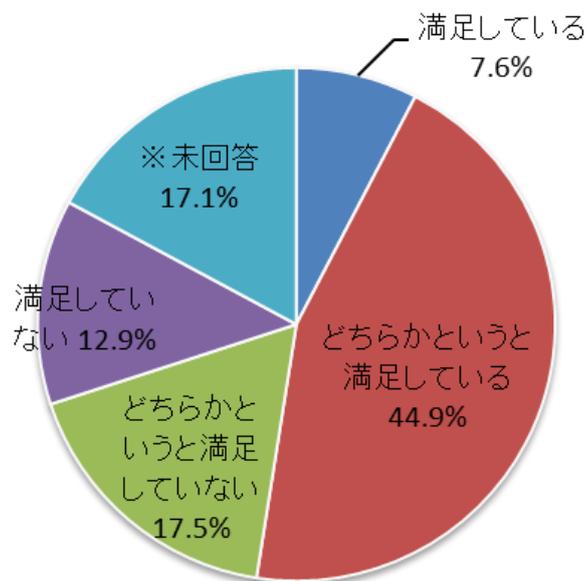
問 27 あなたは町内における運動やスポーツの環境に満足していますか。

(あてはまるもの1つに○)

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
満足している	41	13.4%	20	7.6%
どちらかという満足している	152	49.7%	118	44.9%
どちらかという満足していない	53	17.3%	46	17.5%
満足していない	26	8.5%	34	12.9%
※未回答	34	11.1%	45	17.1%
計	306	100.0%	263	100.0%

満足していない理由	施設がない(帯広市内の小学校のような施設)、情報がわからない、札内にプールはありますか、利用できますか
	施設が少ない(2人)
	スポーツの環境(情報)は読み、こんなのあるんだなあーと見るだけになり周りからも参加したことのあつ話も聞いたこともなく参加したいと思えない
	町内が主体となって運動等やっているかはわからない
	知らないため
	参加していないし、サラリーマンだから
	特に探していない
	プール施設の充実(幕別町は貧弱すぎる)
	スポセンがあるわりに参加したいスポーツが少ない
	観るということからすると満足していない
	情報が不足している(5人)
	ちょっとわからないというところが本音です。幕別だよりも今まではお父さんが見て伝わって来ていたけど自分で読まないとならなくて大変です。目も見えづらくなって大変です。幕別町が良くなるように願っています。
	社会人チームで毎週活動するようなものではなく、たまに気晴らしに気軽に行けるようなものがあればいい。
	施設、講座がないこと
	参加できる時間ではない(6人)
	実際は知る機会が欲しいため。身分上によって
	年代別の取組が希薄。スポーツ環境に世代差あり。町内人口の分布図(年齢)でも参考に検討していただきたい
	音更町のアクリナちゃっぽの様な施設希望
	何処にどんな施設があるかわからない
	使用料金が必要となった
参加したことがない、参加したいものがない	
コミセンとかに運動用自転車を置いてくれれば高齢者は喜ぶと思う。特に冬季とか。	
活動をする(できる)場所を増やしてほしい(冬場)	
広報紙に載っていない他のサークル活動も紹介してもらいたい	
白人校区のプールがなくなり北プールに行くが子供が自力で行くには難しい学年なのでどうにかしてほしい。白人の子たちはやはりプールを利用しにくいところがある。気軽に「行っておいで～」といえる環境にないのは、子供にとってはかわいそうな所がある。	
行きにくい感じがする(3人)	

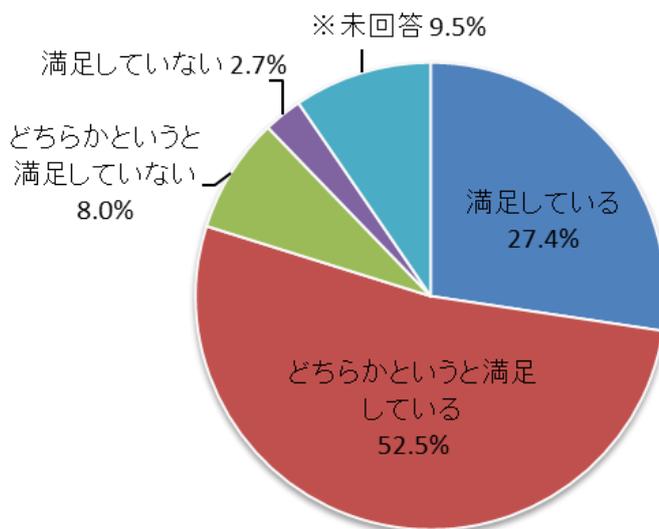
満足していない理由	個人で札幌スポーツセンターを利用したくてもなかなか利用できない。(予約の仕方わからない、職員の説明も曖昧です。空き状況もわからないのでネットで確認できると更に良いかなと思います)
	スポセンのランニングマシンの台数が少ない。今までは無料だから仕方ないと思っていたが有料で2台では…。一台はいつまでも修理されず2台とも使われていて諦める日も多い。
	他市町村の様な大人が使いやすいプールがない(現状事実上は学校プールしかない)
	維持、管理、運営を「行政」で行う必要はない(民営化)
	地域により偏りがある
	利用施設の器具がしっかり管理されていない
	運転しなければどこへも行けない
	環境整備。夏でもウォーキングしやすい、自然の中の様な環境が欲しい。夏、冬一年を通して利用できる(広い公園)プールがあると良い。他の市町村はあるのに幕別はないのが残念
	興味が無い
	トレセンが予約の団体でいっぱいのため個人で使うことが出来ません。もっと自由に子どもたちが使えるようにしてほしいです。あと、陸上競技場にライトを設置して夜(夕方)も使えるようにしてほしいです。是非！練習時間をもっと増やしてあげたいです。競技場の使用料の自販機を競技場に設置して欲しいです。とても使用しづらいです。
パークゴルフ場のみお金がかかっていると感じる。札幌内に温水プールをつくってほしい。音更や帯広の様に気軽に清潔なプールに入り家族で運動したいと思う。小学生の授業でも古いプールを使用していて心配。札幌スポセンのフィットネスを充実させてほしい。よろしくお願いします。	
町民なのに使用料がかかる施設が多い。そして高額。プールはボロボロなのに大人が300円くらいかかっているとか。池田や豊頃も施設も新しく町外の利用者も100円ほどで使えるみたいなので知り合いもそちらを利用している。陸上競技場も全面タータンではないし、クラウドファンディング等で整備できないのか。本町のスケートリンクはいつもピカピカに整備されていてオリンピック選手も滑りに来るほど素晴らしいが、無料なので町外から人がたくさん来て町民が滑れない。この施設ほど使用料を取るべきではないのか。	



問 28 あなたは町内出身のスポーツ選手の活躍に対する町の応援活動に満足していますか。（あてはまるもの1つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
満足している	97	31.7%	72	27.4%
どちらかという満足している	163	53.3%	138	52.5%
どちらかという満足していない	17	5.6%	21	8.0%
満足していない	10	3.3%	7	2.7%
※未回答	19	6.2%	25	9.5%
計	306	100.0%	263	100.0%

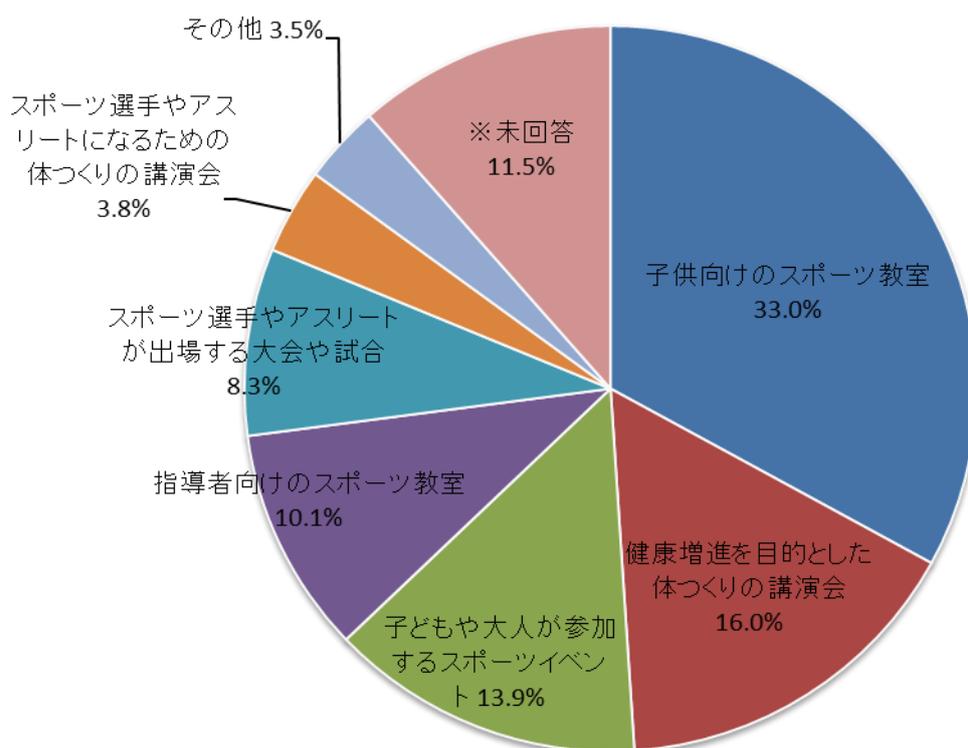
満足していない理由	どのような活動をしているのかわからない(5人)
	本当に必要な事業とは感じないから各アスリートの成績によって区別すべき
	町長が何かと出てくるのが気になる、オリンピックに頼りすぎ、道の駅を幕別に作らないのですか？
	もっと関わることがあるとよいが現役だとむずかしいか～
	興味がない(2人)
	横断幕と表彰位しかやってるのを見てないから
	これだけのオリンピック選手を出している町なのに未来のアスリートを育てる、という視点が低いと思う。施設の整備や育成コーチの充実などに力を入れてほしい
	選手の想いに沿った応援にはなっていない。(町のPRの道具に利用していると感じる)
予算をもっと他にも使うべき	
ワールドカップなどメディアに出た時だけ盛り上がり、応援し、それ以降や平素の活動についての情報がないなど一時的な取り扱いをしている印象です。引退後など選手の活躍の場面も芸能人的な活用で、“オリンピックの町づくり”とはほど遠い内容に感じます。偶発的にオリンピックがいただけで今後の展望が不透明に感じます。	



問 29 現在、町内出身のスポーツ選手やアスリートを活用した「オリンピックの町づくり」を展開しています。あなたは、今後スポーツ選手やアスリートを活用してどのようなことをしてもらいたいですか（あてはまるもの1つに○）

区分	第6次		第7次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
子供向けのスポーツ教室	119	38.9%	95	33.0%
健康増進を目的とした体づくりの講演会	28	9.2%	46	16.0%
子どもや大人が参加するスポーツイベント	10	3.3%	40	13.9%
指導者向けのスポーツ教室	41	13.4%	29	10.1%
スポーツ選手やアスリートが出場する大会や試合	30	9.8%	24	8.3%
スポーツ選手やアスリートになるための体づくりの講演会	9	2.9%	11	3.8%
その他	18917.9	6182.3%	10	3.5%
※未回答	27	8.8%	33	11.5%
計	19181.9	6268.6%	288	100.0%

満足していない理由	あまり関心がわからない
	良く分からない
	その種目などスポーツをやっていない子との格差が出てくると思う
	プールやフィットネスができる場など施設の整備を行い町民が気軽にスポーツを楽しめる町として展開してほしい
	政策の一つであるならスポーツ振興、スポーツ選手育成または子育てのツールとしてスポーツ活用の視点でオリンピック、それに関わる企業、大学などとも連携をとり次のオリンピックを輩出するための取り組みを。

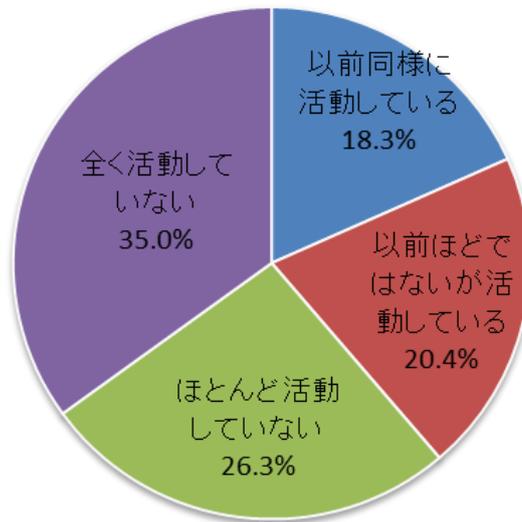


問 30 令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常生活やあらゆる活動が制限されてきましたが令和5年5月に制限が緩和され、徐々に様々な活動が再開している状況です。

あなたは、新型コロナウイルス感染症が拡大する前のように生涯学習に関する活動(※教育・文化・ボランティア・スポーツなど)ができていますか。

区分	第7次	
	人数	割合(%)
以前同様に活動している	44	18.3%
以前ほどではないが活動している	49	20.4%
ほとんど活動していない	63	26.3%
全く活動していない	84	35.0%
計	240	100.0%
回答理由	<p>コロナ前も活動していないため(12人)</p> <p>家庭内で完結するようにしている</p> <p>かかったら休める人ならいいが、絶対にかかってはいけけないので自粛している</p> <p>高齢化による減少</p> <p>囲碁サークルで活動しているが参加者が減っている</p> <p>色々気を付けながら活動している</p> <p>感染して会社や家族に迷惑をかけたくないから今でも控えている</p> <p>仕事が忙しいため(4人)、育児で時間がないため</p> <p>自分のできる範囲です、施設等に行かなくとも自宅です</p> <p>まだ感染の不安がある、感染が怖い</p> <p>制限緩和後、活動を少しずつ増やしていきたい</p> <p>生きている限り健康で過ごしたいから</p> <p>コロナ、コロナとビクビクし過ぎて本来の事が出来ていない人は可愛そうだと思う</p> <p>行けてない、前からあまり興味がない</p> <p>コロナ拡大以降中止になったイベントなどが開催されるようになった</p> <p>屋外スポーツなので</p> <p>元々多くの人と接する活動はしていなかったのでコロナの影響はあまりなかった</p> <p>引っ越してきて幕別町の活動が良く分からなかった。スポーツは大好きなのですが、腰と膝が悪くなって以前のように動けなくなった。午前中は働いている。</p> <p>コミセンが使えてたから運動はできた</p> <p>R5.5以降は以前同様の活動になっている</p> <p>学校の部活動やお祭り等</p> <p>町内における生涯学習活動の内容を熟知していない</p> <p>ウォーキングはしているが、ミニバレーはやめた</p> <p>医療関係の仕事のため、慎重になっています</p> <p>コロナ前もあまり参加していなかったものでほぼ同様な暮らし方です</p> <p>マイペースにやってます、コロナ後そんなに変わらない(3人)</p> <p>子育てで時間の余裕もない。お金がなくてできない。</p> <p>出前講座の回数をもう少し増やしたい</p> <p>まだ人が集まる場所にいくのはこわい</p> <p>母の世話と会社の事務の仕事、子供の事等悩みが多くて余裕がないです</p> <p>3年間のブランクで体力が低下しているかも</p> <p>都合つくときでかけている、ゴルフは大きな制限はなかった</p> <p>同年代以外の人がいいたら多少配慮する</p>	

回答理由	体調が悪いので外出しても行動はできない
	体調不良であまり活動できなくなった
	そもそも活動していない(4人)
	コロナでWEBによる講座が充実してどこでも学習できる機会がもてる
	マスクをしながら運動をする気にならない
	コロナ拡大中もマスクを着けて活動していたので変化なし(イベントは中止していたので参加していませんが…)
	身分上の義務において生涯学習は継続中です
	生涯学習活動をそもそもしていなかった
	スポーツ系はあまり変わらないと思います
	コロナ感染対策を十分に行えそうなものには参加しているが、難しそうであれば不参加としている
	マスクを外してできている、運動時にマスクの使用をしなくても良くなったため
	時間の余裕がない(5人)、時間が合わない
そもそもそれを知らなかったし忙しい中でそれをやるメリットを感じない	



問 31 あなたは、生涯学習の活動をしてきた中で、コロナ感染症拡大前と後で変化を感じたことはありますか。(自由記述)

不安定な世の中になった。会社も不安定。人の都合で予定がつかなくなった。
参加者が減っている、集団他者志向の怖さ
人と会うときに気を使うようになった、外出が億劫になった
自分はあまり活動はしていませんが、会社の同僚は活動をはじめ今まで動けなかった分楽しそうなので良かったと思う
コロナに対する考えの個人差が大きい
変わらない、特に感じない(3人)、活気がでてきました、活動していないのでわからない(2人)
手洗い、うがいなど常習化している。入店時、手指消毒なども。
コロナ、コロナとビクビクし過ぎて本来の事が出来ていない人は可愛そうだと思う
マスク着用での活動で支障があった(息苦しい、会話が聞き取れない等)
色々なイベントに参加することが出来た、人の数が増加した
子供の行事が増えてきて変わってきたなと感じました
密になる事、ノーマスクが気になる
コロナウイルス感染症の拡大時は縮小して活動していたが、現在は100%回復していると思います
WEB講座を選べるようになった

町内における生涯学習活動に参加していない
3年の間に体力がなくなり(続けていれば大丈夫だったんだろうけど)好きなミニバレーが出来ない、ケガしそう。
少々不安があるが、今まで通り活動している
外に出て活動しなくても自分自身でできることもあるなあと思い始めている
生涯学習の意味がわからないので答え自体がわからない
3年間のブランクで体力が低下しているかも(2人)
コロナ禍で人と人の結びつきが止められた感じがし、出歩くのが億劫になってる自分がいる
日々の手洗いがいい
仲間との交流が少なくなったままの状態が続いている
活気(音)がなくなった
感染症によりコロナ以外でも保育園や学校を休まなければならないことが増え、経済的な負担が大きい。その分学習に使う時間、お金が減ったと感じる
マスクで顔が見られずスーパーなどで会ってもだれかわかるのに時間がかかりコミュニケーションがとれない
直接対話から別の手段を使う方向に移行する工夫を行っていた
開会式が無くなった

問 32 コロナ禍を経て、あなたが生涯学習の活動をつづけるために必要だと思うことは、どのようなことでしょうか。(自由記述)

(病気の)正しい情報
正確な情報の発信(ワクチンのネガティブな部分の情報がされていない、泉大津の様にしてほしい)
地域のコミュニティ作り、人と人とのふれあい、外出して人と会ったり話す機会の大切さ
家族の協力、時間や健康、健康であること
コロナが拡大しないよう気を付けながら活動するためにもある程度、人との距離感が必要だなと思います
車を持たない人間が活動するにはバスに頼るしかないなので例えば土曜日に何か観たいとかコミバスは知らないのは不便
人と人のつながりが減っているのでface to faceを大事に
継続的に続けること、どのような状況にあらうとも、続けることの大切さを思う
生涯学習を続けるためにも所得に関係なく無益な介護から解放するようなシステム、望まぬ老人介護は行政による住民に対する犯罪である
高齢者ひとり暮らしの人がコミュニケーションをとれる場所やイベントが多い方がいいと感じました。
どんなことが起きても過敏になる必要はないと思う。人類は必ず克服できるはず。
緩和されても引き続き感染症に対する予防していくことが必要
3密になるようなものは対策をするなどをして活動してほしい
コロナは終息したわけではないので人が集まる場所に行くときには体調が悪い時にはいけないという個人の意識が必要だと感じます
活動種類を増やし、選択でき、自由に仲間づくりができる、コミュニケーションの場がもてる
コロナ感染症拡大前より積極的に行動を行ったり参加する仲間が増えた気がします
町民も施設を使うのにお金がかかるのでもう少し安くなると良いのでは
施設の広さや備品を消毒、換気、温度管理など設備が大切だと思った
例え小集団の接触であっても場における予防配慮としての手洗、手指消毒、マスク使用は必要かと思いません。そのことに応じるか否かは個の責任の範疇になります。感染させない、感染しないの心構えが大切。
「寛容」と「不寛容」の妥協点、やる気を持たなければならない、傾聴と対話
ワクチンの接種を行う、仲間づくり、情報、行きやすさ
農家なので冬場しか活動できないが年を取ると車の運転も億劫になり近場での活動場所があればと思う
他人に対する言動、親切心、充実した設備
子どもたちから大人までが活動するための環境づくり

例えば介護や子育てで時間がない人に時間を作るようフォローしてあげる
高齢化に向けての支え合い、基礎体力作り、経済的な負担の軽減
個人のペースで継続できる様な情報開示(一度休んでも再開できる様なやり方)
強力な換気システム、流行病に対しての過剰すぎないの慎重な対策。問題発生時、利用者に迅速に周知させ経過観察を徹底して広まらないようにする
前項と同じそれぞれにあたり工夫を生み出すよう必要をつきつめる意識と希望を高めてはどうでしょうか？
自由な時間を得ること、マナーを守った社会生活
適切な感染対策の継続。役場や公共施設ではマスク着用とアルコール消毒薬は継続してほしかった
適度な予防対策を常に行うようにしておく
子育て世帯には時間、経費、労力的余裕がありません。(社会全体の問題であると思いますが)スポーツに関して…部活動の地域移行がメディアで出ていますが幕別町はどういうスタンスで取り組まれているのでしょうか？(小中高のスポーツシーンが地域移行するには生涯学習分野においても影響があることだと)大きな枠組みで動かせるのは”行政”です。学校教育と連携し幕別の子ども達、また十勝の子ども達のスポーツ環境において真剣に考えていただけると子育て世帯としては大変ありがたいです。

問 33 あなたは、どのような生涯学習の講座や機会があれば良いと思いますか。  
(自由記述)

身近な場所でのデモンストレーション、音楽、散歩、陶芸等、高齢者向けの講座
開拓時代を中心とした郷土の歴史についての学習、先人から多くを学ぶ大切さ
デジタル社会を賢く生きる方法、体力維持のための筋トレ講座。サイクリングのツアー講座
当たり前前の事だとは思いますが、みんなが興味もてるもの、聞いてみたいなあと思える講座など。※話題になっている事等(テレビ、子ども達など)
健康増進を目的とした講演会、昔の出来事などを聞きたい
多くの人たちが気軽に参加でき幅広い年代の交流が出来るような機会
定年が伸びる一方で会社を辞められない、年金も少ないし、しかも元気なので今は会社勤務と有る学校の専任講師をやっており町内の事は何もしていないし、考えていない。
土日に参加できるものが多いと選択肢が増えてありがたいです
幕別町は室内ゲートボール場が2か所あり、補助金や役場の縦割りの考えで町民としては多様な生涯スポーツや子どもたちが使用できるように福祉課と検討してほしい。(例:帯広のスパーク)
英語以外の外国語講座(スペイン語等)(2人)、手話
生涯と名のつくならば一生においてどの分野でも役に立つ資格が取れるようなのを良いと思う
幅広い年代が楽しめるスポーツ、子供たちのスポーツ教室(小さい頃よりスポーツに興味を持てるように)
体験型のようなもの(春～夏とかは農園体験とか冬はスノーシューで公園を歩くとか、子供たちも遊べることとか)
気になるものだけ参加したい。個人個人の自由参加が良いと思う。強制的に参加させるべきではない。いかなる場合も。(動員とかもってのほか)
運動や趣味系の体験イベント。ママ向けにストレス発散できるもの
物作り、料理、絵、写真、講演、”食”に関する事、陶芸、リースづくり
子供向けの魅力のある講座を増やしてほしい
すでにあるものもあると思いますが英会話、手話、水彩画、色鉛筆画、パステルアート、羊毛フェルト等
自分のあるがままの姿で自分に合った活動をする必要があるかと思います
若い人が参加できる曜日、時間でなければ参加できない
育児中のママだけでなくパパの学習(妊婦の夫)30.40.50歳代の健康づくり講座(1回だけでなく毎週開催など)
世代層を考慮したプランニング、場の提供があればと思います。継続できること、目標が個人の目的を豊かにつなげるものであれば申し分なし。
プログラミング、動画編集、パタンナー、NLP、SST、ドイツ語、イギリス英語
いい食事献立。運動。体が衰えないようにするために必要なこと
健康に関してのこととかあれば良いと思う、ヨガ、ピラティス、ガーデニング講座、簿記

高校生レベルの学習の機会があれば良い、体験会
健康に特化した講座やスマホ講座のようなものがあると良いと思う
求められる人と求めている人がつながる機会・地域人材の発掘
読書会、読書スペースの設置等年齢問わず教養を身につける機会を増やす。図書館の蔵書数をふやす
仕事をリタイアした後に活動できるように現役時代から参加しやすい環境があると良い(平日の夜や土日に開催など)
夕方から行えるものなら何でも参加してみたい、冬期間体を動かせるプラン
終活について学びたい。高齢者向けの学習の場が欲しい
手芸とか楽器に興味があるので休日の短い時間で参加できるようなものがあると良いと思います。それと人見知りでも参加しやすい雰囲気。
子供の自殺が増えている最近。心の学びをする機会を増やしたら良いと思う。
テーマや年代、例えば子供からご老人までをどこまで対象に(自由に割けたり合同にしたりし)できるか? 互いの分かち合いの機会とそれに合わせて分かち合いのエチケットの講座はいかがでしょうか?
英語(日常会話)を学べる講座。書道、ヨガやピラティス、季節のつくりもの(クリスマスリースやしめなわなど)
昼間に時間がある人でないと参加できるものが限られる。広報を見て気になっても「あ、この時間はいけないや」で終わる
二次産業の仕事をしてみたい
年齢的に認知症予防や年をとっても出来る運動(スポーツ)、月1回位のお茶等飲みながら誰でも参加して話が出る場を設けてもらえたら良い
インターネットを活用した講座配信等

**問 34 あなたは、ボランティアをするとしたら、どのようなことをしたいですか。**  
(自由記述)

清掃(2人)、ゴミ拾い(6人)、草取り(4人)、植樹などの環境ボランティア
なんだかんだ日本は恵まれていることを伝える
道路沿いのゴミ拾いや公園整備など。公共環境の美化活動、小河川も。
私は暇と時間がなくボランティアはできませんが子供やお年寄りのためになるボランティア
自分も年寄りだがそうした人たちとのお喋り、或いは障害を負った人たちとの軽いスポーツを一緒に楽しむ等
年齢的に無理(2人)、時間的に無理
自分に何ができるかわからない、どのようなボランティアがあるかわからない
からだの不自由な方のお手伝い、1人生活者宅へ訪問、会話など、高齢者に対する対応
園芸、緑化、公園美化、地域の美化運動、花壇の手入れ(2人)、文化活動
子供の勉強のサポート、学習支援、子供のためのボランティア(2人)
ウクライナの復興支援
どのようなボランティアがあるのかよく知らないのでわからない
就労において札内近所のゴミ拾いをしました。かなり汚れていました。
子供たちの通学のみまもり隊みたいなこと、物騒な世の中なので地域の子どもたちが安心して生活できるように(通学路に防犯カメラなどもっととりつけてほしいと思っている)
お節介にならないボランティアが理想です。できる範囲で。本業の支障にならない程度。
自分が持っている趣味の仲間を広げたい。それを興味のある人に知ってもらう機会が欲しい
施設に入所されている高齢者が楽しめることのお手伝い
近隣住民との交流を気兼ねなく行えるよう清掃、高齢者の外出支援
保育園、学校のイベントのお手伝い、イベント(2人)、運転、手話活動、レクリエーションの補助
体力、気力が衰えているのでボランティア提供はハードルが高い現状にあり。
地域の中学校で部活動の指導を行い、経験を活かしてみたい
犬、猫等(捨てられた)の世話(そういう施設があるのであれば)
まずは地域活動を実施し、その後活動の中を拡大したいと思う

傾聴ボランティア、リサイクル、街を綺麗に保つ活動
子供の内からその人らしさを大切にする学びを伝えていくサポートができたらと思う。
子供たちと接する機会、子供たちにスポーツの楽しさを教えたい
独居高齢者のために介護サービスにはない範囲での手伝い
子供、お年寄り(施設に入居されている方)、どちらとも触れ合いたい。(自分自身片頭痛もち、腰痛もちなので問33を含め希望(夢)です)
障がいを持った人の野外活動のサポート等
ベビーシッター、育児(子育て)のお手伝い
上項に関する傾聴ボランティア育成の道が開かれますようお願いのうちに祈りをおさげ続けご支援させていただきます
子供の活動に関する事

(2) 幕別町生涯学習中期計画案の策定について（諮問）

幕 教 生 第 486 号

令 和 5 年 6 月 7 日

幕別町社会教育委員会 委員長 様

幕別町教育委員会 教育長 菅野 勇次

幕別町生涯学習中期計画案の策定について（諮問）

本町の生涯学習推進につきましては、平成30年3月に策定されました第6期幕別町総合計画を基本計画として、平成31年3月に策定した第6次幕別町生涯学習中期計画に基づき、「協働と交流で住まいる」「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」を基本理念に諸施策の推進を図ってまいりました。

第6次幕別町生涯学習中期計画の最終年度を迎えるにあたり、人々の価値観、生活様式の多様化や地域社会、家庭のあり方など社会構造全体が急激に変化している中で、大人をはじめ子どもたちを取り巻く生活環境は、様々な課題を内包しているところであります。

このような中、これまで培われた本町の教育を基盤とし、豊かな人間性を育む教育環境の整備・充実を図り、さらに一人ひとりの個性と地域の特性を生かし、生涯にわたって学習できる機会の提供や、豊かで活力ある地域づくりのため、生涯学習に対する充実が求められています。

こうした現状や課題を踏まえ、これからの幕別町に求められている生涯学習社会のあるべき姿を構築するため、次期計画「第7次幕別町生涯学習中期計画（案）」の策定を諮問いたします。

記

1 考慮いただきたい事項

- (1) 第6期幕別町総合計画及び幕別町教育目標に沿ったものであること。
- (2) 第7次計画は、令和6年度から令和10年度までの5年間とすること。

2 答申希望日 令和6年3月31日まで

### (3) 第7次幕別町生涯学習中期計画策定経過

- 令和5年4月27日 第5回教育委員会  
・幕別町社会教育委員の委嘱
- 5月26日 第7回教育委員会  
・幕別町生涯学習中期計画案の策定について
- 6月7日 第1回社会教育委員会  
・委嘱状交付  
・教育委員会より、第7次生涯学習中期計画の諮問  
・策定部会の構成
- 7月12日 第2回社会教育委員会  
・生涯学習計画とは  
・アンケート調査について  
(部会開催 (社会教育・社会体育・学校教育))
- 7月27日 第1回総合教育会議  
・第7次生涯学習中期計画策定スケジュールについて
- 9月22日 第3回社会教育委員会  
・アンケート調査について  
・第6次生涯学習中期計画の評価  
(部会開催 (社会教育・社会体育・学校教育))
- 11月24日 第4回社会教育委員会  
・アンケート調査結果について (報告)  
・第6次生涯学習中期計画の評価 (報告)  
・第7次生涯学習中期計画 (素案) の策定
- 12月19日 第3回総合教育会議  
・第7次生涯学習中期計画 (案) について
- 令和6年1月5日 パブリックコメント  
(～2月5日まで)
- 2月2日 第5回社会教育委員会  
・第7次生涯学習中期計画 (案) について
- 3月 日 第6回社会教育委員会  
・第7次生涯学習中期計画の調整と答申について
- 3月 日 第 回教育委員会  
・教育委員会審議・決定

#### (4) 幕別町社会教育委員会委員名簿

委員長 原田 啓二 (町子ども会育成連絡協議会)

副委員長 森 浩嘉 (町校長会：幕別小学校長)

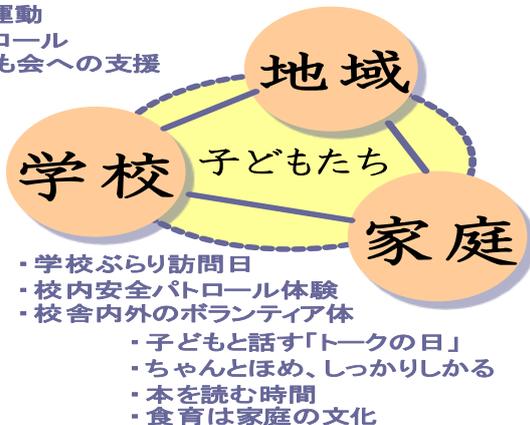
- (1) 社会教育部会 (5名) 原田 啓二 ※部会長  
近藤 泰子 (NPO まくべつ町民芸術劇場)  
宮本 彰 (町文化協会)  
松田 哲博 (農村：南幕別地区)  
鳥毛 浄生 (忠類地区)
- (2) 社会体育部会 (5名) 高道 昭夫 ※部会長  
小島 政裕 (幕別清陵高校校長)  
新倉 榛名 (町スポーツ推進委員)  
池田 明子 (幕別地区)  
新保 都 (札内地区)
- (3) 学校教育部会 (5名) 森 浩嘉 ※部会長  
三井 央一 (町PTA連合会)  
小林 鈴奈 (札内地区)  
加藤 広規 (農村：西幕別地区)  
井原 みきえ (忠類地区)
- (4) 生涯学習推進部会 (3名) 原田 啓二 ※部会長  
森 浩嘉  
高道 昭夫 (スポーツ協会会長)

# 毎月19日は まくべつ教育の日

たとえばこんなこと

- ・子ほめ、子しかり運動
- ・あいさつ運動
- ・安全パトロール
- ・地域子ども会への支援

いっしょに読む・食べる  
いっしょに遊ぶ・話す  
しっかりと聞く・見る



## ○幕別町教育の日憲章

わたくしたちは、自己を高め、明るく豊かな暮らしが営めるよう、毎月19日を幕別町教育の日と定め、ふれあい、響きあい、磨きあいながら、ともに伸びる教育をめざします。

- 1 あたたかい家庭をめざして
  - ・家族だんらの機会をふやし、子どもの自主性と個性、やさしい心を育てます。
  - ・家族が協力して、子育てにあたります。
- 2 あかるい地域をめざして
  - ・子どもは地域の宝、まちの宝、あたたかく成長を見守ります。
  - ・子どものために、よりよい環境をつくります。
- 3 たのしい学校をめざして
  - ・ゆとりある教育をめざし、豊かな心をはぐくみます。
  - ・来て・見て・知って、みんなで学校づくりにつとめます。

子どもをまん中に  
家庭・地域・学校が

幕別町教育委員会

## 第7次幕別町生涯学習中期計画 〈2024年度～2028年度〉

2024年3月発行

発行者：幕別町教育委員会

〒089-0604 北海道中川郡幕別町錦町98番地

TEL 0155(54)2006

FAX 0155(54)4714

E-mail shogaigakusyuka@town.makubetsu.lg.jp

(案)

第 2 期 幕 別 町 ス ポ ー ツ 推 進 計 画  
(2024 年 度 ~ 2028 年 度)



令 和 6 年 月  
幕 別 町 教 育 委 員 会



# 目 次

## 第1章 計画の策定に当たって

- 1 計画策定の背景と趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の策定体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

## 第2章 スポーツを取り巻く現状

- 1 町民のスポーツ意識の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 スポーツ関係団体の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 3 スポーツ施設の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

## 第3章 計画の体系

- 1 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2 基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 3 SDGsを踏まえた計画の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 4 計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

## 第4章 基本計画

- 1 スポーツを「見る」「応援する」雰囲気醸成しよう！・・・・・・・・・・ 16
- 2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！・・・・・・・・ 17
- 3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！・・・・・・・・・・ 19
- 4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！・・ 21
- 5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！・・・・・・・・・・・・・・ 23

## 第5章 計画の推進に当たって

- 1 計画の推進に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 2 主な関係団体の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

# 第1章 計画の策定に当たって

## 1 計画策定の背景と趣旨

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神のかん養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっています。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものでもあります。

国は、スポーツ立国を実現するために、平成23年に「スポーツ基本法」を制定し、スポーツに関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明確化しました。また翌年には「スポーツ基本計画」、平成29年には「第2期スポーツ基本計画」、令和4年には「第3期スポーツ基本計画」を策定し、国民、スポーツ団体、民間事業者、地方公共団体、国等が一体となって取り組むための指針を示しました。

町では、これまで町内からオリンピック選手やプロスポーツ選手（以下「アスリート」と総称します。）を多く輩出しており、町民一人ひとりが運動やスポーツを見る・する・楽しむ機会を創り、地域に根ざしたスポーツコミュニティの確立に向けて、「アスリートと創るオリンピックの町創生事業」を展開してきました。

これまでの取組や国におけるスポーツ施策を踏まえ、今後も町民一人ひとりがスポーツに関わることで、スポーツが地域に根ざした文化として醸成するとともに、スポーツ交流人口の拡大や経済の活性化につながるよう、町・町民・地域・関係機関が一体となって、一步ずつ着実にスポーツ振興に取り組むため、「第1期幕別町スポーツ推進計画」を令和3年に策定し、スポーツのまち推進に取り組んできました。

一方、近年、新型コロナウイルス感染症拡大により、スポーツを実施する環境、機会が大きく変化してきました。「第2期幕別町スポーツ推進計画」は基本方針を踏襲しつつ、こうした社会変化や出来事を踏まえ策定します。

## 2 計画の位置付け

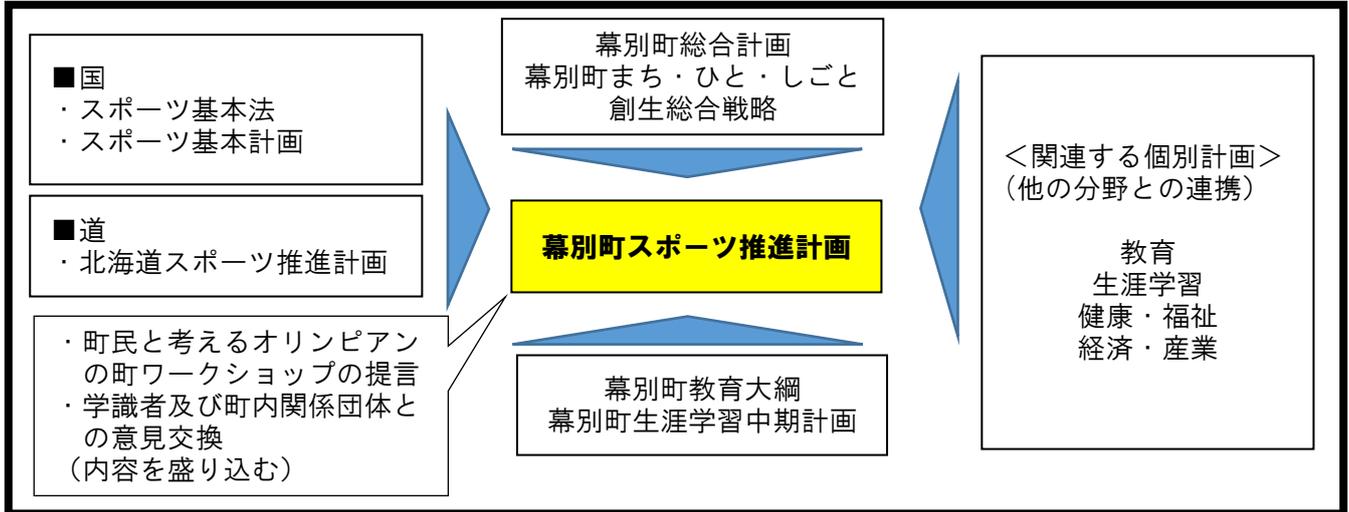
この計画は、スポーツ基本法第10条に基づく「地方スポーツ推進計画」として策定します。

また、計画策定に当たっては、国の「第3期スポーツ基本計画」及び「第3期北海道スポーツ推進計画」を参酌し、「第6期幕別町総合計画」の基本構想を基に、「幕別町教育大綱」の基本方針や「第7次幕別町生涯学習中期計画」などの個別計画との整合性を図ります。

### 3 計画の策定体制

第1期幕別町スポーツ推進計画は、無作為抽出の町民及び関係団体が参加した「町民と考えるオリンピックの町ワークショップ」から令和元年10月に提言があった内容や学識者及び町内関係団体との意見交換内容などを盛り込み、スポーツに関する施策を体系化した「スポーツ推進計画」を策定しました。

第2期幕別町スポーツ推進計画についても、町内関係団体との意見交換内容を盛り込み策定します。



### 4 計画の期間

この計画期間は、上位計画である「第7期幕別町生涯学習中期計画」に合わせ、**2024年度（令和6年度）**から**2028年度（令和10年度）**までの5年間とします。

また、この計画は、社会情勢等の変化に対し柔軟に対応するため、計画期間中であっても必要に応じ見直しを行います。

## 第2章 スポーツを取り巻く現状

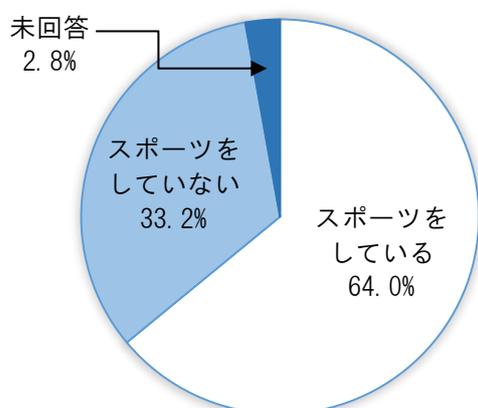
### 1 町民のスポーツ意識の状況

#### (1) 子どものスポーツの実施状況

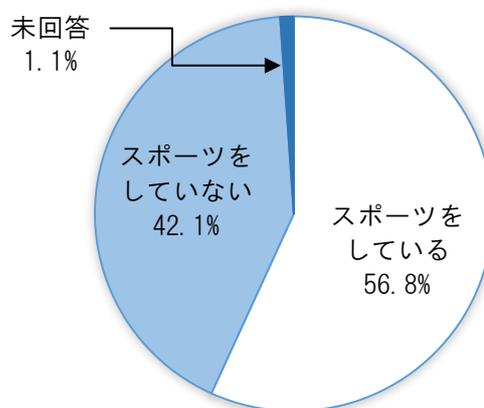
町教育委員会が9歳から17歳までの子どもを対象に行った「第7次幕別町生涯学習中期計画アンケート（2023）」で、子どもがスポーツをしている人の割合は56.8%であります。スポーツをしていない人の割合は42.1%となっています。スポーツをしていない人の理由は、「**スポーツに興味がない**」、「**時間がない**」、「**お金がかかる**」と回答が多い一方で、スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度は「**やってみたい**」または「**どちらかというやってみたい**」と回答している方が42.9%となっています。

#### ■ スポーツをしている人の割合

○第1期

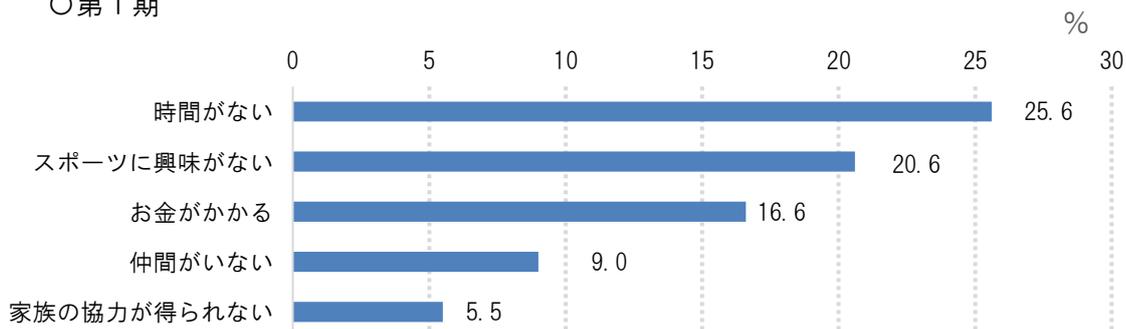


○第2期

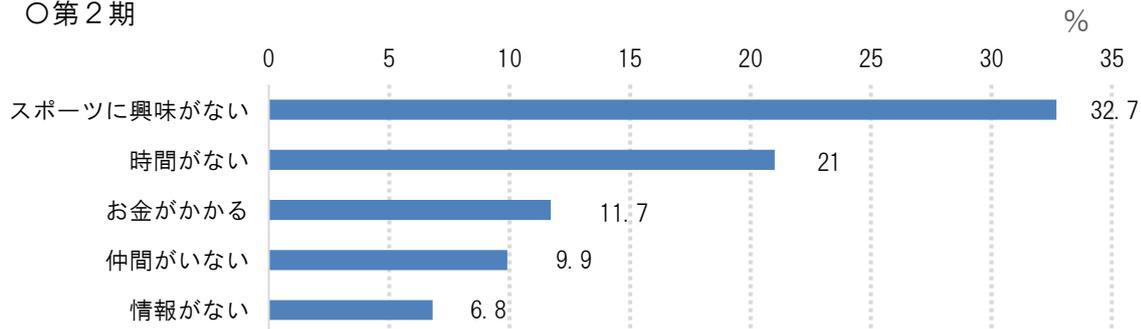


#### ■ スポーツをしていない理由（上位5つまで）

○第1期

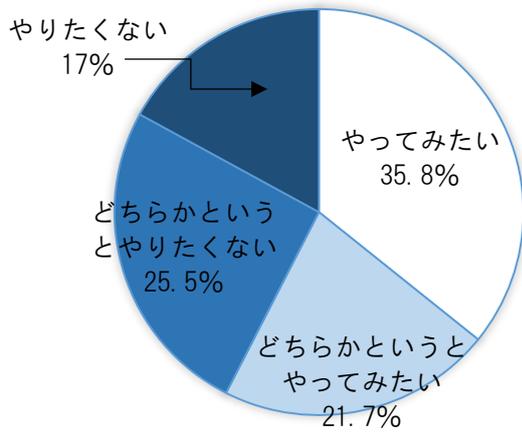


○第2期

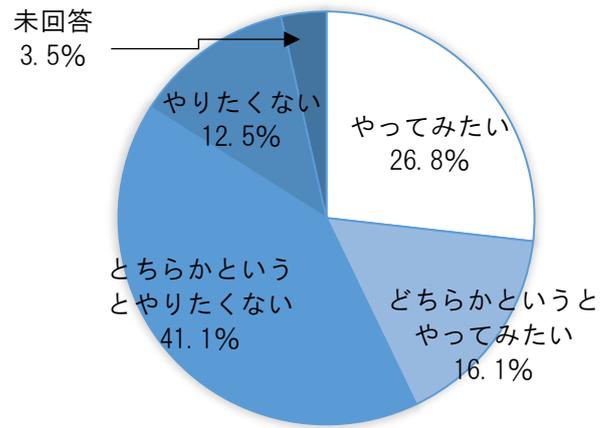


■ スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度

○第1期



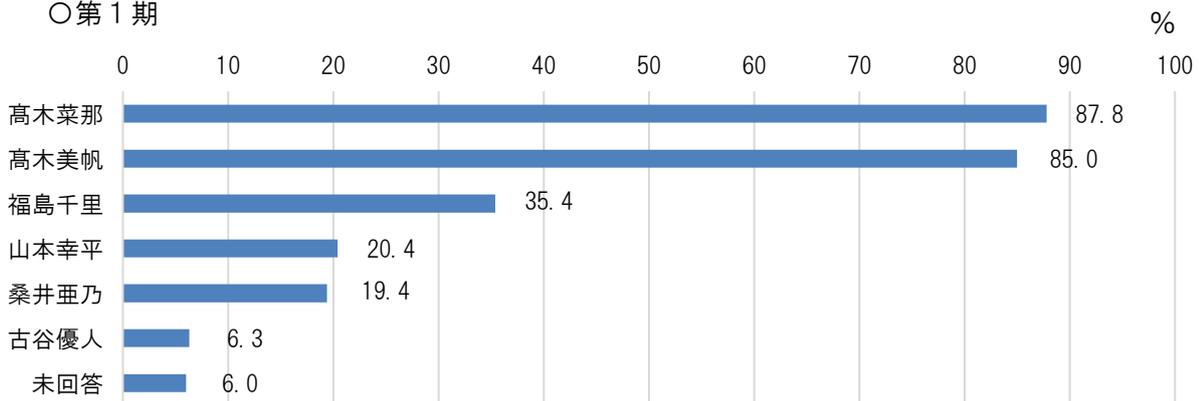
○第2期



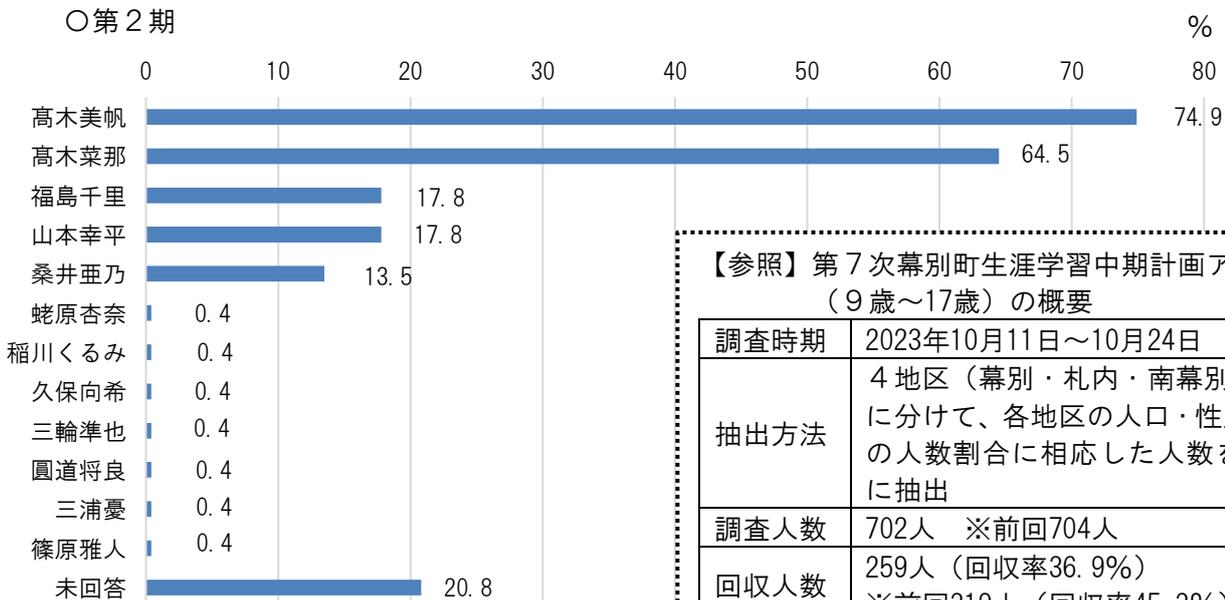
また、子どもが知っている世界で活躍している町内出身のアスリートは、オリンピックで金メダルを獲得した高木菜那選手や高木美帆選手が60%以上となっていますが、他の選手は知っている人が少ない状況となっています。

■ 子どもが知っている世界で活躍している町内出身のアスリート

○第1期



○第2期



【参照】第7次幕別町生涯学習中期計画アンケート（9歳～17歳）の概要

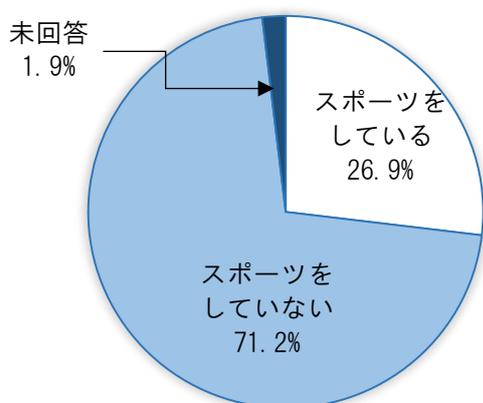
調査時期	2023年10月11日～10月24日
抽出方法	4地区（幕別・札内・南幕別・忠類）に分けて、各地区の人口・性別・年代の人数割合に相応した人数を無作為に抽出
調査人数	702人 ※前回704人
回収人数	259人（回収率36.9%） ※前回319人（回収率45.3%）

(2) 成人のスポーツの実施状況

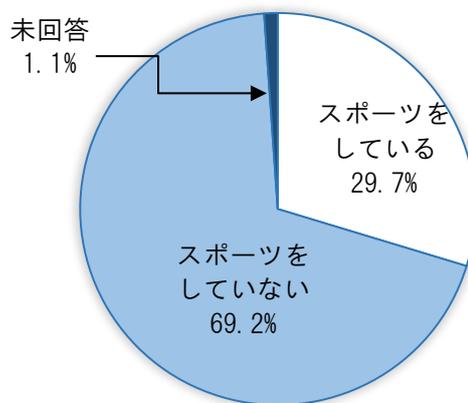
スポーツ庁が行った「スポーツの実施状況等に関する世論調査（2022）」によると、スポーツをしている人の割合は全国で52.3%であります。町教育委員会が18歳以上の方を対象に行った「第7次幕別町生涯学習中期計画アンケート（2023）」で、スポーツをしている人の割合は29.7%であり、全国の約半数の割合となっています。スポーツをしていない人の理由は、「時間がない」、「スポーツに興味がない」、「仲間がない」と回答が多い一方で、スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度は、「**やってみたい**」または「**どちらかというとやってみたい**」と回答している方が**37.9%**となっています。

■ スポーツをしている人の割合

○第1期

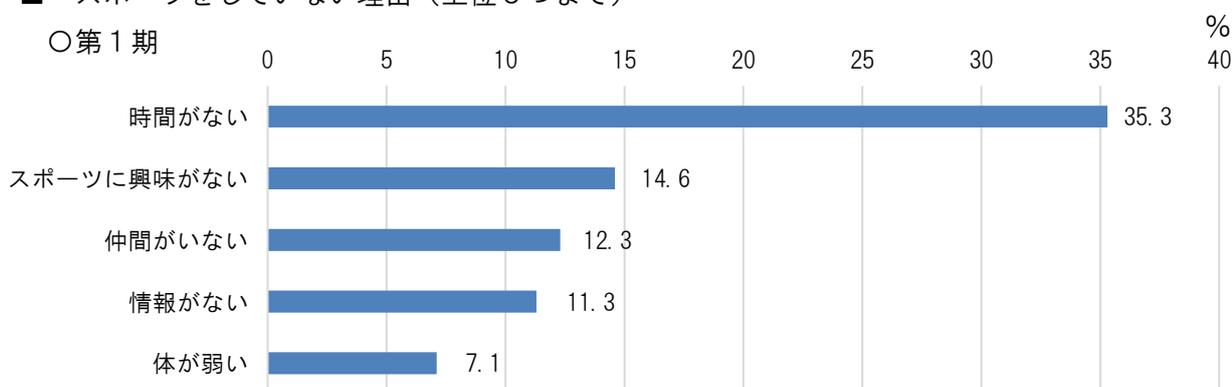


○第2期

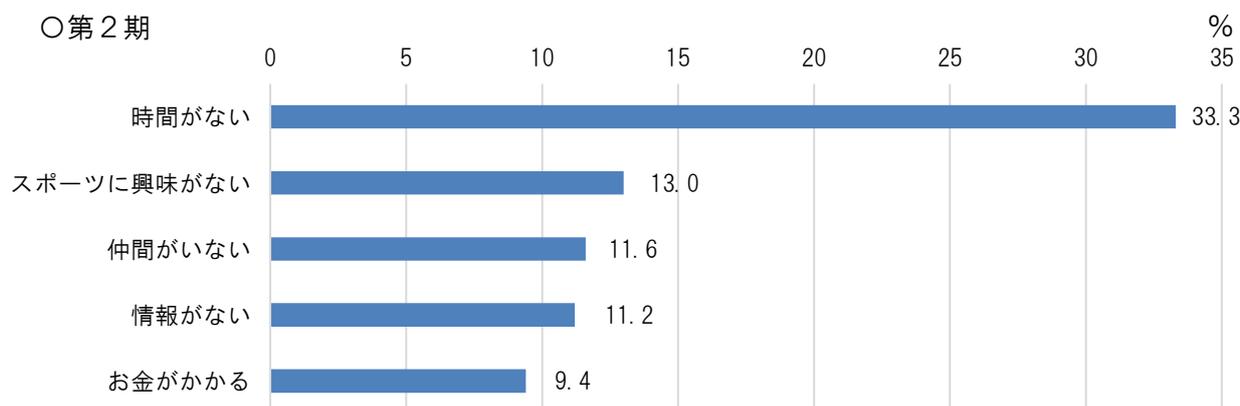


■ スポーツをしていない理由（上位5つまで）

○第1期

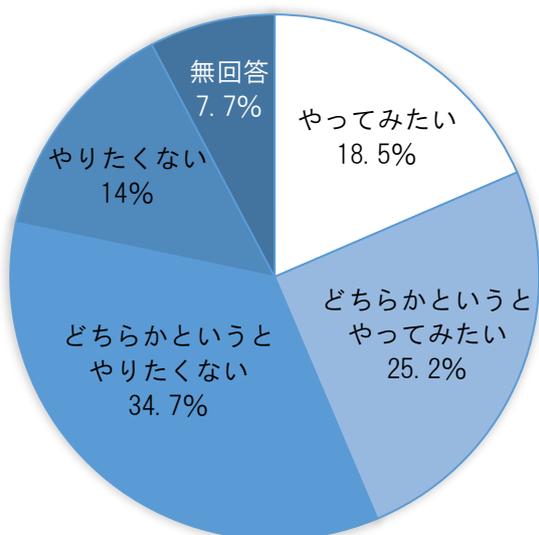


○第2期

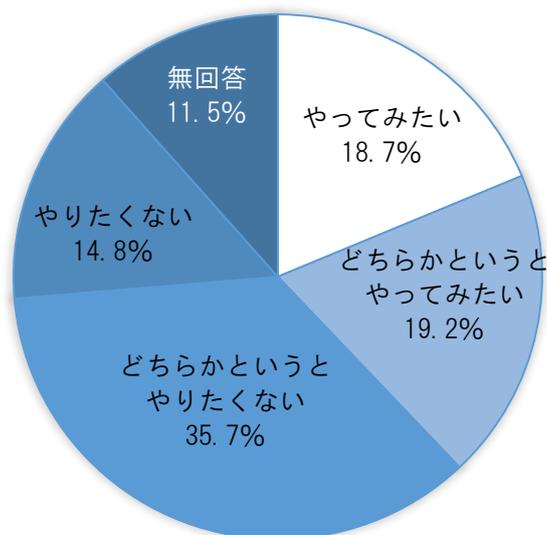


■ スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度

○第1期

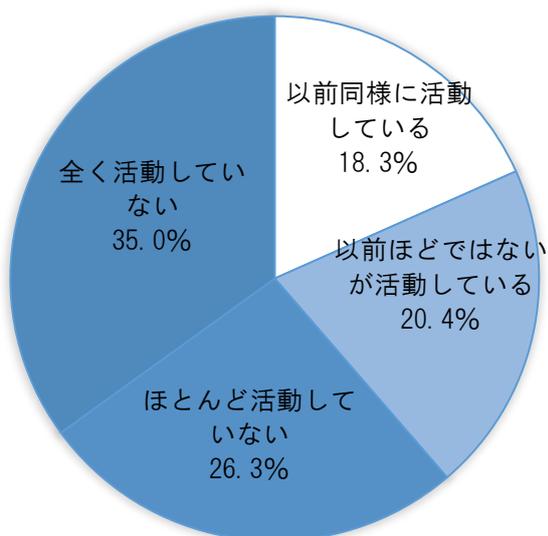


○第2期



コロナウイルス感染症が拡大する以前のように活動ができている人の割合は、「以前同様に活動している」または「以前ほどではないが活動している」と回答している方が38.7%となっていますが、「ほとんど活動していない」または「全く活動していない」と回答している方が61.3%となっており、活動していない理由として、「まだ感染の不安がある」、「外出が億劫になった」、「外に出て活動しなくても自分自身で行うようになった」と回答されています。

■ コロナウイルス感染症が拡大する以前のように活動ができているか。



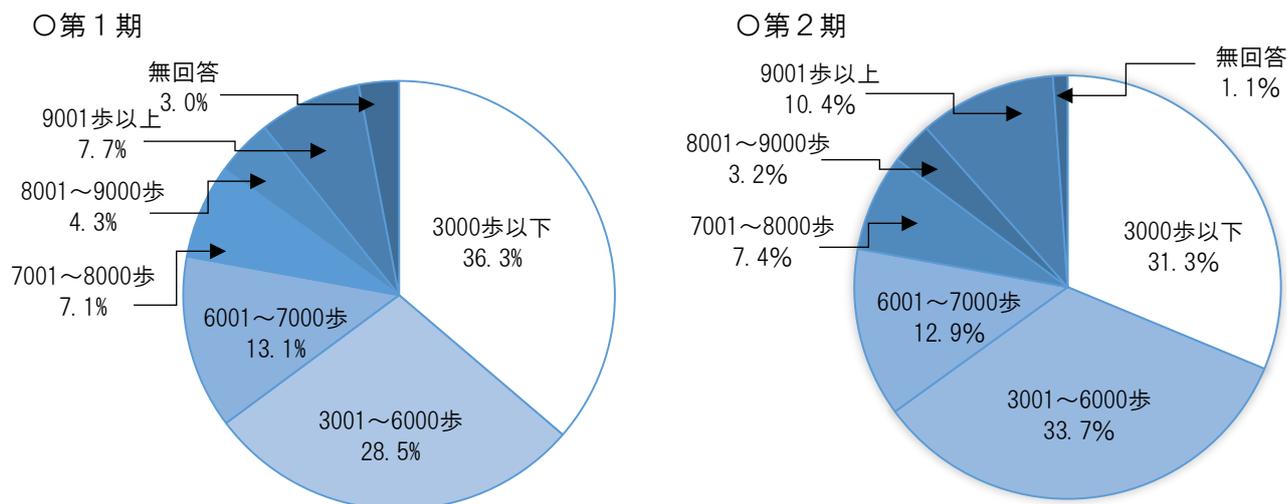
【参照】第7次幕別町生涯学習中期計画アンケート（18歳以上）の概要

調査時期	2023年10月11日～10月24日
抽出方法	4地区（幕別・札内・南幕別・忠類）に分けて、各地区の人口・性別・年代の人数割合に相応した人数を無作為に抽出
調査人数	766人 ※前回796人
回収人数	263人（回収率34.3%） ※前回306人（回収率38.4%）

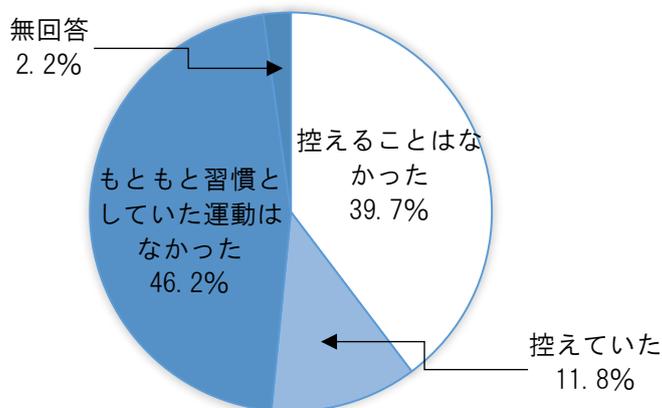
町が20歳から79歳までの方を対象に行った「健康づくりアンケート（2023）」で、1日に歩く歩数は、3,000歩以下が31.3%、3001～6000歩が33.7%であり、厚生労働省が行った「国民健康・栄養調査（2019）」における平均6313歩と比べると少ない状況にあります。

また、コロナ禍の中、習慣としていた運動を控えていた人の割合は11.8%であり、控えていた人の中で、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、運動習慣を再開した人の割合は62.8%でした。

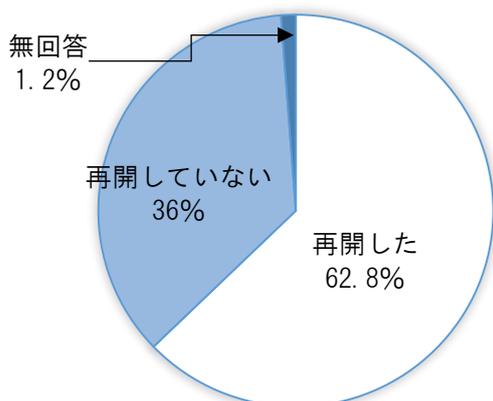
■ 1日に歩く歩数



■ コロナ禍の中、習慣としていた運動を控えることがありましたか。



■ （「運動を控えていた」と回答した方のみ）新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、運動習慣は再開しましたか。

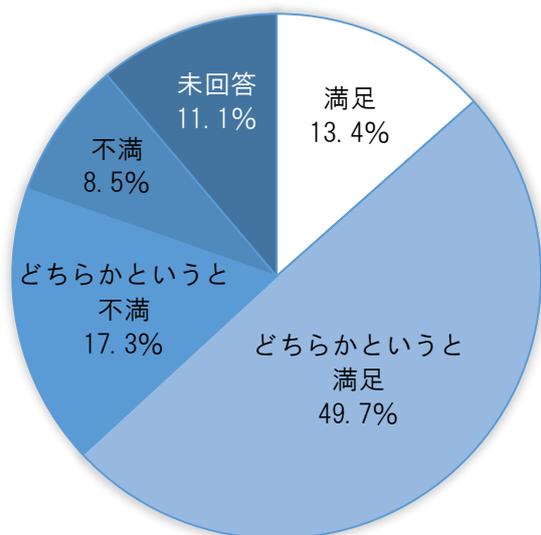


【参照】健康づくりアンケートの概要	
調査時期	2023年10月2日～10月18日
抽出方法	4地区（幕別・札内・南幕別・忠類）に分けて、各地区の人口・性別・年代の人数割合に相応した人数を無作為に抽出
調査人数	1,989人 ※前回2,000人
回収人数	728人（回収率36.6%） ※844人（回収率42.2%）

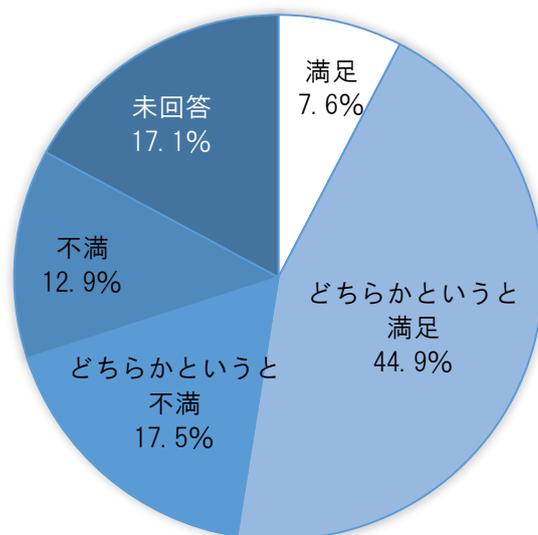
町教育委員会が行った「第7次幕別町生涯学習中期計画アンケート（2023）」で、町内のスポーツ環境の満足度は、「満足」または「どちらかという満足」と回答している方が52.5%となっていますが、「どちらかという不満」または「不満」と回答している方が30.4%となっており、不満の理由として、「情報が足りない」、「時間が合わない」、「参加したい講座やイベントが少ない」と回答されています。

■ 町内のスポーツ環境の満足度

○第1期



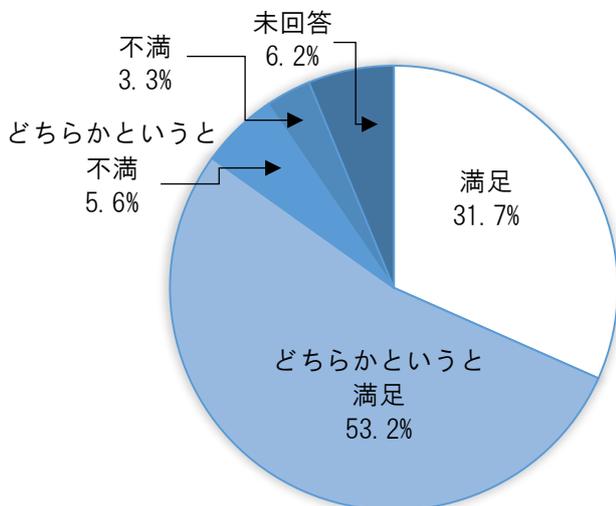
○第2期



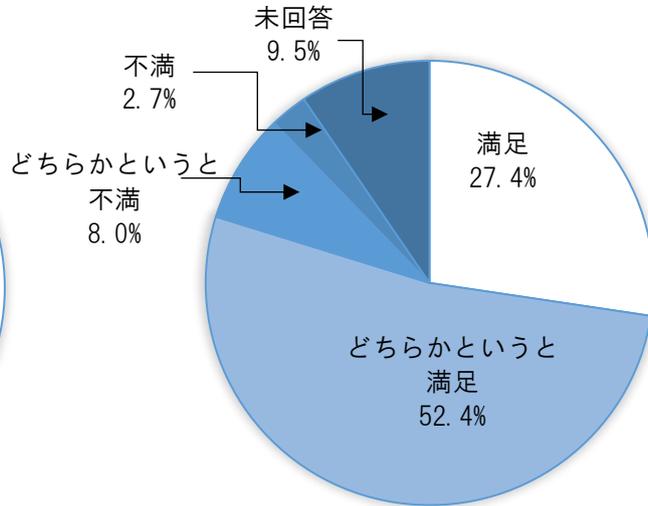
町内のスポーツ選手の応援活動に対する満足度は、「満足」または「どちらかという満足」と回答している方が79.8%となっていますが、「どちらかという不満」または「不満」と回答している方が10.7%となっており、不満の理由として、「応援活動内容がわからない」、「情報が入ってこない」、「オリンピックだけでなく、普段の活動がわからない」と回答されています。

■ 町内のスポーツ選手の応援活動に対する満足度

○第1期



○第2期



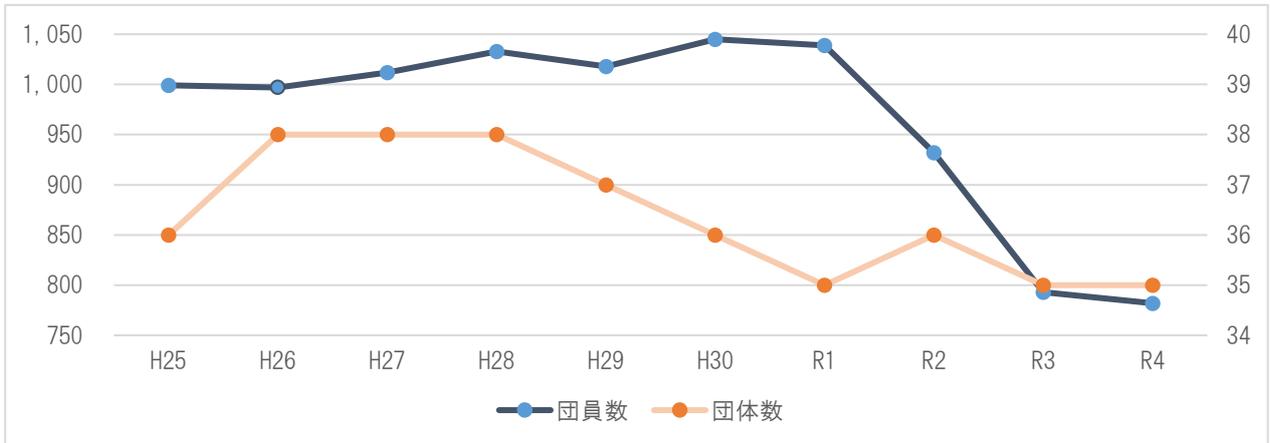
## 2 スポーツ関係団体の状況

### (1) スポーツ少年団の状況

スポーツ少年団の団員数は、近年、減少傾向にあり、団体数は、小学校区単位におけるスポーツ少年団のチームを構成することが難しく、複数校構成の混合チームやクラブチームとなってきており、平成28年度をピークに減少傾向にあります。

■ スポーツ少年団登録団員数と団体数の推移（各年度末現在）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
団体数	36	38	38	38	37	36	35	36	35	35
団員数	999	997	1,012	1,033	1,018	1,045	1,039	932	793	782

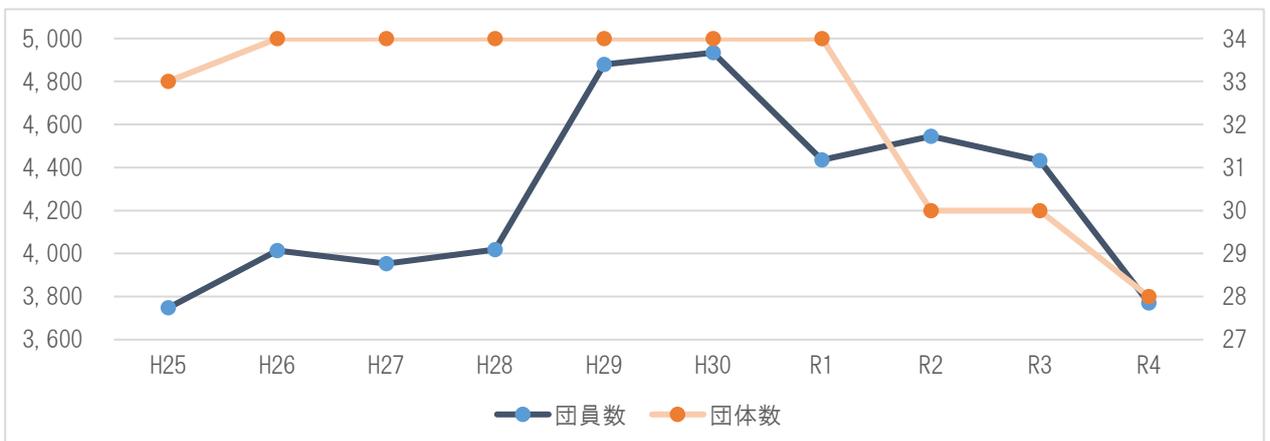


### (2) 幕別町スポーツ協会の状況（※令和5年4月25日に幕別町体育連盟から名称変更となりました。）

幕別町スポーツ協会は、町民のスポーツの普及と振興、体力向上と健康増進を願い、昭和33年4月に設立しました。加盟団体数は、近年、減少傾向にあります。競技人数は、令和4年度に700人ほど減少しており、特に若年層の競技者が少なくなっている傾向にあります。

■ 幕別町スポーツ協会団体数と競技人数の推移（各年度末現在）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
団体数	33	34	34	34	34	34	34	30	30	28
人数	3,748	4,014	3,953	4,019	4,880	4,934	4,436	4,546	4,432	3,770



(3) スポーツ推進委員の状況

スポーツ推進委員は12人を委嘱し、地域スポーツ振興の推進役として、毎年、「ウォークラリーまくべつ」や「リフレッシュ教室」の開催、「まくべつマラソン大会」などのイベント協力を行っています。

(4) スポーツ合宿誘致実行委員会の状況

スポーツ合宿誘致実行委員会は、スポーツ合宿や大会を誘致し、交流人口の拡大、スポーツの振興及び地域の活性化を目指した活動を行っており、平成30年度から毎年「慶應義塾体育会野球部」の合宿誘致（令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大により中止）と、令和元年度は「車いすラグビー日本選手権予選リーグ」の大会誘致を行いました。

(5) 総合型地域スポーツクラブの状況

総合型地域スポーツクラブは、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、それぞれの志向やレベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

町内には、「特定非営利活動法人 幕別札内スポーツクラブ」と「一般社団法人 十勝総合型スポーツクラブ フーニ」の2クラブを有しており、町のスポーツ振興に大きく貢献しています。

### 3 スポーツ施設の状況

町内で利用可能なスポーツ施設等は次のとおりであり、各地区に様々なスポーツ施設があります。町発祥のスポーツであるパークゴルフ場は、町内で14コースあります。

農業者トレーニングセンター及び札内スポーツセンターは、令和元年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者が施設の管理運営全般を行っており、サービスの充実、利用者の拡大に努めています。

また、民間スポーツ施設では、トランポリン施設やゴルフ場などがあります。

地区	施設名	内容
幕別	農業者トレーニングセンター	アリーナ、武道場、トレーニング室
	幕別運動公園	陸上競技場、野球場、ソフトボール場、多目的広場、屋外スケートリンク場(冬季)、アーチェリー場、テニスコート、ゲートボール場、パークゴルフ場(1コース)
	明野ヶ丘公園	スキー場(冬季)、マウンテンバイクコース、パークゴルフ場(1コース)
	その他施設	屋内プール(1箇所)、屋内ゲートボール場(1箇所)、屋外ゲートボール場(1箇所)、パークゴルフ場(2コース)
札内	札内スポーツセンター	アリーナ、武道場、トレーニング室、テニスコート
	依田公園	野球場、テニスコート、アーチェリー場、パークゴルフ場(2コース)
	札内川河川緑地公園	野球場、ソフトボール場、テニスコート、バスケットコート、サッカー場、ラグビー場、パークゴルフ場(1コース)
	スマイルパーク	パークゴルフ場(1コース)
	その他施設	屋外スケートリンク(冬季)、屋内プール(2箇所)、屋内ゲートボール場(1箇所)、パークゴルフ場(1コース)
糠内	糠内公園	パークゴルフ場(1コース)
	糠内町民プール	屋内プール(1箇所)
忠類	忠類体育館	アリーナ
	忠類野球場	野球場
	ナウマン公園	パークゴルフ場(2コース)
	白銀台スキー場	スキー場(冬季)
	その他施設	テニスコート(1箇所)、屋外ゲートボール場(1箇所)、屋内プール(1箇所)
民間施設		トランポリン常設施設(1箇所)、ゴルフ場(2箇所)、パークゴルフ場(2コース)

## 第3章 計画の体系

### 1 基本理念

スポーツは、幸福で豊かな生活を営むために重要なものであり、健康寿命の延伸や体力向上、介護予防、生活習慣病予防に寄与します。すでにスポーツをすることの楽しさを享受できている町民のみならず、スポーツをしていない、スポーツに無関心な町民も、スポーツを「見る」・「応援する」・「する」・「支える」という視点で、積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、人生が豊かになるよう推進していきます。

また、これまで町内から多数のオリンピック選手を輩出していることやスポーツを行う上で自然環境や社会環境において適した地であることから、「オリンピックの町・幕別町」として町内外に発信していきます。

このことを踏まえ、幕別町の教育目標である「郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人」の育成を基本として、子どもから高齢者までのライフステージに応じたスポーツの推進など、これまで推進してきた取組は、本町のスポーツ推進の根幹となるものとして、引き続き、推進・充実を目指していきます。

### 2 基本目標

本計画の基本理念を実現するため、次の5つの基本目標を掲げます。

基本目標1 スポーツを「見る」・「応援する」雰囲気醸成しよう！

基本目標2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！

基本目標3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！

基本目標4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！

基本目標5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！

### 3 SDGsを踏まえた計画の推進

SDGs（エス・ディ・ジーズ）は、持続できるというSustainable（サステイナブル）のS、開発というDevelopment（ディベロップメント）のD、目標であるGoalの複数形Goals（ゴールズ）のGとsの略語であり、日本語訳として、「持続可能な開発目標」とされています。

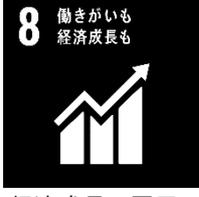
このSDGsは、2015年9月の国連で採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた目標であり、環境、経済、社会それぞれの側面を統合的に向上させるため、17の目標と169のターゲットから構成されています。

この目標の達成に向け、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、町民にも役割があり、それぞれが協力・連携しあうことが求められています。

当計画がSDGsの推進につながるものと考え、SDGsの視点を取り入れ、基本目標の達成に向けた各種施策を推進します。



## 4 計画の体系

基本目標	施策の方向	関連するSDGs	
<p>1 スポーツを「見る」・「応援する」雰囲気を醸成しよう！</p>	<p>(1) 各種メディアによる情報発信の強化            (2) 町内出身アスリートの応援における町全体での機運醸成            (3) スポーツ合宿や大会の誘致とスポーツ交流人口の拡大</p>	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに              ≪教育≫</p> <p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう              ≪パートナーシップ≫</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も              ≪経済成長・雇用≫</p>
<p>2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！</p>	<p>(1) スポーツ体験の充実            (2) 学校での体づくり活動の充実            (3) 様々な世代のスポーツ機会の充実と健康増進            (4) パークゴルフの普及            (5) パラスポーツの普及</p>	<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を              ≪健康な生活≫</p> <p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう              ≪不平等の是正≫</p>	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに              ≪教育≫</p>
<p>3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！</p>	<p>(1) スポーツ団体の活性化            (2) スポーツ指導者やボランティアなどの人材育成            (3) スポーツ人材の働く環境づくり            (4) スポーツ大会や用具、送迎などの保護者負担軽減</p>	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに              ≪教育≫</p> <p><b>8</b> 働きがいも経済成長も              ≪経済成長・雇用≫</p>	<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう              ≪ジェンダー平等≫</p> <p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう              ≪不平等の是正≫</p>

基本目標	施策の方向	関連するSDGs	
<p>4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！</p>	<p>(1) スポーツをしやすい環境づくり  (2) 気軽にスポーツ施設を訪れる機会の創出  (3) スポーツに親しめる多様な環境整備</p>	<div data-bbox="1018 215 1219 409"> <p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p>  <p>《健康な生活》</p> </div> <div data-bbox="1018 456 1219 651"> <p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>  <p>《経済成長・雇用》</p> </div> <div data-bbox="1018 698 1219 893"> <p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>《不平等の是正》</p> </div>	<div data-bbox="1294 215 1495 409"> <p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>  <p>《教育》</p> </div> <div data-bbox="1294 456 1495 651"> <p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>《インフラ》</p> </div> <div data-bbox="1294 698 1495 893"> <p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>《安全な都市》</p> </div>
<p>5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！</p>	<p>(1) 応援大使を活用した宣伝  (2) スポーツを活用した地方創生  (3) 大学及び道内プロスポーツ団体との連携</p>	<div data-bbox="1018 1025 1219 1220"> <p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>  <p>《教育》</p> </div> <div data-bbox="1018 1267 1219 1462"> <p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>《安全な都市》</p> </div> <div data-bbox="1018 1509 1219 1704"> <p><b>17</b> パートナースhipで目標を達成しよう</p>  <p>《パートナーシップ》</p> </div>	<div data-bbox="1294 1025 1495 1220"> <p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>  <p>《経済成長・雇用》</p> </div> <div data-bbox="1294 1267 1495 1462"> <p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p>  <p>《持続可能な生産消費》</p> </div>

## 第4章 基本計画

### 1 スポーツを「見る」・「応援する」雰囲気を醸成しよう！

#### 〈現状と課題〉

- ・ 町内出身アスリートは、オリンピック出場やプロスポーツなどいろいろな分野で活躍しています。しかし、生涯学習中期計画のアンケート結果から、アスリートの情報が町民へなかなか伝わっていないことがわかり、また、町内出身のアスリートの認知度がそれほど高くないと同時に、町内出身のアスリートが多数いることを町の強みだと感じている人も少ないことがわかりました。町全体が身内意識を持ち、これまで以上に応援する態勢を整える必要があります。
- ・ 自然環境や社会環境においてスポーツ合宿や大会に適した地であるため、近年、スポーツ合宿や大会の受入が増えていますが、町全体となった更なる受入体勢や盛り上がりが必要であることから、官民連携としたネットワークの強化が必要となります。

#### 〈目標（KPI）設定〉

項目	現在	目標値
町の応援活動の満足度 ＊生涯学習中期計画アンケート	79.8% (R5)	85.0% (R10)
スポーツ合宿・大会の受入者数	208人 (R4)	200人 (R10)

#### 〈施策の方向〉

##### (1) 各種メディアによる情報発信の強化

- ・ 町民が全道や全国で優秀な成績を収めた町内選手や町内出身のアスリートの情報を積極的に見たり、聞いたり、触れたりできるよう、町ホームページやSNSでの紹介に加え広報紙で特集する機会を設けるなど、各種媒体により情報を提供します。

##### (2) 町内出身アスリートの応援における町全体での機運醸成

- ・ 町全体が町内出身アスリートの応援機運を高めるため、町全体での応援宣伝やSNSを活用した応援のほかパブリックビューイング等を通して、常に応援する雰囲気を作り出します。

##### (3) スポーツ合宿や大会の誘致とスポーツ交流人口の拡大

- ・ スポーツを行う環境が整っていることを発信しながら誘致を進めるとともに、官民連携として歓迎ムードの創出や地域に密着した交流活動等を通じて、スポーツ交流人口の拡大を図ります。

## 2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！

### 《現状と課題》

- ・ 少子化、共働きや核家族による家庭環境の影響に加え、スポーツ以外の興味や価値観の多様化により、子どもが体を動かす機会の減少を招いています。
- ・ 文化科学省が実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、質問紙調査の中で「運動が好き」、「(保健) 体育の授業が楽しい」と回答した割合は小・中学校の男子・女子ともに全国平均をほぼ上回り、「(保健) 体育の授業で目標を意識して学習することができている」と回答した割合も全国平均を上回っていることから、運動への興味の高さがうかがえる結果となっています。
- ・ スポーツをするきっかけには「楽しい」や「憧れ」を感じられることが重要であることから、オリンピック選手をはじめとしたアスリートと触れ合える機会を創出することで、その動機付けを行うことが必要です。
- ・ 成人期において、多くの人が心身ともに健康で活力ある生活を望んでおり、スポーツ・レクリエーションへの関心がますます高まっています。日頃からスポーツを「する」きっかけをつくるとともに、継続してスポーツをする習慣を身に付けることも重要です。
- ・ パークゴルフは、コミュニティスポーツとして海外にも普及していますが、日本パークゴルフ協会や様々な分野と連携しながら、競技世代の裾野を広げることが必要です。
- ・ 障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うとともに、年齢や性別、障がい等を問わず、町民がパラスポーツに関心を示し、参画することができる環境整備が必要です。

### 《目標 (KPI) 設定》

項目	現在	目標値
成人のスポーツ実施率 *生涯学習中期計画アンケート	29.7% (R5)	32.0% (R10)
子どものスポーツ実施率 *生涯学習中期計画アンケート	56.8% (R5)	64.0% (R10)

### 《施策の方向》

#### (1) スポーツ体験の充実

- ・ 子どもが基礎的な運動を習得することで、スポーツの楽しさや喜びを感じ、子どもの心身の発育や体力の向上につなげます。
- ・ スポーツ団体と協議し、子どもが気軽に参加できる体験入会などのスポーツをするきっかけとなる取組を検討します。
- ・ 町内出身アスリートと直接触れ合う機会をつくり、様々なスポーツの体験、スポーツ技術の向上を図ります。

#### (2) 学校での体づくり活動の充実

- ・ 児童生徒に体を動かす喜びを実感させ、積極的に運動に取り組む意欲や態度を育てるため、学校の休み時間等を利用し、遊びを通してスポーツに親しむ機会を増やすなど体力や運動能力の向上に努めます。

- ・ 町内出身のアスリートが学校に訪問し、その選手が活躍している映像の放送やスポーツ等を通じて選手との交流を図り、スポーツに興味を持つ機会を創ります。
- (3) 様々な世代のスポーツ機会の充実と健康増進
- ・ ウォーキング、ストレッチ、筋力アップ、ラジオ体操など、家庭内においても取り組める運動や、スポーツ施設の利用促進を図るとともに、ライフスタイルに合わせて継続できる運動を目指し、効果的な方法を普及します。
  - ・ ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度を上げるため、広報紙やホームページ等で周知を図り、意識して体を動かすことの必要性について働きかけます。
- (4) パークゴルフの普及
- ・ パークゴルフ発祥の地として、パークゴルフの情報を国内外へ発信するよう努めるとともに、三世代が交流することができるパークゴルフを気軽に親しめるような環境づくりを進め、若者を中心とした交流人口の増加を図ります。
- (5) パラスポーツの普及
- ・ パラスポーツ体験イベントを通じて、障がいのある人と障がいのない人が一緒にスポーツを楽しむ場を作るなど、パラスポーツに対する理解促進を図るとともに、共生社会の実現につながるよう努めていきます。
  - ・ スポーツ施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入等を含め、障がい者を含め誰もが利用しやすい施設の充実を図ります。

### 3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！

#### 《現状と課題》

- ・ スポーツ振興を担う幕別町スポーツ協会は、若年層の加入が少なく、世代交代が進まない団体が見受けられることから、今後、活動の停滞によるスポーツ振興への影響が懸念されます。
- ・ 少子化により、学校単位でスポーツ少年団や部活動のチームを構成することが難しく、複数校構成の混合チームやクラブチームなどが増加傾向にあります。また、保護者が送迎や金銭面などの負担を理由に、スポーツ少年団や部活動に入らない場合があります。

さらに、公立中学校等の運動部活動については、学校単位から地域単位への移行が検討されています。

今後、子どもを取り巻く環境を注視しながら、幼少期からスポーツに親しむことの重要性の理解と同時に、将来的にわたり、スポーツに継続して親しむことができる機会を確保していくことが重要です。

- ・ 運動部活動において、「生徒のニーズに合う運動部活動が学校に存在しない」、「不慣れな指導であるために専門性の高い指導ができない」といった課題があります。
- ・ スポーツ指導者は、技術指導だけでなく、スポーツの楽しさや面白さを上手に伝えることがスポーツの推進には不可欠であるため、スポーツ指導者の育成やハラスメントの防止にも取り組むことが重要です。
- ・ クラブ・団体の運営や指導といった日常的に行われる活動や、スポーツ大会やイベントの開催といった多種多様なニーズに対応するため、スポーツに関わる活動を支えるスポーツボランティアの育成が求められています。
- ・ 北海道幕別清陵高等学校と総合型地域スポーツクラブとの連携により、高校生の活躍の場を創出しており、将来のスポーツに関わる若手人材の発掘・育成が期待されます。また、スポーツ環境をより豊かにするため、町内出身のアスリートの経験が町内で活かされる環境づくりも必要です。

#### 《目標（KPI）設定》

項目	現在	目標値
幕別町スポーツ協会加盟競技人数（人口割合）	14.6%（R4）	19.6%（R10）
スポーツ少年団登録団員人数（小学生割合）	57.2%（R4）	62.2%（R10）

#### 《施策の方向》

##### (1) スポーツ団体の活性化

- ・ 町民がスポーツの理解と関心を深め、積極的にスポーツをする意欲を高めるとともに、関係団体で連携したイベントなどを展開し、スポーツ団体の活性化が図られるよう引き続き支援していきます。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの特性を有効的に高めるために、関係団体との連携強化を図り、単体のスポーツ団体から複合型スポーツ団体へ発展していくよう支援していきます。

(2) スポーツ指導者やボランティアなどの人材育成

- ・ スポーツ団体と連携し、研修会や講習会などを通じて、スポーツ活動を「支える」立場である指導者の育成やスポーツ指導の資質向上を図る機会を充実します。
- ・ 公立中学校等の運動部活動の地域移行に向け、指導者・運営者や、総合型地域スポーツクラブを含め多種多様な活動の場の確保に努めます。
- ・ スポーツボランティアを育成するために、スポーツへの関わり方を学ぶ機会を創るとともに、活動内容の情報収集と情報発信をしていきます。

(3) スポーツ人材の働く環境づくり

- ・ 総合型地域スポーツクラブを核として、引き続き北海道幕別清陵高等学校と連携し、将来にわたりスポーツに関わることができる若い人材を育成するとともに、引退後のアスリートを雇用し、スポーツ指導や指導者の育成を行います。
- ・ 専門的な知識とトレーニング技術指導を持ったパーソナルトレーナー等の有資格者の採用を検討し、多種多様なニーズにこたえる指導体制を構築します。

(4) スポーツ大会や用具、送迎などの保護者負担軽減

- ・ 子どもが思う存分スポーツに取り組める環境を整えるため、全道大会や全国大会等に参加した者に宿泊費や交通費を助成することにより、保護者の経済負担への支援を行うとともに、送迎や競技用具購入などの保護者負担が軽減できるよう、地域と一緒に協力できる体制づくりを検討します。

## 4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！

### 《現状と課題》

- ・ 運動と健康の意識は高い一方、時間がなく、継続的にスポーツをするといった行動にはなかなか結び付いていないため、健康を促進するための事業効果が低調の状況にあります。
- ・ 農業者トレーニングセンターと札幌スポーツセンターにおいて、平成31年4月から指定管理者制度を導入し、トレーニング機器の指導担当者の配置や町民のニーズに応えた健康講座の新設などにより、新規利用者を増やす取組を行っており利用者については年々増えています。気軽にスポーツをする環境が整ってきていますが、一度も行ったことがない町民もいることから、スポーツ施設や公園等において、気軽にスポーツができる場所や情報提供が必要です。
- ・ 幅広い世代の方が気軽にスポーツ・レクリエーションの場として公園を利用されていることから、今後も親しみが持て多くの方に利用してもらえる仕組みづくりが求められています。
- ・ スポーツ施設は、日常的に各種競技の練習会場や体力づくりの活動場所として使用されていますが、供用開始から30年以上経過した施設が多いことから、設備や備品の経年劣化が進み、計画的な整備が求められています。

### 《目標（KPI）設定》

項目	現在	目標値
農業者トレーニングセンター利用人数	32,966人 (R4)	35,000人 (R10)
札幌スポーツセンター利用人数	186,362人 (R4)	120,000人 (R10)
スポーツ環境の満足度 *生涯学習中期計画アンケート	52.5% (R5)	58.0% (R10)

### 《施策の方向》

#### (1) スポーツをしやすい環境づくり

- ・ 仕事等で忙しく、スポーツをする時間が少ないビジネスパーソンが多いことから、企業において、積極的にスポーツを通じた健康確保を促すため、働き方改革の啓発や休憩時間等にスポーツをしやすい環境づくりを働きかけます。
- ・ スポーツをしない人が気軽にスポーツを継続的に取り組めるよう、インセンティブ（成果報酬）を提供する制度をより効果的に活用できる手法を検討します。
- ・ リモートを活用した活動といった、双方向的な交流を生むスポーツの手法を検討します。

#### (2) 気軽にスポーツ施設を訪れる機会の創出

- ・ スポーツへの興味や関心を高めるための雑誌や本の展示、スポーツ番組の放映、町にゆかりのあるアスリートの紹介を行い、気軽にスポーツ施設を訪ねることができるような演出を行います。
- ・ 気軽にスポーツができる場所、スポーツ施設の設備や利用方法などがわかりやすく紹介できる情報を積極的に発信していきます。また、スポーツ施設の一般開放について、利用団体などと協議を行い、多くの町民がスポーツ施設を利用できるような工夫を行います。

(3) スポーツに親しめる多様な環境整備

- ・ 町民が身近な場所でスポーツができるよう、道路や遊歩道、広場や公園などの既存資源を生かし、町民参加を基本として、スポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。町ホームページで公園の健康遊具や利用方法を紹介する等の取組を検討します。
- ・ 将来の人口動態を踏まえて、スポーツ施設における長寿命化計画を策定し、計画的な整備を行うとともに、地域や使用団体が愛着を持って、維持していく手法を検討します。

## 5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！

### 《現状と課題》

- ・ 「オリンピックの町」としての魅力を町内外に発信するために、町内出身のオリンピックやアスリートを応援大使とする事業、町内出身のオリンピックゆかりの品を展示する事業を展開してきましたが、今後も更なる魅力を発信することが必要です。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大前においては「産業まつり」と総合型地域スポーツクラブによるイベントを同時開催しているほか、令和元年は地元密着でJリーグを目指す北海道十勝スカイアースの選手が「産業まつり」に参加協力するなどスポーツを取り込んだ観光イベントが徐々に定着していました。

新型コロナウイルス感染症拡大後において、中止となっていたイベント等が再開され、スポーツを取り込んだ観光イベントについて、関係団体と協力しての取組が必要です。
- ・ 豊富な観光資源と自然環境や社会環境を生かして、パークゴルフやサイクリングなどの体験型スポーツツーリズムの取組により、町へ訪れる方が徐々に増えてきています。
- ・ 北海道科学大学、日本体育大学との連携協定を締結していることから、町が抱える様々な課題に対して、大学が持つ専門的な知見や学生の視点を生かした解決策や事業展開が期待されます。
- ・ プロスポーツ団体の理念に地域貢献を掲げていることが多いことから、プロスポーツ団体が持つノウハウやネームバリューを生かして、スポーツ振興や町の活性化など様々な課題解決をしていくことが今後求められます。

### 《目標（KPI）設定》

項目	現在	目標値
オリンピックたちからのメッセージ 「マチアルキ」視聴回数	216回（R5） *10月末現在	300回（R10）
幕別町応援大使ふれあいイベント参加人数	111人（R4）	200人（R10）

### 《施策の方向》

#### (1) 応援大使を活用した宣伝

- ・ 今後も応援大使を活用した町の魅力発信を継続するとともに、様々な町の特徴を活用して、町の認知度を向上するための手法を検討します。

#### (2) スポーツを活用した地方創生

- ・ 日本体育大学との連携により作成した、アスリートの育成に必要な栄養バランスがとれ、町の特産品を使用したジュニアアスリート向けレシピを広くPRし、これから夢をもって羽ばたこうとする皆さんを応援します。
- ・ 町の特徴である「農作物」、「食」、「スポーツ」、「エンターテインメント」を融合したイベントを開催し、子どもから高齢者までをターゲットとした集客や、スポーツに関心がない方も無意識に関わることができる取組を推進していきます。
- ・ 今後も体験型スポーツツーリズムを発展させていくために、スポーツ用具等の環境整備や情報発信の強化を行うとともに、旅行会社や近隣自治体と連携していきます。

(3) 大学及び道内プロスポーツ団体との連携

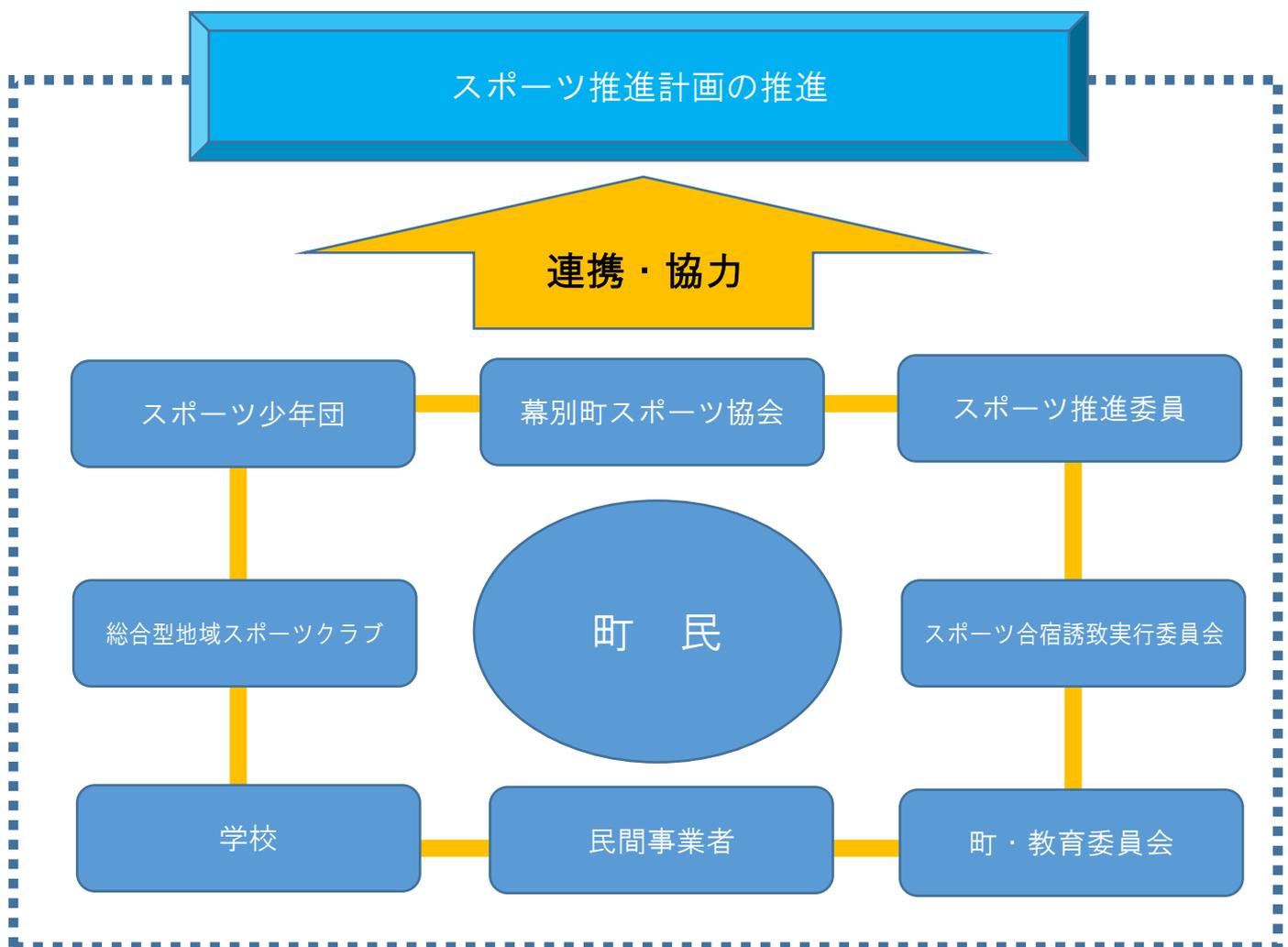
- ・ 北海道科学大学や日本体育大学との連携により、スポーツだけでなく、幼児教育や保健医療など様々な分野における研修会や講座の開催、北海道幕別清陵高等学校と連携した事業を検討します。また、大学が持つ専門的な知見を生かした町内出身のオリンピック選手輩出に係る優位性や環境の分析研究結果に基づき、更なるスポーツの推進に役立てるとともに、町の魅力発信と愛着心につながる取組を行うことで、持続可能なまちづくりを推進していきます。
- ・ 道内プロスポーツ団体と連携協定締結の検討を進めると同時に、人材育成やスポーツを核とした健康、教育、観光など地域活性化に向けた事業等を展開します。

## 第5章 計画の推進に当たって

### 1 計画の推進に当たって

計画を推進していくためには、町民、スポーツ少年団、幕別町スポーツ協会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ合宿誘致実行委員会、学校、民間事業者、町・町教育委員会が一体となり、互いに連携・協力をしながらも、それぞれの担う役割に対して主体的にスポーツ推進に取り組み、町民のだれもが「みる」、「応援する」、「する」、「支える」スポーツを楽しみ、親しめる環境づくりが望まれます。

《イメージ図》



## 2 主な関係団体の役割

### (1) スポーツ少年団

スポーツ少年団においては、子どもたちへスポーツを通じた健全育成の役割が期待されるとともに、指導者の意識と専門的な知識、技術や資質を高めていくことが望まれます。

### (2) 幕別町スポーツ協会

幕別町スポーツ協会加盟団体をはじめ、スポーツ推進委員や関係団体と連携を図り、時代の変化や町民のニーズに即したスポーツを推進するとともに、町民の体力向上と健康増進、スポーツの情報収集や情報提供を通じて、生涯にわたって明るく豊かな生活の形成に寄与していくことが望まれます。

### (3) スポーツ推進委員

地域のスポーツ推進のコーディネーターとして、その職責を達成できる知識と技術を身に付け、スポーツ推進のための連絡調整やスポーツの実技指導を通じて、町民が自発的にスポーツを行うことができるよう幅広い活動をするのが望まれます。

### (4) 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブが地域で抱える様々な課題にこたえるため、地域住民やスポーツ団体等と連携して、スポーツを通じた健康増進、子育て支援、学校への支援などを引き続き行い、「社会的な仕組」として定着していくことが期待されます。

### (5) スポーツ合宿誘致実行委員会

官民連携により、スポーツを通じて地域に密着した交流活動等を行い、スポーツ交流人口の拡大とスポーツによる町の活性化が図られることを期待されます。

### (6) 学校

体育の授業や運動部活動などの学校体育における子どもたちの体力向上や健全な育成、そして大人になってもスポーツを楽しむきっかけづくりが期待されます。

### (7) 民間事業者

指定管理者制度による施設運営や民間事業者との連携によるスポーツ推進に向けた施策の展開など、民間活力によるノウハウの提供が期待されます。

### (8) 町・町教育委員会

町民のスポーツ活動をより充実したものにするため、スポーツの枠に捉われることなく、幅広い機関や庁内関係部署と連携を図ります。

また、基本理念を実現しスポーツ活動をより充実するために、ソフトとハードの両面から環境の整備を図りつつ、町民の自発的なスポーツの推進に取り組みます。



第2期幕別町スポーツ推進計画  
(2024年度～2028年度)

令和6年 月発行

発行者 幕別町教育委員会

〒089-0604 北海道中川郡幕別町錦町98番地

TEL 0155 (54) 2006

FAX 0155 (54) 4714

E-mail [shogaigakusyuka@town.makubetsu.lg.jp](mailto:shogaigakusyuka@town.makubetsu.lg.jp)

## 第2期幕別町スポーツ推進計画（案）に対するパブリックコメント の実施結果

「第2期幕別町スポーツ推進計画（案）」に係るパブリックコメントで寄せられた「ご意見の要旨」と現時点での「意見に対する考え方」について、次のとおり公表します。

ご意見・ご要望をお寄せいただき誠にありがとうございました。お寄せいただいたご意見などについては、関係団体等からのご意見と併せ、今後の検討の参考とさせていただきます。

### 1 資料の配布場所

- (1) 幕別町のホームページ (<http://www.town.makubetsu.lg.jp>)
- (2) 幕別町役場1階ロビー
- (3) 図書館本館
- (4) 幕別南コミュニティセンター
- (5) 幕別北コミュニティセンター
- (6) 農業者トレーニングセンター
- (7) 糠内出張所
- (8) 札内コミュニティプラザ
- (9) 札内北コミュニティセンター
- (10) 札内南コミュニティセンター
- (11) 百年記念ホール
- (12) 札内スポーツセンター
- (13) 忠類コミュニティセンターロビー
- (14) 忠類ふれあいセンター福寿

### 2 意見の募集期間

令和6年1月5日（金）～令和6年2月5日（月）

### 3 意見の提出方法及び提出先

- (1) 郵送又は持参 幕別町教育委員会生涯学習課または閲覧場所配置の改修ボックス
- (2) ファクシミリ 0155-54-4714
- (3) 電子メール [shogaigakusyuka@town.makubetsu.lg.jp](mailto:shogaigakusyuka@town.makubetsu.lg.jp)

### 4 意見を提出できる方

- (1) 町内に住所を有する方
- (2) 町内に事務所若しくは事業所を有する法人その他の団体又は事業を営む方

- (3) 町内の事務所又は事業所に勤務する方
- (4) 町内の学校に在学する方
- (5) パブリックコメント手続に係る事案に利害関係を有する方

## 5 意見提出件数

- (1) パブリックコメントの提出件数 2件
- (2) パブリックコメント（意見）の延べ件数 2件

## 6 意見の要旨と意見に対する町の考え方 次ページのとおり。

## 第2期幕別町スポーツ推進計画（案）に対するパブリックコメント

### の実施結果

#### 【区分】

A	意見を受けて方針（案）を修正するもの
B	方針（案）と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	方針（案）を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	方針（案）に取り入れなかったもの
E	その他

No.	意見の要旨	意見に対する町の考え方	区分
1	良い案だと思い感動しました。 頑張ってください。	スポーツを通じて人生が豊かになるよう計画を推進してまいります。	E
2	スポーツをとりまく状況を町民に知ってもらうため、全国、全道文化・スポーツ大会参加助成要綱の内容をわかりやすく本計画書に載せていただきたい。そして、この助成の実績と今後の方向性・考え方を示していただきたい。 また、スポーツ振興を考えるうえで、上記要綱が推進のブレーキになっていると感じる点があり、本推進計画と並行して要綱の見直しも図っていただきたい。	本計画はスポーツの推進に関する方向性を示すことを目的に策定するものであるため、個々の事業の要綱の掲載や、実績、方向性や考え方を示す予定はありません。 制度については必要に応じて見直しを行い、引き続き支援を行っていきたいと考えています。	C

# 第 3 期 幕 別 町 教 育 大 綱 ( 案 )

( 2024 年 度 ~ 2028 年 度 )



令 和 6 年 月

幕 別 町

## 1 教育大綱策定の背景と趣旨

平成27年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しなど制度の抜本的な改革が行われました。

また、同法には、地方公共団体の長と教育委員会の連携強化を図るため、「総合教育会議」を設け、本会議において教育の目標や施策の根本的な方針を定めた大綱の策定が規定されました。

幕別町においても、人口減少時代にあって、少子高齢化社会や就業形態の複雑化などにより町民の生活を取り巻く環境が大きく変化する中、本町の持続的な発展のために、町民、地域、行政が一体となってまちづくりの方向性を示す「幕別町総合計画」を基に、「幕別町生涯学習中期計画」及び国が策定する「教育振興基本計画」と歩調を合わせながら、平成27年9月に第1期、平成31年3月に第2期の「幕別町教育大綱」を策定し、基本目標の達成に向け取組を進めてきたところです。

第2期の終期を迎える今、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国際情勢の不安定化など、将来の予測が困難な時代において、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっており、こうした認識の下、今後の本町における教育行政の総合的な指針として第3期「幕別町教育大綱」を策定するものであります。

## 2 教育大綱の位置付け

この大綱は、本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3\*に基づき、総合教育会議において町長及び教育委員会が協議・調整の上、町長が定めるものです。

策定に当たっては、「第6期幕別町総合計画」の基本構想を基に、国の「第4次教育振興基本計画」における基本的な方針を参酌し、「第7次幕別町生涯学習中期計画」と整合性を図りました。

○基本目標 郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人  
(幕別町教育目標)

○具体目標 豊かな心とたくましい体の育成  
豊かな生活と自ら学ぶ力の高揚  
豊かな人間愛と国際性の涵養  
豊かな郷土と文化の創造

\* 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」

(大綱の策定等)

第1条の3 地方公共団体の長は、教育基本法第十七条第一項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下単に「大綱」という。）を定めるものとする。

2 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、次条第一項の総合教育会議において協議するものとする。

### 3 大綱の期間

大綱の期間は、「第7次幕別町生涯学習中期計画」（2024年度～2028年度）及び「第4期教育振興基本計画」（2023年度～2027年度）を考慮して、2024年度から2028年度までの5年間としますが、今後の社会情勢等により改訂を行う必要が生じた場合には、適宜その見直しを行うものとします。

### 4 施策の実施

本大綱に掲げる基本目標の達成に向け、その具体的な施策の柱を掲げるとともに、事業実施に当たっては、「第7次幕別町生涯学習中期計画」を踏まえ、本町の現状に即し、効率的かつ効果的に施策を推進します。

### 5 施策の柱

#### (1) 国内交流や国際交流の推進

##### 【基本方針】

国内交流を推進し、幅広い交流を行います。

また、学校教育や社会教育など、様々な場を通じて、国際理解の機会づくりと国際性豊かな人材の育成を図ります。

##### 【方 策】

①国内交流の推進

②国際交流の推進

#### (2) 豊かな人生を育む生涯学習の推進

##### 【基本方針】

多種多様な学習機会を自己に適した手段、方法により自ら選択し、生涯にわたる学習活動を通じ、その学習効果が還元される総合的な環境づくりを進めます。

百年記念ホールや図書館をはじめとする生涯学習の拠点施設を有効活用するとともに、札内コミュニティプラザや町民会館、忠類コミュニティセンターなどの施設も活用し、各種事業や生涯学習講座の充実に取り組みます。

#### 【方 策】

- ①学習プログラムの充実
- ②情報提供の充実
- ③指導者・団体の育成
- ④学習・活動機会の充実
- ⑤施設の機能充実
- ⑥図書館機能の拡充

### (3) 「生きる力」を育む学校教育の推進

#### 【基本方針】

本町の教育目標である「郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人」の具現化を目指し、全ての児童生徒が、主体的に判断し、行動できる「生きる力」を育むため、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を自覚し、お互いの理解、協力を深めることができるよう学校運営協議会（コミュニティー・スクール）を活用しながら連携を図ります。

また、一貫教育の推進により、子どもの発達等に応じた柔軟で多様な教育の充実を図るとともに、地域の教育資源を活用し、郷土に誇りを持つ子どもを育みます。

**【方 策】**

- ①幼児教育の充実
- ②小中学校教育の充実
- ③教育施設の整備
- ④高等学校教育・特別支援学校の支援

**(4) 青少年の健全育成の推進**

**【基本方針】**

未来を担う青少年が心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めます。

**【方 策】**

- ①青少年の健全育成

**(5) 芸術・文化活動の振興**

**【基本方針】**

国内外の優れた芸術文化に接し、体感できる鑑賞機会などの提供や自主的な活動による芸術文化の振興と豊かな情操の育成を図ります。

**【方 策】**

- ①芸術・文化活動の支援と人材育成
- ②芸術・文化事業の推進
- ③芸術・文化鑑賞機会の拡充

## (6) 歴史的文化の保存・伝承

### 【基本方針】

本町の歴史的資料やアイヌ文化資料を収集・保存、展示しているふるさと館や蝦夷文化考古館、世界的にも貴重な資料を展示しているナウマン象記念館のそれぞれの特徴を生かし、郷土の歴史や文化の保存・継承を図ります。

### 【方 策】

- ①施設の充実
- ②歴史的文化の保存・継承と活用
- ③アイヌ文化の保存振興と理解の促進

## (7) 健康づくりとスポーツ活動の振興

### 【基本方針】

町民がいつでも気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境づくりを進め、パークゴルフの振興とスポーツ・レクリエーションの指導者、団体の育成を図ります。

また、町出身のアスリートやスポーツ団体と連携し、次世代のアスリートの育成に努めます。

教育目標である「郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人」の育成を基本とし、ライフステージに応じたスポーツの推進・充実に努めます。

### 【方 策】

- ①スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ②指導者・組織の育成と支援
- ③社会体育施設の整備拡充と有効活用

④「見る」「応援する」「する」「支える」スポーツを楽しみ、親しめる環境づくり

⑤パークゴルフの振興

# 幕別町教育大綱の概要

基本目標 郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人



## 〈 具 体 目 標 〉

豊かな心とたくましい体の育成

豊かな生活と自ら学ぶ力の高揚

豊かな人間愛と国際性の涵養

豊かな郷土と文化の創造



## 〈 施 策 の 柱 〉

国内交流や国際交流の推進

豊かな人生を育む生涯学習の推進

「生きる力」を育む学校教育の推進

青少年の健全育成の推進

芸術・文化活動の振興

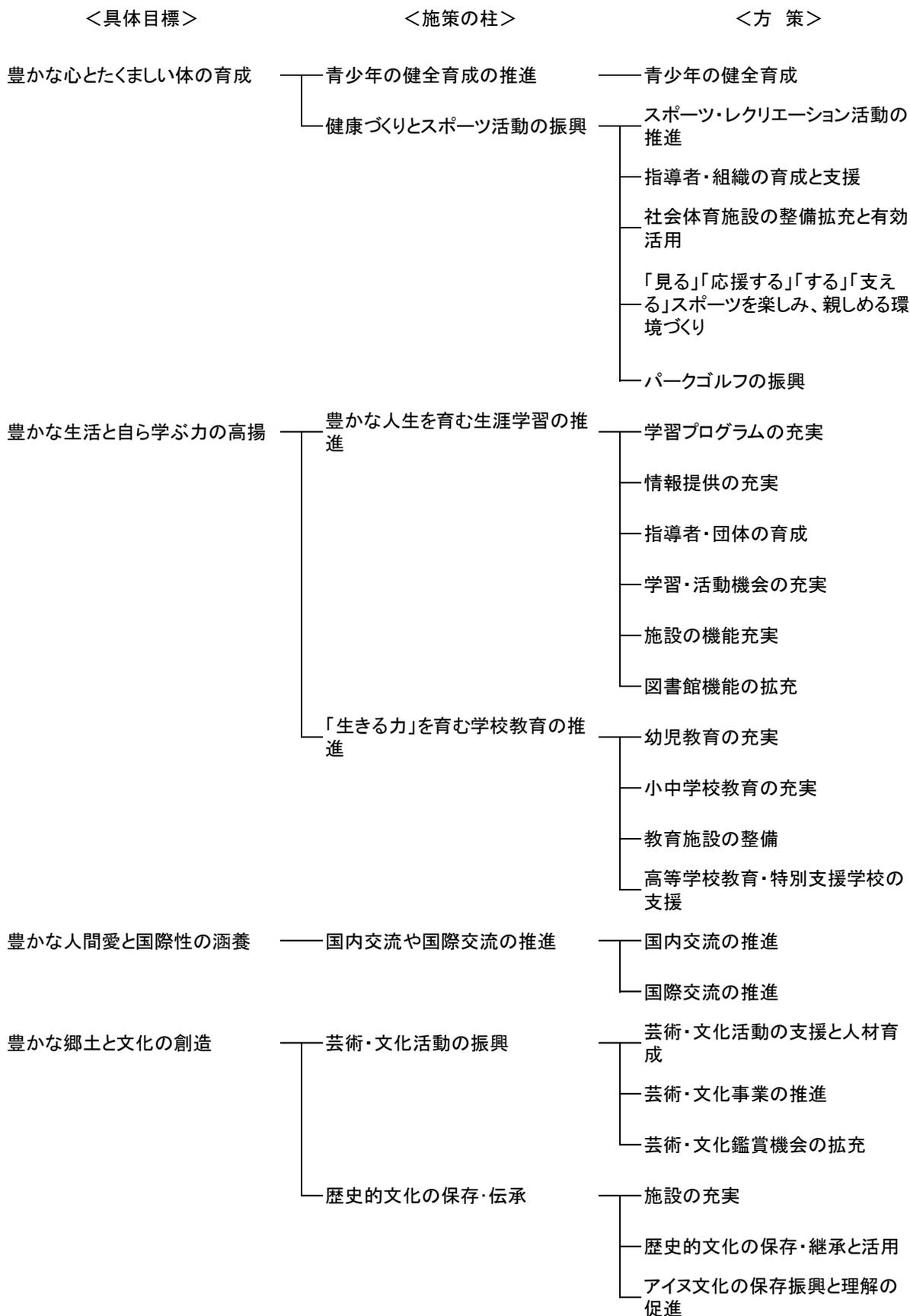
歴史的文化の保存・伝承

健康づくりとスポーツ活動の振興

# 大綱の体系

## 基本目標

郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人



## 生涯学習中期計画、スポーツ推進計画及び教育大綱策定スケジュール

令和5年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和6年	1月	2月	3月	4月	事務局の作業
【総合教育会議】			● 第1回(7/27)			● 第2回(10/24)		● 第3回(12/19)			● 第4回(2/29)			
【生涯学習中期計画・スポーツ推進計画】	<p>◇第6次計画評価書(教委内部評価)</p> <p>● 第1回社会教育委員会(6/7) 【諮問】 【全体会議】①役員選出 ②部会構成</p> <p>● 第2回社会教育委員会(7/12) 【全体会議】①計画策定の方針 ②部会長の決定 ③各部会の進め方の確認 【専門部会】①3部会による第6次中期計画書の評価 ※資料:第6次計画書 ※資料:事務事業評価書 ②部会長協議-次回の進め方の確認</p> <p>● 第3回社会教育委員会(9/22) 【専門部会】①第6次中期計画書の評価 ②アンケート協議</p> <p>◆ アンケート発送(10/11) ▲ アンケート回収期間(~10/24) ◆ アンケート集計分析(~11/上)</p> <p>● 第1回スポーツ推進委員会(7/13) ①計画策定の方針及びスケジュールについて</p> <p>● 第2回スポーツ推進委員会(9/22) ①第1期スポーツ推進計画の評価 ②アンケートの内容について</p> <p>● 第4回社会教育委員会(11/24) 【全体会議】①アンケート結果について ②第6次生涯学習中期計画事務事業評価結果について 【専門部会】①計画書文書作成・確認</p> <p>● 第3回スポーツ推進委員会(11/16) ①アンケート結果について ②計画書文書の確認</p> <p>● 第5回社会教育委員会(2/2) 【部会長会議】①計画書全体の文書の確認 ◆ 答申原案編集・印刷製本</p> <p>● 第4回スポーツ推進委員会(3/1)</p> <p>● 第6回社会教育委員会(3/4) 【全体会議】答申原案の製本印刷完成 【答申】</p> <p style="text-align: right;">★ 教育委員会議決(3/25)</p>													
【議会】										★ 総務文教常任委員会所管事務調査(1/16)			★ 各計画議会配付(3/下)	

スポーツ推進計画は、スポーツ推進委員会の意見を参考に、社会教育委員会において改訂作業を行います。



## 幕別町アイヌ文化拠点施設 実施設計（生活館棟等）概要

### ■基本理念

空間整備により、先住民族であるアイヌの人々の誇りを尊重し、その文化を伝承するための活動を推進するとともに、訪れた方がアイヌ文化及び歴史に触れ、学ぶことでアイヌ民族に対する理解を深め、交流を促進することを目指す。

### ■建築デザインのコンセプト

敷地全体を「コタン（アイヌの集落）」に見立て、各施設と外部空間が一体的に繋がった機能的かつ魅力的な空間をつくる。生活館棟の「伝承室」を母屋（チセ）に見立て全体の象徴とし、その周りに附属屋として屋根の低い建築を配置する。

### ■施設概要

構造：鉄筋コンクリート造（一部木造）、平屋建て  
 延床面積：生活館棟 715㎡、展示館棟 688㎡  
 屋根：金属屋根防水工法（粘着ゴム＋ガルバリウム鋼板）  
 ※伝承室屋根は通常のガルバリウム鋼板葺き  
 外壁：ECPパネル（押出成形セメント板）、一部湿式外断熱工法

### ■外構概要

敷地面積：5,902㎡  
 駐車台数：一般用 25台、多目的用 2台、バス用 2台

### ■生活館棟概要

**伝承室**：囲炉裏を常設し、アイヌ民族の伝統的儀式を行う。また、スクリーンを有した情報発信や来館者へのガイダンスの役割を果たす空間とする。  
**アイヌ研修室**：アイヌの人々の文化継承活動を行う場とする。  
**調理室**：アイヌの伝統料理の研究・調理を行う。また、地域の方々の利用や交流を行う場とする。  
**研修室 1・2**：アイヌ文化の振興や伝統に関する知識の普及啓発事業を行う。また、地域の方々の利用や交流を行う場とする。

### ■主な内装：

天井 木毛セメント板（伝承室、ホール等）  
 壁 塗装仕上げ（伝承室、ホール等）  
 床 フローリング（伝承室）、コンクリート仕上（ホール等）

### ■環境配慮計画

**ZEB Ready**：ZEBを見据えた建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物。

### ■高断熱：

- 断熱材厚さ 屋根 90mm、壁 100mm、床 100mm
- アルミ樹脂複合サッシ（複層ガラス）

### ■高性能設備：

- 空気熱源ヒートポンプエアコン
- 全熱交換換気扇
- 全館 LED 照明（トイレ等は人感センサーによる点灯制御）

**ZEB 化への対応**：太陽光発電等の再生可能エネルギー設備を設けることで施設を ZEB 化することができる。

**自然採光・自然換気**：伝承室に自然換気用の窓を設置する。廊下に自然採光を取り入れる大型窓を設置する。

**木材利用**：屋根の小屋根組に道産の木材を使用し、建築物の低炭素化を図る。

### ■工事スケジュール

年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
生活館棟	実施設計・千住生活館解体	新築工事・外構工事	供用開始	
展示館棟		実施設計	新築工事・外構工事	供用開始
宝物室			改修工事（一部解体）	公開開始

### ■概算工事費 1,377,512（金額：単位千円）

#### 生活館棟 (R6)：603,262

建築主体 407,902  
 電気設備 84,535  
 機械設備 110,825

#### 宝物室改修 (R7)：

41,000（見込額）

#### 展示館棟 (R7)：597,000

建築主体 345,000（見込額）  
 電気設備 51,000（見込額）  
 機械設備 201,000（見込額）

#### 外構工事：136,250（見込額）

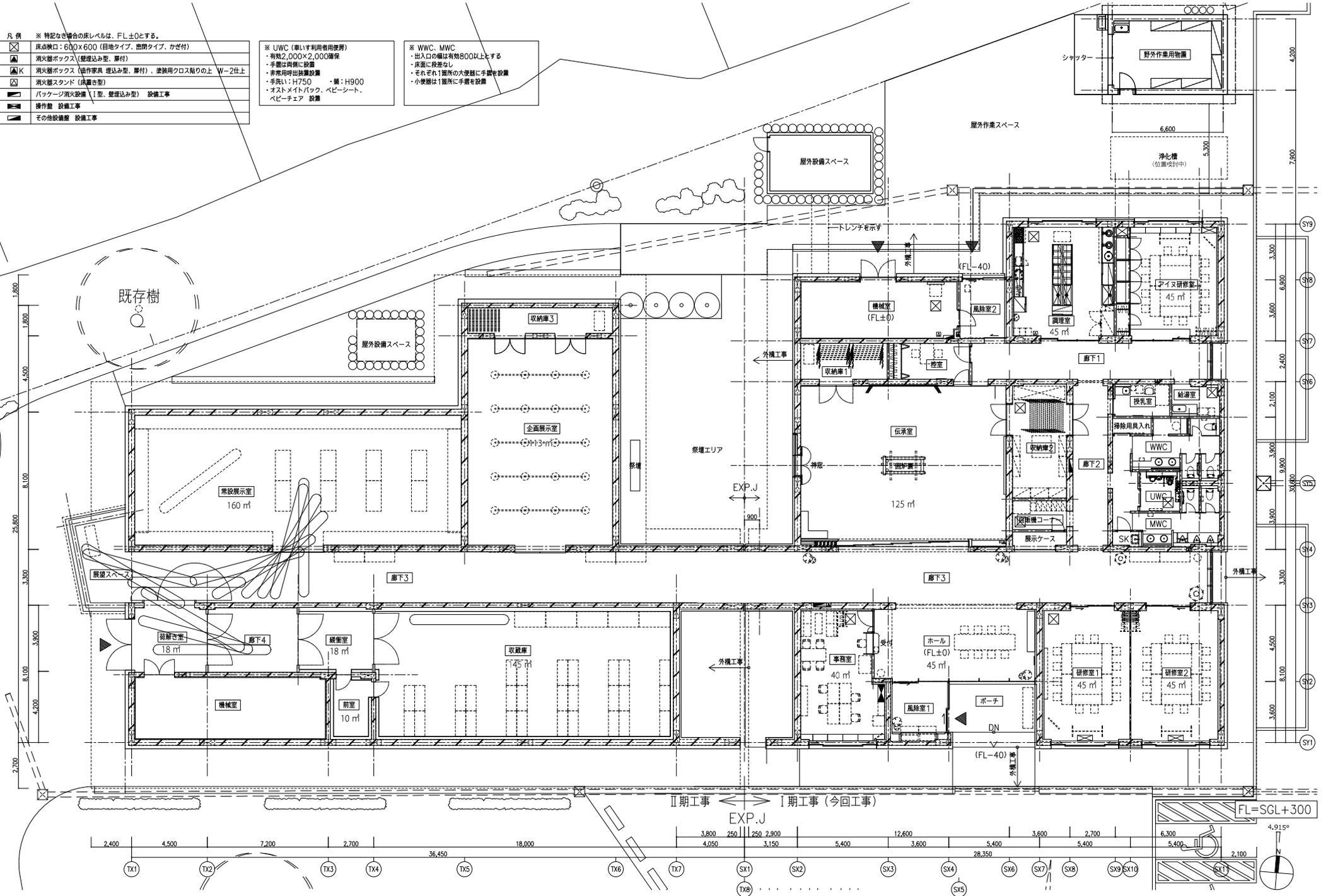
R6 年度 54,250（外物置含む）  
 R7 年度 82,000（見込額）

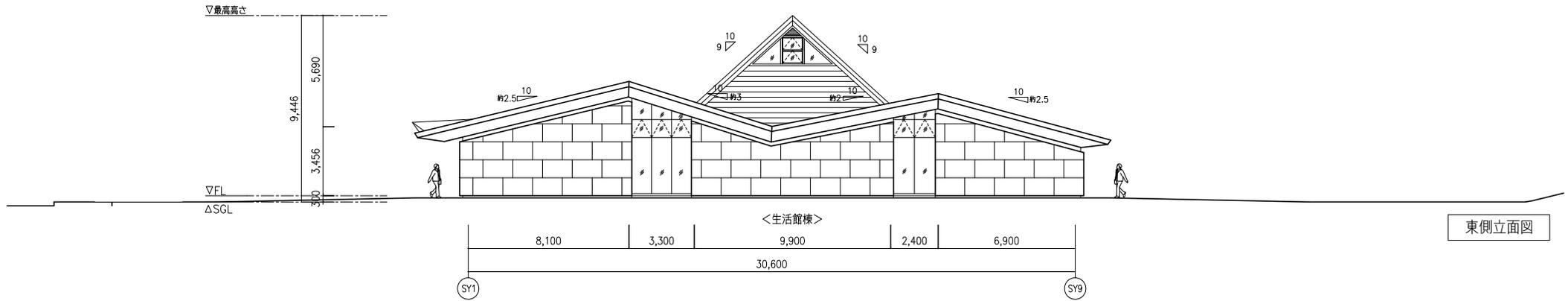
凡例 ※ 特記なき場合はの床レベルは、FL±0とする。

☒	床枠開口：600×600（目地タイプ、密閉タイプ、カギ付）
▲	消火器ボックス（埋込み型、扉付）
▲	消火器ボックス（操作家具 埋込み型、扉付）、塗装用クロス貼りの上 W-2仕上
▲	消火器スタンド（床置き型）
■	パッケージ消火設備（1型、埋込み型） 設備工事
■	操作盤 設備工事
■	その他設備盤 設備工事

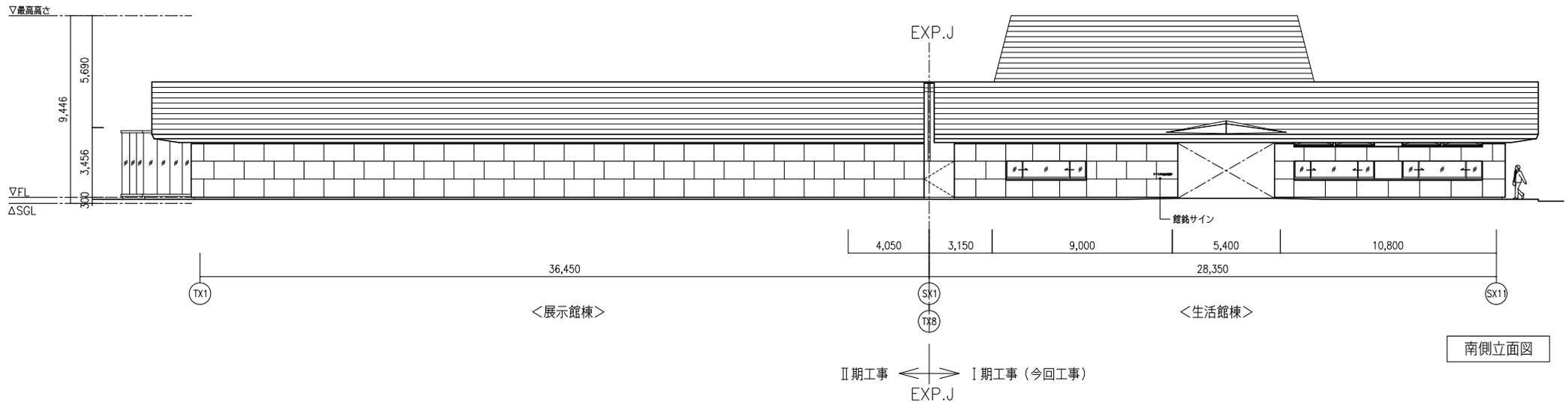
※ UWC（車いす利用用便所）
・有効2,000×2,000確保
・手摺は両側に設置
・非常用呼出装置設置
・手洗い：H750
・鏡：H900
・オストメイトバック、ペーパーシート、ペーパーエア 設置

※ WWC、MWC
・出入口の幅は有効800以上とする
・扉面に仮差なし
・それぞれ1箇所の大便器に手摺を設置
・小便器は1箇所に手摺を設置





東側立面図



南側立面図

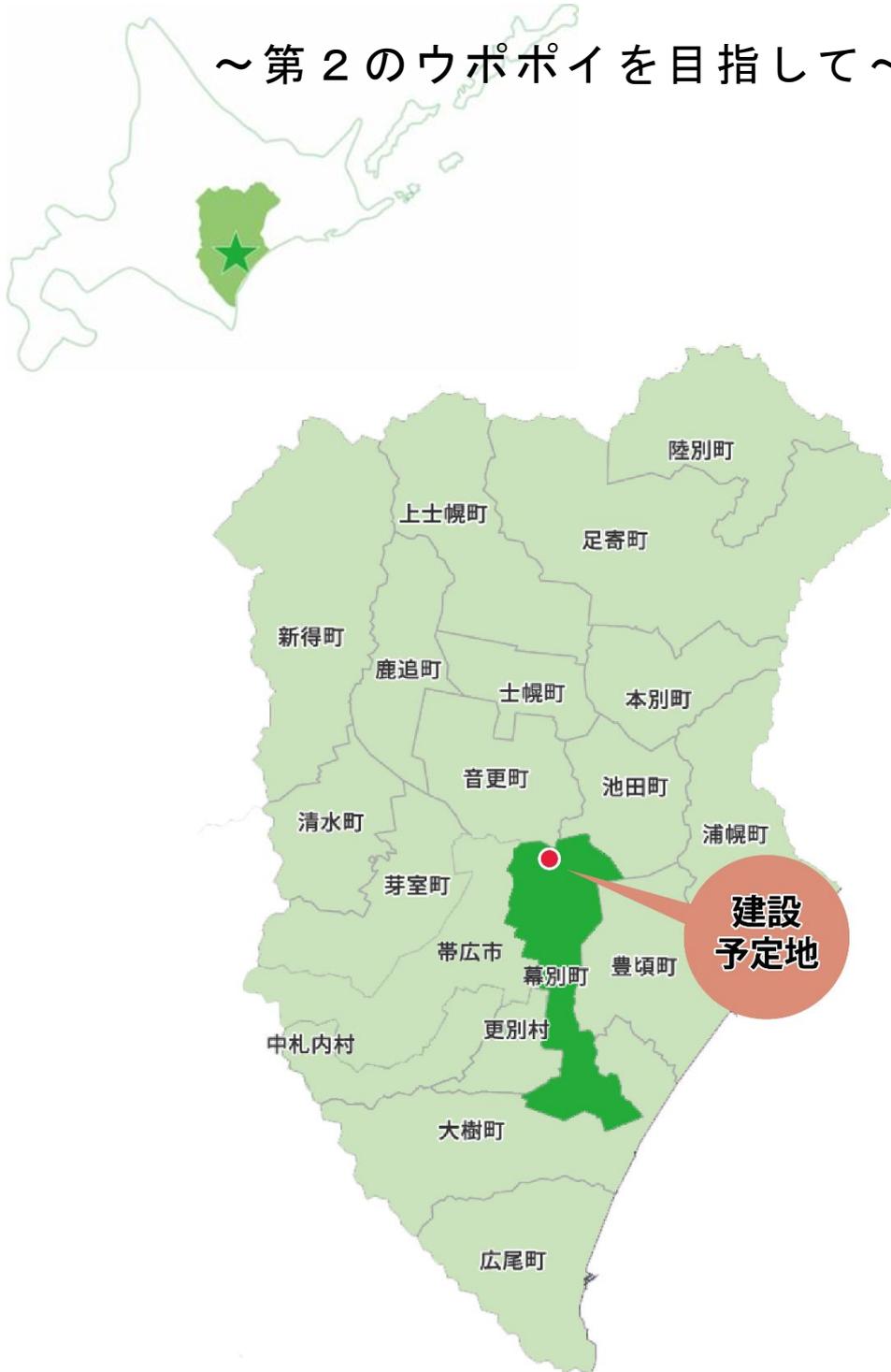
代表となる設計者	一級建築士 210026 号	加藤 誠	職歴	WORK	アイヌ文化拠点施設生活館棟建設工事 (建築主体)	NO	A-
その他の設計者	一級建築士 295885 号	池島 光俊	職歴	TITLE	立面図 (1)		管理建築士
その他の設計者				SCALE	A1 : 1/100 (A3 : 1/200)		一級建築士 314452 号
							村岡 健



■国道東側からみた外観イメージ

# 幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業の実施に向けて

～第2のウポポイを目指して～



令和6年2月

幕別町

## 1 現施設を活用したアイヌ施策の現状

### (1) 蝦夷文化考古館

蝦夷文化考古館は、幕別町白人（チロット）出身のアイヌである故吉田菊太郎氏（1896～1965年）がアイヌ民族の生活や社会的地位の向上とアイヌ文化保存のため、幕別町や十勝管内はもとより全道・全国に範囲を広げて活動し、1959年（昭和34年）に「アイヌ文化を正しい姿で後世に残す」ことを目的として建設しました。



▲蝦夷文化考古館

その後、1966年（昭和41年）に吉田氏のご遺族から建物と資料を譲り受け、幕別町が管理を行ってきましたが、吉田氏が収集した民具、明治期共有財産（土地）の文書や氏が書き残した文書など1,700点に及ぶ資料は、近現代のアイヌ民族の歴史を紐解くことができる貴重な資料として専門家からも高い評価を得ています。

とりわけ、他の資料館ではまとまって見られない、明治期の十勝アイヌの農耕地に関する文書（※参考1）および1964年（昭和39年）に旭川で開催された北海道アイヌ祭りに関する文書（※参考2）23点は、明治から昭和にかけての十勝アイヌが置かれた状況を読み解くことができるという点で貴重な資料とされており、白老町にある民族共生象徴空間・ウポポイにおいて貸出展示されるなど、広くアイヌ文化の理解促進や文化の継承をはじめ、アイヌ文化の情報発信の拠点施設の役割を果たしています。

### (2) 千住生活館

千住生活館は、アイヌの人々の生活文化の向上をはじめ、地域の社会福祉、保健衛生の増進に寄与することを目的として1963年（昭和38年）に幕別町が建設した施設で、アイヌ民族の伝承行事の開催や民族衣装の製作など、幕別町におけるアイヌ文化の振興や地域住民の活動の拠点としての役割を担ってきました。

現在は、幕別町及び周辺自治体の住民で組織するマクンベツアイヌ文化伝承保存会が中心となり、アイヌ刺繍やオオウバユリの鱗茎からのでんぷん採取、儀式に使用するゴザの材料となるガマの茎葉採取、保存食や儀式の際に出すアイヌ料理の材料となるヒシの実採取のほか、オヒョウニレの木の内皮から糸を紡ぎ、この糸でアットウシ（樹皮衣）を織る工程の確立などに取り組んでいます。



▲千住生活館

## 2 アイヌ文化拠点空間整備事業の基本方針

### (1) 事業の必要性

幕別町では、先に述べたように幕別アイヌ協会やマクンベツアイヌ文化伝承保存会の活動により、アイヌの歴史を学ぶ場や伝統文化を体験する機会を創出しておりますが、展示収蔵施設である蝦夷文化考古館は、建築後 64 年となり老朽化が著しく耐震性を満たしていないうえ、温度・湿度など適切な環境下における資料の展示収蔵ができず、収蔵資料の劣化により調査研究にも支障を来している状況にあります。

また、千住生活館は、幕別アイヌ協会やマクンベツアイヌ文化伝承保存会の活動の拠点となっておりますが、先に述べたオヒョウニレの木の内皮から糸を紡ぎ、この糸でアットウシ（樹皮衣）を織るための十分なスペースを確保することができないばかりか、先祖供養祭イチャルパも他の場所で執り行わざるを得ない状況にあります。

こうしたことから、アイヌの人々が誇りを持って、祖先が築き上げてきた伝統文化を、広く地域住民や道民に、ひいては全国民に対し、その素晴らしさを伝えていくために、幕別町は「第2のウポポイ」を目指して、地域を挙げてアイヌ文化の保存伝承の拠点とすべくこれら施設の整備を行うものです。

### (2) 事業の実施及び管理に関する基本的な考え方

#### ア 宝物堂

蝦夷文化考古館は、故吉田菊太郎氏がアイヌ文化を末永く後世に残していきたいとの思いで心血を注いで、幕別町内はもとより全道・全国に支援を求めて、1959年（昭和34年）に建築したもので、道内には現在3軒しかないアイヌ民族が建てた資料館の1つであり、当時の技術の粋を集めて建築した和洋折衷風の貴重な建造物であることから、これを耐震補強し「宝物堂」として保存します。

#### イ 生活館棟

新たに建築するアイヌ文化拠点空間は、多機能型交流施設として令和6年度に建築する生活館棟と7年度に建築する展示館棟をつないで、アイヌ文化の展示・保存、研修、体験などを一体的、効果的に行うことができる施設とします。

生活館棟については、地域住民との交流だけでなくアイヌ民族コミュニティ支援として全道各地のアイヌ関係団体とも交流ができることを目的とし、イチャルパなどの儀式的のほか、祭司の養成講座が行えるよう常設の囲炉裏と祭壇を設置するとともに、アイヌ古式舞踊やアットウシ（樹皮衣）の製作などの様々な作業を行うことのできる大型の伝承室や伝統料理教室を開催する調理室を配置します。

さらには、令和5年度からスタートしたアイヌ語教室を開講する研修室や刺繍体験、オオウバユリの鱗茎、ガマの茎葉、ヒシの実の採集体験、ござ織りなどの講習会を開催するための研修室及びアイヌ研修室を備えます。

特にアイヌ語教室については、全国初の公設アイヌ語講座として、広く全道・全国から受講者を募集し、アイヌ語の保存・普及に重点を置くこととしており、講師は、幕別アイヌ協会員と本年採用したアイヌ語会話を習得している学芸員が受け持ちます。

#### ウ 展示館棟

令和7年度に建築する展示館棟については、これまで蝦夷文化考古館で展示保存していた1,700点余りの資料を収蔵し、このうち特に貴重な十勝地方の文様が刺繍されたチヂリ（刺繍衣）、十勝地方で唯一完全な形で残る丸木舟など十勝地方独特のアイヌ文化を常設展示室に展示するほか、幕別町以外で存在が報告されていない緑のシントコ（行器）（※参考3）を含む漆器群、現存数が希少なヨシで作成されたルサ（ざる・皿）（※参考4）、着用した人物が特定される稀有の存在である陣羽織などの資料については定期的に臨時展示するとともに、幕別アイヌの歴史と文化、幕別の人々の活動や思いを伝えることに重点を置いた展示や、道内外の博物館等との連携協力による特別展示などの企画展示を開催します。

このほか、展示館棟から眺望できる場所に蝦夷文化考古館を耐震改修した「宝物堂」と「復元チセ」を配置し、アイヌの人々の生活の匂いを感じてもらえる空間とします。



▲幕別町のアシリチェフノミ（新しい鮭を迎える儀式）で着用されていた陣羽織

## エ 施設の管理方法

幕別町のみならずアイヌ民族全体として、曾祖父母あるいは祖父母の世代でアイヌの伝統的な生活様式や言語、文化の伝承が途絶えた家系では、「民族的な文化に接したことがない。アイヌ語が話せない。」という若いアイヌの方々が数多くおり、アイヌ文化等の次世代への継承が大きな課題となっています。

幕別町としては、これまでアイヌであることを積極的に名乗っていない方々を含め、アイヌの人々が民族の誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会を実現することが、自治体に課せられた責務であると考えています。

このたび実施する幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業は、十勝地方におけるアイヌの人々が歩んできた歴史とアイヌ文化に対する住民理解を促進するとともに、先祖代々培われ、受け継がれてきたアイヌ文化を、アイヌのみならず地域住民も一緒になって、尊敬の念を持って後世に伝えていく役割を果たすものです。

このため、これら施設の管理運営は、幕別町内のアイヌ協会、マクンベツアイヌ文化伝承保存会が中心になって、十勝管内のアイヌ関係者、北海道アイヌ協会などの協力のもと組織する広域的な団体による指定管理をすべく準備を進めています。

## 3 アイヌ文化拠点空間整備事業の施設整備計画

### (1) 各施設の平面配置（図1）

生活館棟と展示館棟は一体的な利用を図ることから、敷地東側駐車場から近い位置の生活館棟にエントランスを設け、渡り廊下を通り西側に展示館棟を配置するとともに、展示館棟西側から宝物堂や復元チセを眺望できるポイントを設けることで、内外の一体性をもった配置とします。

各施設の機能としては、生活館棟には、伝承室、調理室、アイヌ研修室、研修室を配置します。

展示館棟には、常設展示室、企画展示室のほか、一般の来館者の動線から隔てた場所に、保存環境に適した収蔵庫を配置します。

### (2) 各施設の機能（室）配置

#### ア 生活館棟

アイヌ文化の振興、地域住民の活動拠点としての生活館棟には、次の機能を配置します。

- ① 囲炉裏を常設し、アイヌ民族の伝統的儀式が行われる場所として伝承室を配置します。また、スクリーンを有した情報発信や来館者へのガイダンスの

## 空間全体イメージ

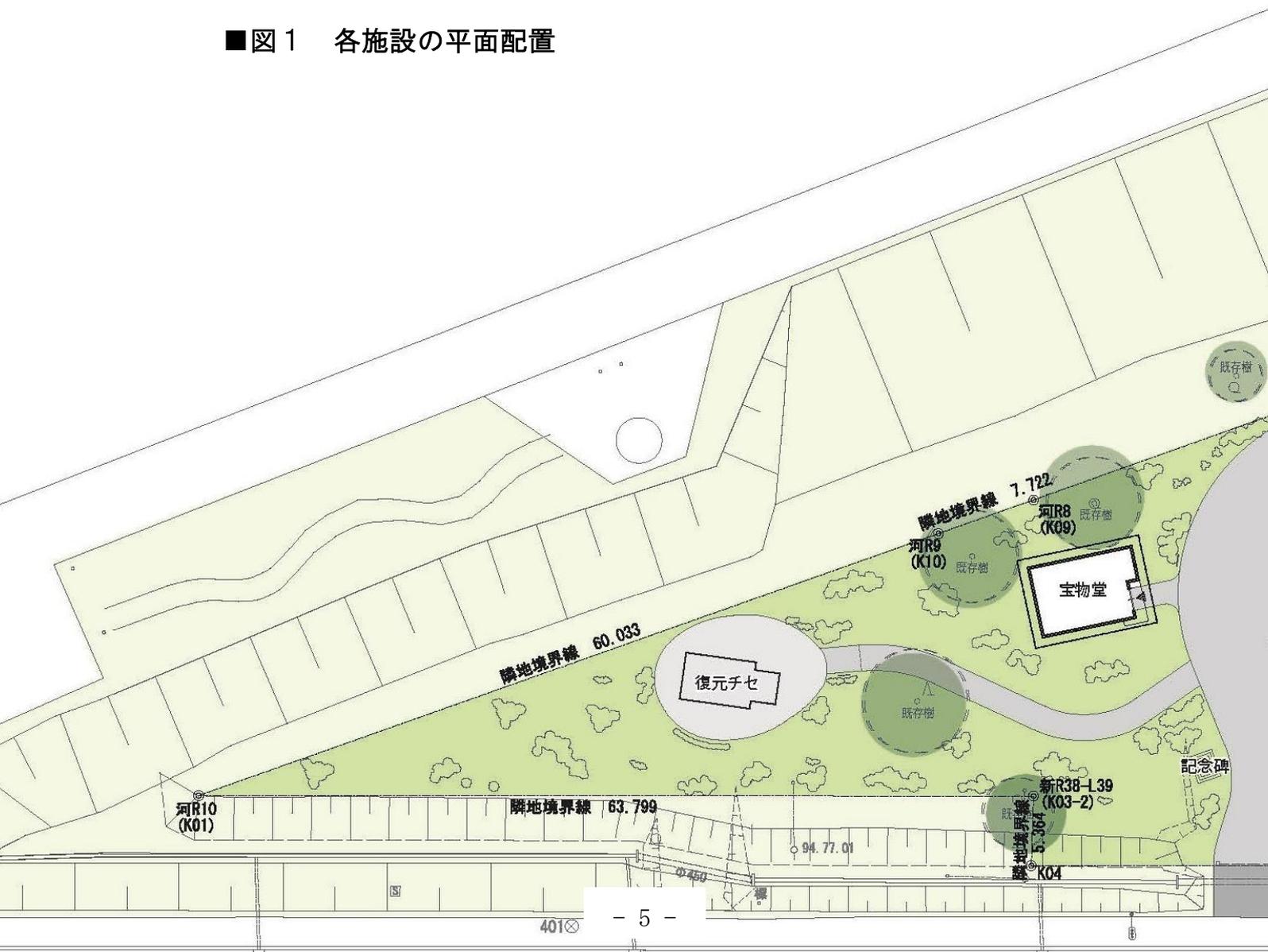
### 建築のデザインコンセプト

敷地全体を「コタン（アイヌの集落）」に見立て、各施設と外部空間が一体的に繋がった機能的かつ魅力的な空間をつくります。

生活館棟の「伝承室」を母屋（チセ）に見立て全体の象徴とし、その周りに付属屋として屋根の低い建築を配置します。

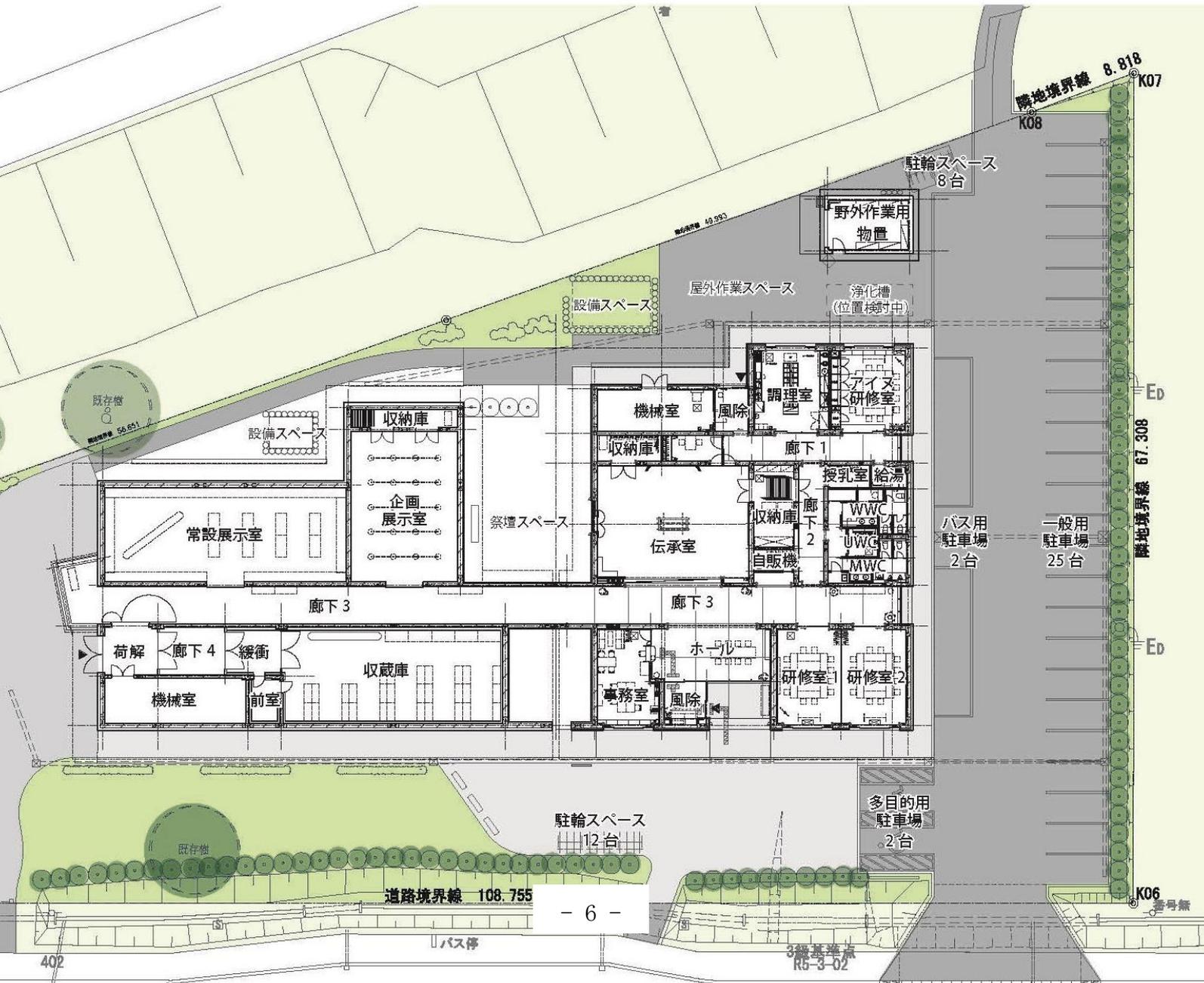


■ 図1 各施設の平面配置



役割を果たす空間とします。

- ② アイヌの伝統食材や食文化の普及・伝承と、地域の方々の利用や交流ができる調理室を配置します。
- ③ アイヌ文化の振興や伝統に関する知識の普及啓発事業を行うとともに、地域の方々の利用や交流ができる研修室及びアイヌ研修室を配置します。特に、全国初の公設アイヌ語講座など特色のある研修に活用します。
- ④ アイヌ文化拠点空間を一体的に管理運営（指定管理）する団体の担当職員が執務を行う事務室を配置します。
- ⑤ 来館者が快適に滞在できるように、開放的で広いエントランスホールや、授乳室、給湯室、多機能型を含む男女トイレを配置します。また、備品、消耗品を適切に管理できるように、収納庫を設置します。



## イ 展示館棟

アイヌ文化の伝承、情報発信の拠点としての展示館棟には、次の機能を配置します。

- ① ジオラマや民具等の展示に対応した空間として常設展示室を配置します。常設展示室の天井高は大型資料の展示を想定し、十分な高さを確保します。
- ② 各種の企画に柔軟に対応することができる空間として企画展示室を配置します。
- ③ 両展示室はシンプルな平面形とし、様々な資料や展示方法に対応できるように、フレキシブル性を持った設えとします。
- ④ 資料の形態・性質に応じた適切かつ効率的な保管に配慮し、外部環境からの影響を最小限とした収蔵庫を配置します。
- ⑤ 収蔵庫に付帯するスペースとして緩衝室と前室を設けます。外部搬出入口から収蔵庫まで専用廊下を経てアクセスさせ、一般来館者の動線と重ならないようにします。
- ⑥ 専用廊下や扉は十分な大きさを確保し、また、資料が天候から受ける影響を最小限にするため、搬出入口には屋根を設けます。

### (3) 工事概要・概算工事費

(金額：百万円)

工事の種類	構造／延べ床面積	金額	備考
生活館棟建築工事 (R6)	RC造一部木造平屋／ 715㎡	604	
展示館棟建築工事 (R7)	RC造一部木造平屋／約690㎡	597	
外構工事 (R6-7)	約4,100㎡	137	駐車場、外物置他
解体工事(生活館) (R5)	CB造平屋／195.76㎡	15	
(旧物置) (R5)	木造平屋／092.34㎡		
改修工事(考古館) (R7)	CB造+木造／43㎡+81㎡	41	一部解体含む
合計(税込)		1,394	消費税相当額含む

※ 工事費は労務賃金等の変動により増減する可能性があります。

### (4) 工事スケジュール

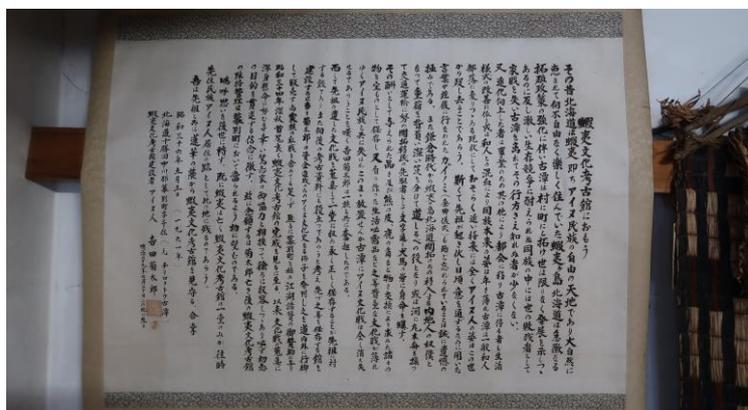
施設区分	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度
宝物堂 (旧考古館)			改修工事 (一部解体)	公開開始
生活館棟	生活館解体工事 旧物置解体工事	新築工事 外構工事	供用開始	
展示館棟			新築工事 外構工事	供用開始

## 【参考】蝦夷文化考古館の誕生と収蔵品

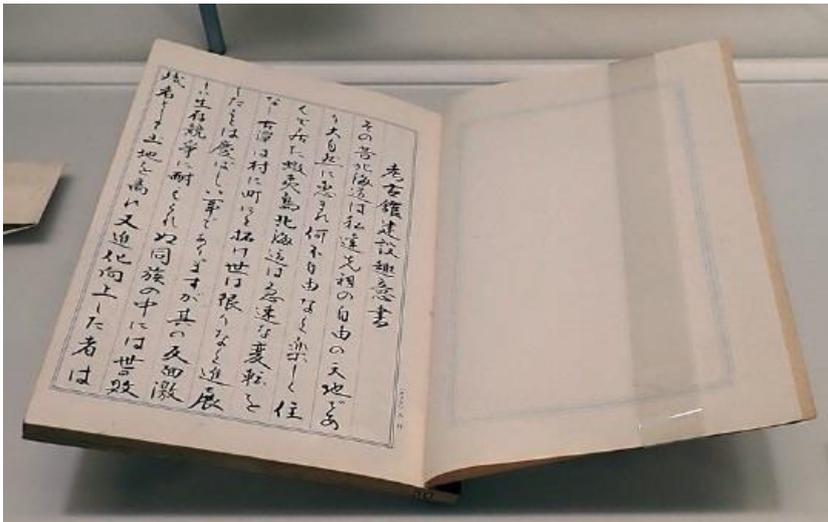
蝦夷文化考古館の展示室には、かつてのアイヌ家屋と同様、上座（幕別では西側）にアイヌが使っていた漆器が置かれているほか、吉田菊太郎氏が主宰した熊送りで使用した木幣（イナウ）や蝦夷文化考古館設立にあたる吉田氏の思いが書かれた「蝦夷文化考古館におもう」（※）が掛けられている。

吉田氏は幕別町内のアイヌ民族の生活向上を担ったが、アイヌ文化が途絶えてしまうことを嘆き、アイヌ文化財の保存のため奮起し、苦勞の末考古館を建設した。

吉田氏は考古館建設によって、今後も千住（かつてのチロットまたはチリロクトー）の地に先住民族アイヌが暮らしていたことを伝える建物となるであろうことを記している。

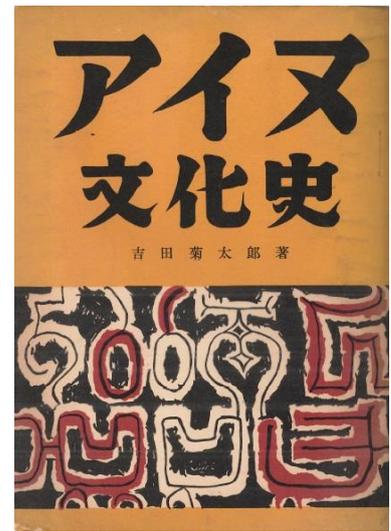


※「蝦夷文化考古館におもう」



↑「考古館設立趣意書」

(国立アイヌ民族博物館に長期貸出中)



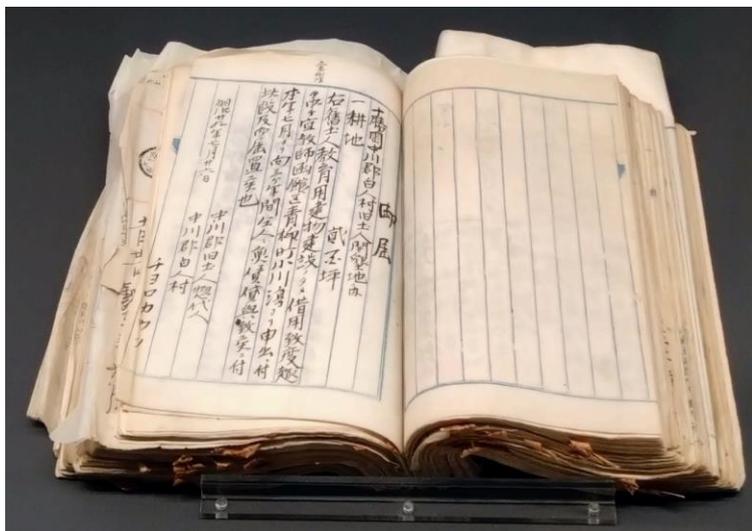
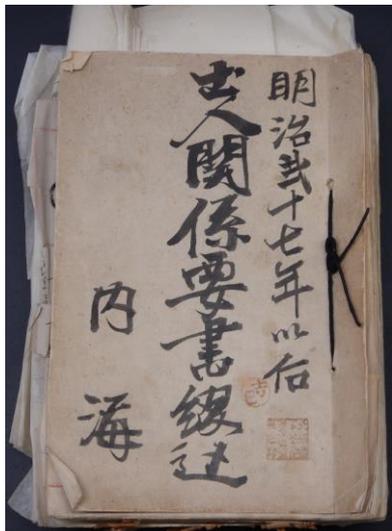
↑「アイヌ文化史」

著 吉田菊太郎

吉田菊太郎氏は、アイヌ文化に対する厳しい風当たりの中、1950年（昭和25年）ころから、道外にも出かけ、現在のアイヌの生活について正しい理解を訴え、考古資料と先祖が用いた道具類を収集・保存する博物館の建設も企図した。

建設資金獲得のために1958年（昭和33年）に『アイヌ文化史』を上梓し、各方面に協力を依頼しているが、「考古館設立趣意書」はそのときに書かれた趣意書で、生涯最大の事業であった博物館建設にかける熱意が伝わってくるものとなっている。

### （参考1）『明治式十七年以后 土人関係要書綴込』



↑表紙写真（国立アイヌ民族博物館に長期貸出中）↑白人の学校用地提供について記されている

明治期に官庁とアイヌを仲介していた内海勇太郎氏から吉田菊太郎氏が引き継いだ資料には、明治20年代以来の史料がまとまって含まれている。

その中でも特に『明治式十七年以后 土人関係要書綴込』には、幕別町内のア

イヌに関わる土地の開墾状況や家族構成の調査が含まれており、幕別アイヌの農耕地の実態や、浸透してくる和人に対してどう対処したかを明らかにすることができる。写真右で示されているように、白人（チロット）のアイヌ側から学校用地の提供が試みられていることも史料に記されており、近代のアイヌの暮らしを明らかにするうえで極めて貴重である。

### (参考2) 北海道アイヌまつり関係文書



蝦夷文化考古館で保管されていた資料の中には、1964年（昭和39年）に旭川で開催された北海道アイヌ祭りに関する文書がまとめて保存されている。

パンフレット、事前の打ち合わせや参加者名簿のほか、この行事の賛否に関する新聞投書の切り抜きなどが含まれており、この行事に関する文書としてこれほどまとまったものは他に類を見ず、国立アイヌ民族博物館へも長期貸し出し中である。

### (参考3) 緑色のシントコ（行器）



シントコ（行器）は本州で作られた漆塗り容器であるが、アイヌ民族は宝物として大切にしており、中に穀物を入れたり、儀式の際にお酒を入れたりしていた。

江戸末期から明治にかけて活躍した絵師 平沢屏山のアイヌ絵には緑のシントコが数多く描かれているが、これまで実物資料がなく「幻の漆器」だと言われていたが、幕別町蝦夷文化考古館で緑のシントコが発見されたことで、絵画の評価の見直しにもつながる可能性がある。

(参考4) ルサ (ざる・皿)



ルサはヨシで作った皿であるが、現存するものの数も少なく、比較的珍しい資料である。幕別町蝦夷文化考古館のルサにはかつての所有者が記されており、幕別町の白人(チロット)に居住していたアイヌ女性が所有していたことが分かる。

資料としての珍しさだけでなく、バックデータが明らかになっているといううえで稀有な存在である。

マレク (鍵鉞)



マレク(鍵鉞)はサケやマスなどの川漁に使われたもので、かぎ状になった部分に魚が刺さると、かぎが台木から外れ反転し、フックとなって魚を引き上げることができる。

通常のマレクには、かえしがないが、蝦夷文化考古館のマレクにはかえしがついており、かつて十勝川でとれたチョウザメ漁に使われたのではないかと考えられている。このマレクを途別川で使用した写真も残されており、地域性が分かる資料である点で貴重である。